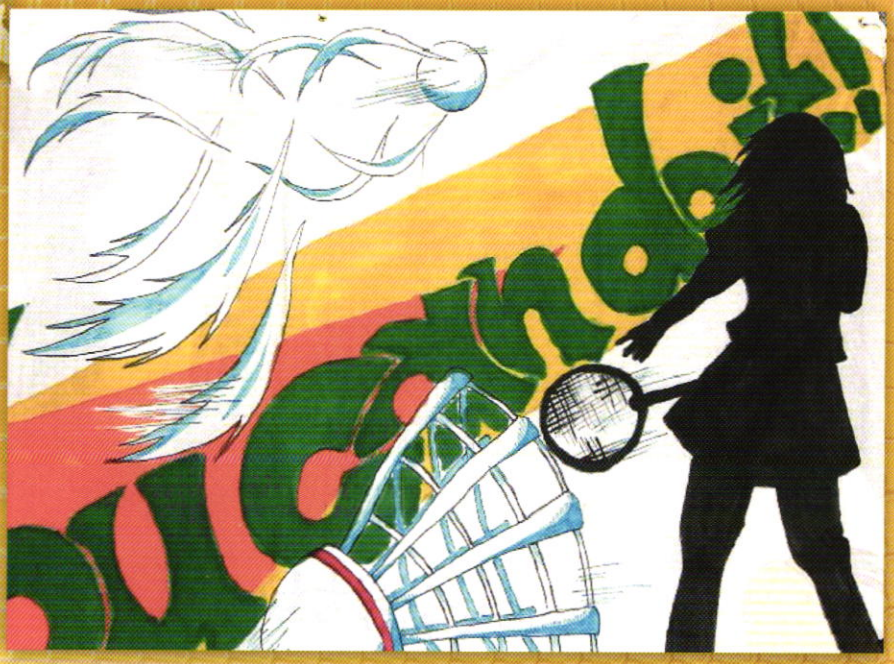
2006 のじぎく兵庫国体

“ありがとう”心から・ひょうごから

Badminton

第61回国民体育大会
バドミントン競技会

プログラム



期　日：平成18年10月1日（日）～4日（水）

会　場：宝塚市立総合体育館

主　催：（財）日本体育協会・文部科学省・兵庫県
（財）日本バドミントン協会・宝塚市

（日体協マーク）

●国民体育大会マーク

昭和２２年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第２回大会から使用されることになった。

３０度右傾斜の赤色の火炎を直径の１０分の１の幅の紺青色の円帯で囲んである。

●アマチュア・スポーツのあり方

（「日本体育協会スポーツ憲章」抜粋）

- ●スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- ●競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーに終始する。
- ●常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- ●スポーツを行うことによって、自らの物質的利益を求めない。
- ●スポーツによって得た名声を、自ら利用しない。

●愛　称

のじぎく兵庫国体

県民に親しまれている県花「のじぎく」は、一つひとつの花弁は小さく清楚ですが、群生する姿はとても華やかです。

兵庫国体に集う人々が、みな全力を発揮し、「のじぎく」のように共に美しく輝くように願いを込めています。

●スローガン

“ありがとう”心から・ひょうごから

阪神・淡路大震災で未曾有の被害を受けた兵庫県に対して、全国から寄せられた温かい支援に感謝の意を表す機会とするとともに、震災から学んだ「人と人との絆」を大切にした出会いと交流の場となることを願っています。

●シンボルマーク

兵庫のイニシャル“H”をモチーフに、国体に集う選手達の躍動する姿と、国体を力強く支える人々のいきいきとした姿をシンボライズしています。

兵庫の豊かな自然を、大地の「緑」、空と海の「青」で、人々の喜びと感動を「赤」で表現しています。

●マスコット



明るく元気な癒し系マスコット『はばタン』は、阪神・淡路大震災から復興する兵庫の姿を象徴した羽ばたくフェニックス（不死鳥）をデザインしています。

縫いぐるみなどのグッズは、のじぎく兵庫国体ホームページ（http:www.habatan2006.jp）で紹介しています。

目　　次

あ い さ つ	第61回国民体育大会	会　長	森　喜朗 …… 1
あ い さ つ	文部科学大臣兼国民スポーツ担当大臣		小坂　憲次 …… 2
あ い さ つ	財団法人 日本バドミントン協会	会　長	綿貫　民輔 …… 3
歓迎のことば	「のじぎく兵庫国体」実行委員会会長	兵庫県知事	井戸　敏三 …… 4
歓迎のことば	「のじぎく兵庫国体」宝塚市実行委員会会長	宝塚市長	阪上　善秀 …… 5
歓迎のことば	兵庫県バドミントン協会	会　長	北　義一 …… 6

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程 …… 7
国民体育大会会長トロフィー授与規程 …… 8
大 会 役 員 …… 9
競 技 会 役 員 …… 13
競 技 役 員 …… 15
競 技 補 助 員 …… 18
実施本部員名簿 …… 20
実施本部ボランティア名簿 …… 22
総　　則 …… 25
競技別実施要項 …… 33
オープニングプログラム次第 …… 36
表 彰 式 次 第 …… 37
オープニングプログラム入場行進選手集合所配置図 …… 38
オープニングプログラム入退場行進順路図 …… 39
表彰式入退場行進順路図 …… 40
競 技 日 程 …… 41
タイムテーブル …… 42
成年男子組合せ …… 43
少年女子組合せ …… 44
成年女子・少年男子組合せ …… 45
新ルール「新スコアリングシステムについて」の概要 …… 46
都道府県別参加人員一覧表 …… 48
都道府県別出場監督・選手一覧表 …… 49
競技成績採点方法 …… 63
総合成績一覧表 …… 64
過去の成績一覧表 …… 65
競 技 記 録 …… 85
競技会場配置図 …… 86
練習会場使用日程表 …… 88
競技会場・練習会場案内図 …… 89
競 技 上 の 注 意 …… 99
審 判 上 の 注 意 …… 101
昼食弁当の斡旋について …… 102
医療救護について …… 103
輸 送 に つ い て …… 104
競技会関係電話番号一覧表 …… 105
㈶日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧 …… 106



あ　い　さ　つ

第61回国民体育大会会長
財団法人　日本体育協会
会長　森　　喜　朗

彩り豊かな気候・風土に恵まれ、独自の文化に育まれたここ兵庫県に、天皇陛下・皇后陛下のご臨席を仰ぎ、第61回国民体育大会が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、健康で明るく豊かな国民生活に寄与することを目的として開催される我が国最大のスポーツの祭典であります。

「のじぎく兵庫国体」の愛称のもとに開催される本大会は、昭和31年に開催された第11回大会以来、兵庫県では50年ぶりの開催となります。また、本大会はこれまで60年間続いてまいりました夏季大会と秋季大会を一本化するなど、さまざまな改革への取り組みが行われ、新たな出発点となる大会でもあります。

そして、560万県民の皆さんが「“ありがとう”心から・ひょうごから」のスローガンのもと、阪神・淡路大震災からの復興と感謝の意を表すため心を一つにして、兵庫らしさが随所に溢れる国体を目指し、その準備に万全を尽くされた誠に意義深い大会であります。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さんは、日頃鍛えた力と技を存分に発揮し悔いのない競技をされるとともに、人情味あふれる兵庫県の皆さんと心暖かな交流の輪を広げられ、実り多い大会とされるよう切望いたします。

終わりに、「のじぎく兵庫国体」の開催にあたり、長年諸準備にご尽力をいただきました地元兵庫県をはじめ、ご関係の皆様方のご支援、ご協力に対し、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。



あ　い　さ　つ

文　部　科　学　大　臣
兼国民スポーツ担当大臣
小　坂　憲　次

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ兵庫県において、第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

スポーツは、個々人の心身の健全な発達に資するのみならず、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与するものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有するものです。

第61回を数える国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間に親しまれるとともに、スポーツの振興・発展に極めて重要な役割を果たしてまいりました。

「のじぎく兵庫国体」は、兵庫県として昭和31年の第11回大会以来、50年ぶりの開催ですが、スポーツの祭典としてだけでなく、未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災から、創造的復興の歩みを続ける兵庫県の姿を全国に披露するという意義もあります。震災復興の過程で培われたボランタリー活動を生かした県民総参加、夏秋季一本化や既存施設の活用、県外との連携など様々な工夫による簡素化を図るとともに、兵庫らしさを表現した、活力あふれる元気な「新しい国体の創造」を目指す、誠に意義深い大会であります。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、この機会に、全国の仲間や兵庫県民の皆さんと交流の輪を広げられ、思い出に残る大会としていただくことを願っております。

終わりに、「“ありがとう”心から・ひょうごから」のスローガンの下、県民の参画と協働により、開催の諸準備に当たられた地元兵庫県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様方の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、ごあいさつといたします。



あ い さ つ

財団法人 日本バドミントン協会
会 長 綿 貫 民 輔

「“ありがとう”心から・ひょうごから」をスローガンに、阪神・淡路大震災から創造的復興を遂げた姿と、全国から寄せられた多くの支援に対する感謝の気持ちを込めて『歌劇と湯のまち』宝塚市において「のじぎく兵庫国体」バドミントン競技会が開催されますことは、誠に喜びに堪えないところであります。

ご承知の通り４月27日～５月７日には第24回トマス杯争奪世界男子団体・第21回ユーバー杯争奪世界女子団体バドミントン選手権大会が16年ぶりに日本で開催されました。結果、男子は佐藤翔治選手がアテネオリンピック金メダリストのタフィク・ヒダヤット選手と激戦のすえ、勝利する大金星を挙げるなど大活躍で前回に引き続きベスト８進出を果たしました。大会前から期待の大きかった女子チームは、プレッシャーに押しつぶされ期待に応えることが出来ず無念のベスト８止まりに終わりました。

かってユーバー杯の頂点に立ち、防衛していた頃の日本の姿に立ち戻るにはまだ少しの時間が必要と思わざるを得ませんでした。

国民体育大会は、日本の代表選手によって繰り広げられる国内最大のスポーツの祭典であり、日本のバドミントン技術向上にとって欠くことの出来ない重要な役割を担っています。全国各都道府県の代表として出場される選手諸君には、郷土の名誉と栄光に向かって日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され素晴らしいプレーを展開されますよう期待致します。終わりに、「第61回国民体育大会」の開催に当たり誠心誠意ご尽力賜りました兵庫県並びに宝塚市の関係者、兵庫県バドミントン協会の各位に対し心からお礼を申し上げましてご挨拶と致します。



歓迎のことば

のじぎく兵庫国体実行委員会会長
兵庫県知事　井　戸　敏　三

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地から多数の選手、役員の皆様をお迎えして、第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」を開催します。50年ぶりの兵庫での国体でもあります。560万兵庫県民こぞって祝意を表しますとともに、県民を代表して皆様を心から歓迎します。

阪神・淡路大震災が発生した平成７年、私たちは復旧・復興を誓うとともに、是が非でも10年のうちには「創造的復興」を成し遂げ、被災地の復興した姿を披露する機会となることを期して国体誘致を決意しました。

そして今、震災を乗り越えた「元気な兵庫」を確かめていただけるときを迎えました。大会のスローガン「“ありがとう”　心から・ひょうごから」には、復興を支援くださった全国の皆様への感謝と、復興の喜びが込められています。

夏秋季大会の統一や全競技のインターネット配信など兵庫らしい新しい国体をめざし、全国の人々を温かくお迎えしようと、県民総参加で準備を進めてきました。

選手の皆様には、栄えある郷土の代表として、日ごろ鍛えられた力と技を存分に発揮されることを期待しています。そして、一緒に参加される選手はもちろんのこと、運営に携わる役員、ボランティア、応援の皆様との交流を深めてください。多くの感動を分かち合うことで、この「のじぎく兵庫国体」が、震災復旧・復興の過程で培った「人と人との絆」を大切にした新たな出会いの場となることを願っています。

また、兵庫県は摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の５つの国からなり、地域それぞれに多彩な歴史や文化を持っています。ご来県の皆様には、全市町を舞台に展開される大会を通じて、県民との心温まる交流や兵庫の魅力を十分お楽しみいただければと思います。

本大会の開催に当たり、多大なご支援ご尽力をいただきました関係の皆様に心から感謝を申し上げまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

のじぎく兵庫国体宝塚市実行委員会会長
宝塚市長　阪　上　善　秀

平成17年１月17日に発生した阪神・淡路大震災は、118人の尊い市民の命を奪うなど、私たちのまちに甚大な被害をもたらしました。その時に頂戴いたしました全国の皆様方の温かいご支援につきましては、今もって感謝の念に耐えません。

今日ここに、全国各地から多数の選手・監督並びに役員の皆様方をお迎えして、第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」バドミントン競技会を開催するにあたり、あらためてご支援への感謝を申し上げますとともに、22万市民を代表して心より歓迎申し上げます。

本市では、震災の経験を踏まえて、「人と自然がふれあう、心豊かな美しいまち宝塚」を基本目標に、市民とともに「安全・安心」、「活力のある」まちづくりに取り組んでいるところであります。

「のじぎく兵庫国体」の開催にあたりましては、この目標のもと、市民も様々な角度から参画・協働し、全国から集う人々と交流を深めるとともに感動と歓びを分かち合いたいと考えておりますので、選手の皆様方には一人でも多くの市民と交流を深めていただければ幸いに存じます。

また、50年ぶりに開催される国体でありますから、これを契機に地域、職場、学校でのスポーツ活動を進めて、「生涯スポーツのまち宝塚」の実現も目指していきたいと考えております。

選手の皆様方の、日頃の実力と練習の成果を十二分に発揮した、素晴らしいプレーを目の当たりにすれば、市民のスポーツへの関心もきっと高まることでしょう。大いに期待したいと思います。

最後に、本競技会の開催にあたりまして、ご尽力、ご支援いただきました財団法人日本バドミントン協会、兵庫県バドミントン協会をはじめ、関係者・関係団体の皆様に心から敬意と感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

兵庫県バドミントン協会
会長　北　　義一

第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」バドミントン競技会が、全国各地から厳しい予選を勝ち抜かれた、監督・選手並びに役員の皆様をここ宝塚市にお迎えし、盛大に開催できますことは、誠に喜ばしく心より歓迎申し上げます。

国民体育大会が兵庫県で開催されますのは、戦後間もない昭和21年京阪神を中心に開催された第１回大会、県独自としては昭和31年の第11回大会以来、実に50年ぶりの開催となります。

今回の「のじぎく兵庫国体」は、“ありがとう”心から・ひょうごからのスローガンを掲げております。これは、皆様のお陰で元気になった兵庫の姿を披露し、震災時に寄せられた、全国からの暖かい支援と声援に対する感謝の意と、「人と人との絆」を大切に新たな出会いの交流の場となるよう、全県民の願いが込められているのであります。

本大会より、夏季・秋季大会の一本化、参加資格の見直し、国体史上初の試みとして式典・全競技の映像をライブとオンデマンドによりインターネット配信されるなど兵庫ならではの様々な工夫がなされ、簡素化を図りつつも、これからの国体モデルとしての役割を果たすべく、新しい活力あふれる大会を目指しているのであります。

選手諸君におかれましては、国民体育大会が他の競技大会とは異なる意義を持つことを十分理解され、栄ある郷里の代表として、スポーツマンシップにのっとり悔いの無い素晴らしいプレーを展開されることをご期待申し上げます。

結びに、本大会の開催に当り、多大なご指導と、ご支援、ご協力を賜りました多くの関係機関をはじめ、各位に感謝を申し上げまして、歓迎のことばといたします。



天　皇　杯　　皇　后　杯

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、本大会閉会式に授与し、次回冬季大会最初の競技会開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は昭和41年４月１日制定

昭和45年１月22日一部改訂

昭和48年７月10日一部改訂

昭和54年５月９日一部改訂

平成17年６月16日一部改訂



大会会長トロフィー

国民体育大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

⑴　責任をもって保管する。

⑵　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

⑶　優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

⑷　財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は昭和41年４月１日制定

昭和45年１月22日一部改訂

昭和48年７月10日一部改訂

昭和54年５月９日一部改訂

平成17年６月16日一部改訂

大 会 役 員

（順不同・敬称略）

名誉会長

小坂憲次

会　長

森　喜朗

副会長

長沼　健　佐治信忠　岡崎助一　樋口修資　井戸敏三

顧　問

安西孝之　青木半治　猪谷千春　栗原祐幸　鈴木俊一
帖佐寛章　日比野弘　石川武　石榑詔之　大谷正俊
尾崎宏　木下喜彦　監物永三　小嶋光信　斉藤斗志二
坂本祐之輔　鈴木洋一　竹田恆和　武田政義　中山昌作
樋口久子　古川徹　御手洗富士夫　渡邊康二　川口千代
市川正　櫻井孝次　佐野和夫　平田竹男　五十嶋博文
飯田藍　浅見榮一　本山茂樹　福島修　橋爪静夫
二木英徳　阿部克三　有賀豊文　鈴木啓三　河野博文
松尾謙資　山下泉　鈴木孝幸　笠井達夫　木村興治
大山則夫　田中英壽　嘉納寛治　山本秀雄　松下三郎
甲佐清久　遠井稔男　鈴木三成　小杉信太郎　木本由孝
真下昇　田中文男　藤田二郎　飯塚十朗　蓮見圭一
片岡勲　川井武彦　渡辺幹也　宮川昌子　相澤隆也
高波謙二　後勝　田中秋笹　後藤和雄　遠藤容弘
村岡久平　菅原春雄　齋藤寛之　齋藤浩　村越真
松島宏　宮田和久　荒井憲二　中島武範　三辻陽夫
小野清子　高橋眞琴　衣笠剛　島貫啓　勇崎恒也
蝦名武　松田郁夫　佐藤博俊　川口房男　歌丸一夫
鈴木浩一　柳田昌秀　青木英典　上村一志　櫻井勝利
土村孝夫　碓井進　井口弘章　落田真一　小林健孜
大代忠男　柱山嗣廣　赤星哲志　齋藤松次郎　田中敏夫
古田善伯　三田光夫　桝岡義明　林田昭喜　大桑堉嗣
田渕康允　佐藤廣幸　松野英雄　大野徹　竹下隆信
五ノ坪和彦　組橋正人　大亀孝裕　松本通憲　相良哲朗
出口啓二郎　竹原英治　黒木武敏　末永皓久　神谷育雄
雨宮忠　福山信義　天沼照夫　日枝久　梅村清弘
松本好雄　河本三郎　馳浩　吉野正芳　有村治子
結城章夫　近藤信司　林幸秀　玉井日出夫　盛山正仁

赤羽一嘉　関芳弘　井上喜一　谷公一　こびき司
大前繁雄　冬柴鐵三　西村康稔　渡海紀三朗　戸井田とおる
小池百合子　近藤三津枝　矢野隆司　赤松正雄　土肥隆一
松本剛明　山口つよし　市村浩一郎　鴻池祥肇　辻泰弘
末松信介　水岡俊一　扇千景　朝日俊弘　藤原正司
浮島とも子　谷合正明　長田執　平田幸廣　小倉修悟
矢田立郎　安立理秋　小林正典　高尾勝人　河野洋平
林利博　川淵三郎　盛田正明　大久保尚武　吉田大士
川島五郎　立木正夫　鬼塚喜八郎　福田富昭　山崎達光
飛田秀一　渡邊佳英　岩楯昭一　海部俊樹　大林剛郎
岡部英男　松村豊　千玄室　嘉納行光　山﨑拓
綿貫民輔　菊地陞　武安義光　福田康夫　笹川堯
藤原利將　麻生太郎　橋本久美子　赤木恭平　脇村春夫
粥川昌　堀達也　増田寛也　村井嘉浩　蒔苗昭三郎
金森義弘　佐藤栄佐久　角田芳夫　福田富一　横田英一
沼田武　石原慎太郎　山下泰裕　馬場潤一郎　石井隆一
谷本正憲　吉田哲也　山本栄彦　田中康夫　田口義嘉壽
後藤淳　岩名秀樹　國松善次　井手正敬　柿本善也
木村良樹　澄田信義　石井正弘　多田公熙　二井関成
三谷昭夫　多田野榮　中内桂郎　久保長　井本勇
金子原二郎　永野光哉　広瀬勝貞　荒川隆　伊藤祐一郎
稲嶺惠一

参　与

西阪昇　石野利和　篠崎資志　加藤修　筒井もとじ
井戸まさえ　原亮介　石井健一郎　原吉三　小池ひろのり
松田一成　立石幸雄　梶谷忠修　羽田野求　藤井訓博
渡部登志尋　加田裕之　松本よしひろ　葛西利延　浜崎利澄
黒田一美　毛利りん　和田有一朗　石原修三　石井秀武
杉尾良文　水田宏　岩谷英雄　大野由紀雄　加藤康之
北条泰嗣　五島たけし　清元功章　杉本ちさと　内匠屋八郎
いなむら和美　寺本貴至　中村まさひろ　今西正行　宮田しずのり
吉本誠　黒川治　橘泰三　松本隆弘　新町みちよ
岸口実　野口裕　北川泰寿　筒井信雄　越智一雄
田中あきひろ　掛水すみえ　つづき研二　矢尾田勝　門信雄
武田丈蔵　合田博一　中田香子　谷口隆司　小林喜文
釜谷研造　佃助三　宮本博美　井上英之　山口信行
長岡壯壽　山本章　森脇保仁　ねりき恵子　鷲尾弘志
山本敏信　西野將俊　岡やすえ　加茂忍　藤原昭一
芝野照久　野間洋志　小田毅　酒井隆明　藤田孝夫
石川憲幸　永田秀一　藤本正昭　北浦義久　小林護

内藤道成　永富正彦　村上寿浩　前川清寿　栗原一
石堂則本　中村茂　丸上博　齋藤富雄　五百蔵俊彦
東田雅俊　池田茂　清原桂子　井筒紳一郎　江木耕一
黒田進　速水順一郎　西村亮一　永田萠　上羽慶市
吉本知之　藤原正治　辻井博　中瀬憲一　垣内秀敏
表具喜治　西村良二　原口和夫　山崎昌二　塚本隆文
大西孝　北林泰　山田一成　櫛笥享夫　原田彰
南向明博　柏原藤一郎　上田茂　西田裕　下野昌宏
末井誠史　水越浩士　浜本りつ子　小川雄三　圓尾哲一
髙士薫　伏見昭彦　岡修一　岸野建陽　藤井修
西門義博　平良一夫　平松純子　佐藤修　吉井健彦
大辻利弘　木村卓二　小林兼一郎　土谷正男　奥田眞
大西信行　辻寛　野尻武敏　北野美智子　山田正男
白川武夫　北条勝利　今井鎭雄　小西一夫　西田公也
高田邦彦　貝原俊民　井上増吉　和田晋太郎　井實崇人
松尾煌一　桂廣保　鍬方志郎　石井一　福井裕
小島正男　谷口啓二郎　藤本幸男　柴田善久　伊藤研一
中谷元紀　阪本勝彦

委員長

泉正文

副委員長

岡崎助一　小見夏生　坂元譲次　井上数利

総務委員

荒川昇　豊島吉博　安部喜芳　木内貴史　菊幸一
小林隆　篠宮稔　菅原哲朗　杉山茂　瀬尾洋
乃美幸一郎　廣川貞夫　福林徹　松田光晥　三ツ谷洋子
三宅勝次　森正博　山口香　吉井和明　髙橋敏生
國安教善　若井健一　江川清一　出口幸男　中澤清
上村征夫　古賀香正　川口三三夫　福井義三　高橋克輔
高木正皓　熊埜御堂清伍

委員

山本征悦　鈴木浩二　澤村哲郎　林辰男　森清吉
長井俊蔵　木原征治　渡辺政史　不老浩二　竹田幸夫
柿沼憲一　大矢豊治　昇隆夫　菊地俊美　江成元伸
岡田行雄　藤原伸二　白川誠之　安井和男　髙宮輝千代
末松英司　小野沢弘史　笹田嘉雄　浅岡武　長谷川欣一
來栖行正　田中英一　岡本武勝　高山雅夫　五十嵐順

鈴村健治	生沼　剛	君塚　晋	藤田廣大	笹田矩史
大塚　緑	佐藤直亮	関根宏一	黒川光隆	田名部和裕
青田慎太郎	添谷大輔	牧野　耕	土屋耕亮	大島ユキ
嶋倉　剛	南　博徳	水井義武	日比野幹生	根来恭子
猪股康博	山本幸男	日下光彦	米原泰裕	猪村　篤
東　直也	小川昌彦	仁井重雄	村上隆文	中本敏郎
谷垣　司	貴島　徹	駒井正彦	中井一夫	坂本達雄
山中俊三	榎本龍宏	高見　豊	進藤幸生	小西御佐一
神吉賢一	田名網陽子	山本登央	表　孟宏	北　義一
篠崎　治	影山正憲	川瀬武晴	宇都宮敏晴	福原　薫
井上弼子	松原丈夫	山中雅文	遠藤嘉吉郎	横山信仁
金崎詳継	井澤勇雄	山田　勉	河野修一郎	柴山能彦
相坂一則	磯野靜久	髙橋光彦	菊地茂樹	高橋義雄
市田和夫	渡辺正典	髙橋健二	滑川正昭	森島堅二
清水邦夫	青木　寛	船倉正実	茅野英一	石原春男
清水道夫	横嶋信生	末平佑二	中西吉明	森　幸一
今井三千雄	宮本正之	柴田益孝	松田清孝	山梨幹郎
伊藤尋思	津田欣也	中川安久	西村幸夫	山本誠三
老田準司	小林勢治	森岡裕策	山﨑嘉彦	川口一彦
下岡博司	有澤　寛	出店信治	久保田文也	中村龍夫
藤本幸一	馬場康弘	今井裕一	刈谷好孝	森下博輝
北御門哲男	黒田哲夫	坂口和隆	西　正義	白金広正

競　技　会　役　員

名誉会長	兵庫県宝塚市長			阪上善秀
会長	財団法人日本バドミントン協会会長			綿貫民輔
副会長	財団法人日本バドミントン協会副会長			三宅祐司
	財団法人日本バドミントン協会副会長			清水務
	財団法人日本バドミントン協会副会長			遠井稔男
	兵庫県バドミントン協会名誉会長			今井鎮雄
	兵庫県バドミントン協会会長			北義一
	兵庫県宝塚市体育協会会長			出口和生
	のじぎく兵庫国体宝塚市実行委員会事務局長			酒井伸一
顧問	沓掛哲男	森喜朗	関谷勝嗣	森田一
	久間章生	林芳正	市川一朗	伊藤基紀
	加藤三夫	上田啓次	杉田安雄	宮澤宏之
	村上忠治	八木橋伸夫	佐藤保	塩川甫
	橋本角市	相場清一	権田正一	丸山嘉久
	植田博宣	原二三雄	秋元信一	清水規矩雄
	平田登志郎	青木昭二	池田昌道	毛利清志
	川端昇市	高橋重夫	中島寿禧	五十里光秋
	内多小五郎	小宮淳宏	吹田修一	牧野武
	村山幸雄	戸田清一	濱中誠	福岡幸一
	伊豆晃	岡本武利	本郷節生	今北基夫
	菊地利明	野村嘉明	日高壯	渡辺成雄
	伊藤鑛一	小飼栄一	里見光徳	山根怜
	佐藤芳朗	竹林克彦	油井秀男	浅岡武
	木村寛	小林純幸	小山内信一	菅原周一
	齋藤隆夫	金森義弘	須藤博	手塚克彦
	日野昇	唐澤清一	田中康二	杉田博
	保坂和也	宮川忠和	金子忍	高澤基
	高山和夫	上野忠	後藤淳	金森正
	神谷哲郎	澤長壽	田中田鶴子	藤田庸右
	石田真敏	加藤博司	成相安信	岡﨑彬
	深山英樹	池上任	西野昌明	瀧山一甫
	西森潮三	四島司	野口良治	松本孝一
	近藤稔	池田徹	金城芳雄	堀江繁
	秋草直之	関場武	伊佐山正和	小野理
	馬殿敏男	田辺眞人		

参与	花岡牧夫	岡村英男	富田善明	板垣隆房	
	星野忠男	藤本滋	加藤寛治	原紀征	
	地崎昭宇	大前繁雄	岸本孝雄	平林弘嗣	
	増谷和人	平方昌子	藤川清史	吉持節夫	
	大圃秀生	水垣清之	鍋田賢一	武田直哉	
	馬淵かの子	並河ひろ	清水稔	田名網陽子	
	奥村迪雄	伊達達治	練木恵子	森脇保仁	
	金岡静夫	中野武	宮本博司	村野一郎	
	上田敏和	中谷保	勝山浩司	村上正明	
	石倉加代子	古田時子	田上多加夫	北林泰	
	乾英文	大田衛一	砂田耕二郎	石澤ヒデ子	
	池田幹雄	芦田敏郎	龍見昭廣	二村新六	
	中安登	政井小夜子	今井圓明	稲野廣	
	中山繁子	山崎之嗣	渡部武	潮隆次	
	池田則夫	松本孝一	小早川優	中田雄久	
	魚住俊市	橋元泰雄	井上和幸	釜本孝彦	
	南隆	山下稔			

委員長	財団法人日本バドミントン協会専務理事	関根義雄
副委員長	兵庫県バドミントン協会理事長	瀬川欽也
	宝塚市バドミントン協会会長	吉岡健
	のじぎく兵庫国体宝塚市実行委員会事務局次長	比嘉正義

委員	阿部秀夫	今井茂満	岩崎昭郎	上原信彦
	川島一郎	鈴木勝之	高橋英夫	千葉健夫
	野村安忠	平林良治	藤原和文	藤原航
	真壁幹雄	村井広美	山田順一郎	井上利子
	市岡真知子	乃美喜代子	友金利一	

競　技　役　員

競技役員長	山田順一郎				
総務部長	瀬川欽也				
競技審判部長	上野　誠				
総合成績計算委員長	今井茂満				
総合成績計算委員	境　良治	田中　歩	平尾　亮		
総務副部長	友金利一	大圃秀生			
総務主任	宿里和江				
総務委員	西川公子	四ツ谷　誠	山下佳子	井上利子	
	前川淑子	友金征子	河野京子	井谷節子	
	清正美佐子	北島幸代	横田和子	吉田理恵	
	久保悦子	長田大助	矢田部教子	出田安隆	
競技主任	矢田部浩一				
競技委員	平田昌人	戸嶋信夫	古田充代	中嶋京子	
	平井大三				
進行主任	吉田　肇				
進行委員	江口武志	杵島明美			
記録主任	戸井　孝				
記録委員	吉岡亨二	北村祐介			
シャトル主任	中尾圭吾				
シャトル委員	荒井秀樹				
点示主任	小山健次	栃下勝彦			
点示委員	北脇和子				
掲示主任	冨増匡子				
掲示委員	岡井雅彦	吉田翔子	三宅桜子		
報道主任	松本泰典				
報道委員	高橋幸治	寺町彰浩			
放送主任	越智真弓				
放送委員	地神京子				
招集主任	藤本和幸				
招集委員	殿内　境	玉田浩章	大久保陽造	坂元悦子	
	野村宣子				
得点表示主任	仲　日出男	久保裕志			
得点表示委員	上野仁史				
競技審判副部長	神谷晴美	神谷　衞			

審判員	江刺家大介	鈴木満弥	丸山秀之	倉科儀男
	戸田敬一郎	高島藤子	三王知治	名智満
	末光治雄	小田隆司	西川浩	大辻子了二
	上田昇	小原純子	高橋さゆり	百野郁子
	山本剛	伊藤義次	松村一三	中込治
	梅蔭喜久治	長谷川工	佐々木真津夫	久米永一
	佐藤英喜	佐藤浩史	豊田悟	佐保昌一
	矢野則行	福島康夫	高松聡美	福武里美
	入口秀子	小池由紀子	小高由香	川北敏也
	児玉貴之	山西佳子	乃美喜代子	川嶋英子
	小林幹男	古沢多香子	広岡輝男	常深隆文
	土井誠子	丸草智明	市岡真知子	澄川稔子
	中野幸夫	西園みゆき	宮森ひとみ	岡本慶子
	原田久美子	柴田悦子	河田保憲	福水美保
	外村和美	松井英司	足立達昭	湯川峰子
	細川幸子	東保雄	進藤恭輔	松澤和子
	和田力	辻田尚子	岩谷浩	橋本哲也
	奥洞桂介	上田圭顕	山田浩二	松本幹男
	川西良作	山磨和弘	宮本直哉	溝渕いづみ
	長井純一郎	松田由美子		
線審員	高垣尚美	稲田百合	今井宏子	大島佳子
	前田清美	赤松由梨	横田仁美	加藤美砂
	坂本裕恵	村上郁夫	藤原知子	洞山和子
	國廣順子	小林安司	末次美苗	坂田幸子
	森園幸太郎	山羽悦子	喜多令子	方山通子
	大野浩史	吉田裕江	笠井正三郎	大木和子
	苅谷英明	前川和美	大東恵里子	藪田典子
	中井玲子	原田加代子	佐伯悦恵	辻和浩
	谷口扶美映	國廣正則	堀人友子	清水武司
	中島純子	中島勝	樽本慎一	安川在奎
	馬場美春	佐山佳子	玉久保政巳	高坂俊夫
	土取徹	岡田忍	浜田宣行	遠藤裕司
	高垣明子	家寿多直樹	高垣達洋	時實幸子
	藤原章訓	宮川真左美	猪原和子	打田博保
	服部勝	原岡かずえ	井口信夫	山田優子
	中村雅美	内海泰代	河田友美	保井一志
	多田等	永井義人	益田剛史	五十嵐明巳

秋月能子　吉原恭子　小川和代　山村茉由美
越智容子　篠原知穂　井上由美子　金川久美子
家壽多直美　彦田美穂　芦原佐紀美　加納奈津子
右田ゆかり　永井恵子　野市敏子　長井清子
日美左代子　高橋喜真枝　田中京子　大谷美稚子
宮本貴巳子　中野公恵　文元恵子　稲葉裕美
谷　久美子　東山美子　小山直美　岸　世紀子
松岡桂子　西尾千秋　森　順子　佐々木寿美代
伊賀恵美子　用松礼子　大倉真理子　馬場路子
井上雅子　小林恵子　酒井昌子　後藤眞弘美
大片美由紀　髙橋朋子　柳原和恵　奥　郁
魚谷潤子　水嶋輝代　岩本明子　板倉牧子
高坂尚子　吉井正美　渦古恵美　瀬川智佳子
大石　斉　幸田直樹　谷川佐由里　谷川征洋
畑末宝要　河井満代　栢木美保　中山京子
羽鳥正美

競　技　補　助　員

県立宝塚高等学校

岩下祐士　大庭一也　杉本　涼　藤友唯史
芳野圭太　新井美紀　片山沙紀　河野有紀
坂上以久美

県立宝塚西高等学校

大森麻理子　和田梨紗　富岡沙紀　荒谷紗代
上鶴恵理　貞原郁里　藤井真美　松崎あづみ
宮田久美子

県立宝塚北高等学校

田中慎一　若生真季　片桐ひとみ　小野綾子
新川　茜　戸川詩織　岩崎まどか　中村志穂
上村友美　西村圭織　山路絢子　永井あやこ
池田晴佳　芦田水美　木内麻美　黒田　恵
小杉実加　阪中由美

県立宝塚東高等学校

佐々木恒治　福永理紗　畠中千春　中島由起
赤穂智千夏　寺山里菜　金岡美里　永井　唯
成宮あゆみ　赤池菜々　吉村菜都江　川畑綾香
田中里佳　浜野白保　稲村和加子　井上瑠唯
岡　夕佳利　柿原　愛　小林　都　言水美果
坂上嵩子　山口愛実　志岐有紀　濱田小百合

神戸村野工業高等学校

前田翔太　矢田部泰輔　柳川亮二　植田真伍
坂本　輝　坂本　翼　溝口将生　大西純平
南　慶樹　井上隆幸　門元謙都　長澤文弥

園田学園高等学校

山森裕子　中村真友　田中美奈　田中晶野
山本美佳　下崎久美加

夙川学院高等学校

森元美聡　下山　遥　山田有紀　兼光あさみ
横井　優　森川丹妃　上所　愛　椿原郁奈
稲葉奈保美　堀江紗希

県立川西北陵高等学校

天羽智大	日巻　丈	福田雄二郎	大善慎之
坂井隆太	福田裕貴	橋本哲弥	奥谷勇紀
朝子翔太	松田理沙	後藤詩織	牛島菜津子
大崎敦子	永井美佳	三反畑　舞	

県立伊丹高等学校

井上孝諒	大原一晃	小泉慎治	木城あゆみ
安田麻記	仁井田早織	坪井志帆	長尾麻里
松本華奈	大島優紀	鈴木菜穂	長畑奈津子

県立御影高等学校

穴井太朗	新海　匠	寺本将士	磯川克洋
松本匡平	竹中元希	加島裕己	原田大輝
石原さおり	山本佳奈	石田菜見子	西村莉奈
安田名那	阿部真由美	去来川真衣	桑田知佳
田中理沙	松尾和美	吉谷美南	

実施本部員名簿

（順不同・敬称略）

本部長	上田敏和				
副本部長	村野一郎	中谷　保	勝山浩司	南　　隆	
部長	酒井伸一	谷本政博	坊　則正	鷹尾義人	
	松藤聖一	坂上正彦	徳田逸男	藤森　求	
	山下　稔	村上真祥	小中和正	秋山　守	
	今里善直	大西良信			
副部長	比嘉正義	東郷　薫	前川　猛	福島忠雄	
	村上圭子	小林武則	井上道彦	井上輝俊	
	新谷俊広	山口誠一	菅　政男	永友聖祐	
	土橋寿雄	藤原　一	加治一博	鷹尾直人	
	大路　勝	野間健太郎	吉良章二	山脇　修	
	高橋慶匡	新谷茂樹	前田憲一	藤本　賢	

係員名簿

総務部	北芝芳己	杉尾　誠	矢野政秀	大西経治
	山下　浩	松田憲一郎	時任俊徳	中塚由紀子
	高橋　勇	前田俊也	小野田安弘	
市民運動部	島廣弘二	小川清次	大西　章	酒井喜久
	岡本勝幸	小西清久	西尾和子	平井哲也
	前中睦美	益田裕文	森田英仁	野元勇宏
	小林郁夫	井ノ上　彰	吉田　勤	
環境美化部	神野康治	安井俊雄	京極　孝	
輸送交通部	木本丈志	増田正雄	岩木栄二	桜井博美
	黒田哲郎	菊川将博	中村智成	大崎正和
	藤本隆弘	秋山清和	中下政仁	松浦利彦
	田中高吉	細見隆夫		

宿泊衛生部	今里典子	國方香代子	服部綾子	福原真理
	今村実奈	外堀佳代	畑　めぐみ	高谷秀昭
	内田奈津子	家門正一	中村英一	藤井奈津子
	坂田健一郎	岡本裕子	塩崎美和子	長野保彦
	二口亮平			
消防警備部	宝塚市消防本部	宝塚市西消防署	宝塚市東消防署	
競技会場部	浅野憲一	中村尚雄	窪野安敏	黄瀬公一
	阪本真司	山下富司	倉田由男	足立庄市
	中田博信	谷口直子	今村政信	
競技運営部	久後昌敏	松岡丈雄	西本啓治	田島誠也
	萩原一樹	小南惠司	寺脇俊次	竹内孝一
	小川裕彦	松永明平	齋賀　剛	水野　寧
	小野正直	西面幸之助	定井昭成	遠藤常人
	古家宗次郎	直宮憲一	浦浜次郎	西脇こよの
	植松生夫	小林　力	井上聡子	倉橋滋樹
	溝口安隆	橋詰まゆ美	大西正彦	政処剛史
	新才正樹	浅原秀子		
学校参画部	中内規子	小野光良	紀谷貴美子	森　恵実子
	加藤秀明			

実施本部ボランティア名簿

（順不同、敬称略）

武内　昇	平井登代子	津国千恵子	田中芙佐子
八木多美子	山田みどり	村上倫子	池田保子
伊藤善子	田中百合子	稲葉秀雄	田野元子
石澤ヒデ子	金田栄子	中戸春美	山名佳代美
下村真理子	下村尚子	迫田志津子	迫田真美子
笠井雅子	坂口康子	橋本香里	南　祥子
寺山晶子	松田庄作	濱野　靖	進藤晴子
足立悦路郎	田崎哲夫	中上敏明	木城義朋
仲野裕子	沖代冨美子	砂川　恵	山本明子
西尾千秋	浜地ひとみ	乃美喜代子	山口伊吹
石川市雄	間瀬順子	大澤章薫	黒田佳代子
石川玉美	戸井惠似子	戸井謙二	庵軒万貴子
谷田百合子	重村卓範	林　伸子	米沢禎子
橋野陽子	野中和美	植村美奈子	前田みどり
友金征子	岸本義雄	真野　攻	木島ミヨ
仁藤憲征	田中芙佐子	松生寿子	天野金子
栗田武夫	高梨全弘	下垣清子	酒井孝信
夏原貴子	松下美喜恵	三好和代	山田　榮
道下紀子	梅田ふみ子	中西まさ子	三宅雅子
重村直希	福井　宏	佐々木寿美代	酒巻美代子
岸　世紀子	高原千代子	正木直子	守岡寿恵子
井上敬子	下村朝彦	石丸真理子	原本紀幸
石川　功	森下靖夫	藤澤輝幸	藤井貞夫
安井佐知子	徳丸裕晃	仁尾正義	小林勝昭

田中紀久	吉田　敦	坂元宏康	米沢禎子
小森節子	飯田みち	田中佳美	岩本ますみ
阿部桂子	神谷満佳	近藤綾美	池田通子
池田為吉	太田敏春	井原唯夫	尾崎　実
西井利明	高原輝行	田中　至	岩崎和浩
西尾千秋	金田和子	池田保子	植村美奈子
藪田直子	尾崎　淳	石野教子	羽山友子
田所令子	筒井道子	二村陽子	梅田ふみ子
早木たまみ	諸岡菊子	近藤佳世	中野智子
前田みどり	田岡八重子	小谷輝美	干野まり
古川八重子	阪本千夏子	上倉昭子	大東佐知子
岩川真美	仲　真住	毛利武次郎	道下紀子
大関敦子	北治あけみ	山本美也子	杉森秀子
大本明美	佐藤邦子	古川八重子	早木たまみ
井原唯夫	西井利明	稲野秀子	乾　八重子
今里慶子	今里妙子	今里富貴子	植田清子
岡林弘子	奥田敏子	金岡冨美子	金岡昌代
喜多芳江	阪上和美	阪上正子	柴田愛子
杉山香代子	宗進明美	田中知子	豊田恭子
西岡エミ子	西村照代	政井小夜子	松村いつこ
三宅直子	森脇陽子	山本加代子	若生英子
若生美紀	若林昭子	阿部洋子	植村美津子
阪上美智子	菅沼玲子	竹中美起子	建部路子
田野よりこ	中山繁子	林　小百合	森　美和
山崎眞知	山根幸江	吉田照美	田中英三
田中種三郎	浜川　需	平尾俊郎	深田紀夫

柳　谷　益　巳	横　内　俊　男	石　原　義　泰	柳　　容　子
高　木　貞　子	塩　出　孝　枝	福　田　万千子	田　中　達　子
盛　次　　勇	大　東　　緑	大　原　悦　子	岡　橋　禮　子

宝塚北高等学校吹奏楽部の皆さん

宝塚市少年少女合唱連盟の皆さん

小林聖心女子学院高校の皆さん

雲雀丘学園高校の皆さん

宝塚造形芸術大学の皆さん

宝塚外出介助の会の皆さん

宝塚市登録手話通訳者の皆さん

要約筆記サークル宝塚サマリーの皆さん

Ｐａｌたからづかの皆さん

宝塚高齢者雇用福祉事業団の皆さん

「ＩＴ国体」映像配信ボランティアの皆さん

甲子園大学　現代経営学部の記録映像ボランティアの皆さん

宝塚市地域緑化モデル地区指定団体「自主研修グループ」の皆さん

総　　則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地域スポーツの振興と地域文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

兵庫県で開催する第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」は、「“ありがとう”心から・ひょうごから」をスローガンに、阪神・淡路大震災から創造的復興を遂げた姿と全国から寄せられた多くの支援に対する感謝の意を県の内外に発信するとともに、簡素な中にも活発で充実した新しい国体を目指し、県民一人ひとりの英知と力を結集し開催するものである。

実施方針

1　実施競技

正式競技	公開競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球 ビーチバレー スポーツ芸術

2　会期及び会場地

会期	会場地	会場地数
平成18年９月30日（土） ～10月10日（火） 〔11日間〕	神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、太子町、上郡町、佐用町	29市5町
	大阪府豊能郡能勢町、岡山県岡山市	県外1市1町

3　競技方法

正式競技は都道府県対抗とし、公開競技についてはそれぞれの実施要項に示す方法とする。

4　ドーピング・コントロール検査の実施

検査は、国体ドーピング・コントロール規定に基づき実施する。

5　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

(1)　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち次の者については、日本国籍を有しない者であっても、成年又は少年の種別に参加することができる。

(ｱ) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者（日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。）

(ｲ) 学校教育法第１条に規定する学校に在籍する学生又は生徒

ただし、

a　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生及び家族滞在（中学３年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、留学生については、参加できない。

(ｳ) 参加しようとする当該年以前に前号(ｲ)の規定に該当していた者。

イ　各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第59回又は第60回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第59回又は第60回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ) 成年種別

a　平成17年度に学校教育法第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

(ｲ) 少年種別

a　平成17年度に学校教育法第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記２「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。）

エ　選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　前記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ) 参加選手は冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

(ｲ) 回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

(ｳ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ｴ) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｵ) 単一大学又は実質的に単一大学の学生によって構成される団体競技のチームは、参加できない。ただし、個人競技で当該競技団体が定めた適正な予選方法により、結果として単一大学の者が選出された場合は、この限りではない。

(ｶ) ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

(2)　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 勤 務 地

(ｳ) ふるさと（別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

イ　少年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 学校教育法第１条に規定する学校の所在地

(ｳ) 勤 務 地

※　上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成18年４月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。
・成年種別の選手が属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合
・少年種別の選手が「一家転住」した場合

(3)　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ) 成年種別に参加する者は、昭和63年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ) 少年種別に参加する者は、平成３年４月１日以前に生まれた者から昭和63年４月２日以後に生まれた者とする。

(ｳ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成18年４月１日を基準とする。

イ　㈶日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生とする。

(4)　前記の各事項に疑義のあるときは、㈶日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、㈶日本体育協会がその可否を決定する。

別記１【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1)　成年種別に出場する選手は、開催基準要項細則第３項〔本則第８項第１号及び第10項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア　居住地を示す現住所

イ　勤 務 地

ウ　ふるさと

(2)　「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

(3)　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は、変更できないものとする。

(4)　「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第３項－(1)－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(5)　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

(6)　参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、㈶日本体育協会宛に提出する。

別記２【「一家転住等」に伴う特例措置の考え方】

転校への特例

次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（開催基準要項細則第３項－(1)－1）－③）に抵触しないものとする。

(1)　この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

(2)　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむをえない理由に限ることとする。

(3)　「一家転住等」とは、概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむをえない理由による一家の転居

(4)　転居先の都道府県予選会締切日以前に、次の手続きを終了していること。

ア　別に定める様式により、属していた都道府県体育協会会長及び都道府県競技団体会長の

承認を得ること。

イ　承認を得た書類については、転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体へ提出すること。

6　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1)　次のア、イの得点を合計したものを都道府県ごとの男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次の２種類とする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、少数第３位以下を切り捨てる。

		１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位
種別	４人以下	24点	21点	18点	15点	12点	９点	６点	３点
	５人以上７人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	５点
	８人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	８点
種目	―――	８点	７点	６点	５点	４点	３点	２点	１点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2)　各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3)　アンチ・ドーピング規則違反に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会アンチ・ドーピング規則違反に対する制裁措置等取り扱い規則」及び「国民体育大会におけるアンチ・ドーピング規則違反が確定した場合の競技順位・得点等の取り扱い要領」によるものとする。

7　表　　彰

(1)　冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2)　冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3)　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

(4)　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5)　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、更にその都道府県名と個人名を記載したものをチーム全員に授与する。

8　各競技の参加申込み方法

(1)　都道府県の体育協会会長及び各競技団体会長は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び㈶日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長あてに申し込むものとする。

(2)　参加申込みは、定められた期限までに所定の様式及び方法により、㈶日本体育協会あてに行う。

(3) 参加申込期限

区　　分	期　　限	競　　技
第１次参加申込	ア．平成18年８月22日(火)	自転車
	イ．平成18年８月24日(木)	陸上競技、水泳、ボート、レスリング、セーリング、相撲、カヌー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ
第２次参加申込	ア．平成18年９月１日(金)	柔道
	イ．平成18年９月４日(月)	テニス、体操、フェンシング、クレー射撃、馬術
	ウ．平成18年９月７日(木)	サッカー、ホッケー、ボクシング、バレーボール、ウエイトリフティング、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、銃剣道、高等学校野球、ビーチバレー

(4) 参加申込用紙は、㈶日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 参加申込み締切り後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、下記あてに文書で届けなければならない。

ア　㈶日本体育協会

イ　全国を統轄する各中央競技団体事務局

ウ　のじぎく兵庫国体実行委員会事務局

エ　のじぎく兵庫国体各競技会場地市町実行委員会

なお、㈶日本体育協会に対しては、上記の文書による届け出の後、所定の様式及び方法による交代（変更）手続きを行うものとする。

９　大会参加負担金

(1) 本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、１人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	１，５００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	２，０００円

(2) 大会参加負担金は、各都道府県体育協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限

	納　入　期　限
第１次参加申込分	平成18年８月24日(木)
第２次参加申込分	平成18年９月７日(木)

イ　納 入 先

みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　５１３７２９

財団法人日本体育協会

10　宿泊申込み

大会参加者は、のじぎく兵庫国体実行委員会が指定した所定の様式により、定められた期限までに申し込む。

11　参加選手団本部役員編成及び視察員

(1)　参加選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手500人以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計20人以内とする。

イ　参加選手300人以上500人未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計15人以内とする。

ウ　参加選手300人未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計10人以内とする。

(2)　上記役員のほか、５人以内の顧問を設けることができる。

(3)　上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

(4)　参加選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

(5)　視察員は、１都道府県３人以内とする。ただし、第62回大会から第66回大会までの開催県については、秋田県100人以内、大分県、新潟県、千葉県、山口県50人以内とする。

12　参加章、記念章及び視察員章の交付

参加章、記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1)　参 加 章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2)　記 念 章

大会補助員、協力者及びデモンストレーションとしてのスポーツ行事参加者

(3)　視察員章

視 察 員

13　参加上の注意

(1)　大会期間中は、交付された参加章、記念章又は視察員章を着用しなければならない。

(2)　参加章及び視察員章着用者は、開・閉会式を除くすべての競技会場に入場することができる。

(3)　各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

14　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1)　都道府県の主催団体は、㈶日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議のうえ本要項に基づき実施要項を作成する。

(2)　参加者は、実施要項に基づき当該都道府県の主催団体に申し込む。なお、参加は１人１競技に限る。

(3)　申込みは、すべて各競技団体所定の参加申込用紙による。

(4)　参加料を徴収する場合の金額は、主催団体が中央競技団体と協議のうえ定める。

(5)　競技運営に差し支えない限り、兵庫県選手は当該競技のブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

15　デモンストレーションとしてのスポーツ行事

デモンストレーションとしてのスポーツ行事は次表のとおりとし、実施については、同スポーツ行事実施基準に基づく実施要項による。

デモンストレーション としてのスポーツ行事	会 場 地	会場地数
親子バレーボール	市川町、福崎町、 神河町	18市10町
シニアソフトボール	丹波市	
カヌーマラソン	香美町	
フレンドリーアーチェリー	加東市	
ペアマッチゴルフ	新温泉町	
少林寺拳法	尼崎市	
武術太極拳	伊丹市、赤穂市	
日本拳法	西宮市	
ペタンク	淡路市、たつの市 猪名川町	
トライアスロン	淡路市	
ゲートボール	洲本市、加東市	
綱引き	たつの市	
グラウンド・ゴルフ	丹波市、香美町	
バウンドテニス	たつの市	
インディアカ	佐用町	
マウンテンボール	姫路市	
フィールドゴルフ	豊岡市	
パラグライダー	養父市	
スポーツチャンバラ	佐用町	
親子ペアジョギング	宍粟市	
健康マラソン	豊岡市	
ハーフマラソン	淡路市	
クロリティー	播磨町	
囲碁ボール	丹波市	
ティーボール	西宮市	
ウォークラリー	養父市	
オリエンテーリング	加西市	
ウォーキング	朝来市、稲美町、 香美町	
ペーロン	相生市	
ファミリーバドミントン	丹波市、たつの市、 多可町	
エアロビック	洲本市	
ビリヤード	伊丹市	
ダーツ	養父市	

デモンストレーション としてのスポーツ行事	会 場 地	会場地数
少年少女スポーツ（水泳） （バスケットボール） （卓球） （軟式野球） （相撲） （ゲートボール） （駅伝）	赤穂市 朝来市 姫路市 姫路市、南あわじ市 加東市 南あわじ市、 新温泉町 西脇市 宍粟市	

16 そ の 他

(1) 参加申込み及び宿泊申込みが、定められた期限までに行われない場合、または、参加負担金が定められた期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

第61回国民体育大会バドミントン競技実施要項

1　期　　日　　平成18年10月１日(日)から４日(水)まで（４日間）

種　　別	10月１日(日)	10月２日(月)	10月３日(火)	10月４日(水)
成年男子	１・２回戦	３回戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝
成年女子		１回戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝
少年男子		１回戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝
少年女子	１回戦	２回戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝

2　会　　場　　宝塚市　　宝塚市立総合体育館

3　種別及び参加人員

種　　別	監　　督	選　　手	参加都道府県	小　　計	合　　計
成年男子	１	３	４７	１８８	４４４
成年女子	１	３	１６	６４	
少年男子	１	３	１６	６４	
少年女子	１	３	３２	１２８	

4　競技上の規定及び方法

(1)　平成18年度の㈶日本バドミントン協会競技規則による。

(2)　各種別とも１複２単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち２試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、３位決定戦を行う。

5　予選方法

成年女子、少年男子、少年女子はブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。

ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1
東　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	4
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	6
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2	3
東　海	愛知、三重、岐阜、静岡	1	1	2
近　畿	滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山	2	2	4
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	3
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	2
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	6
開催地	兵庫	1	1	1
計		１６	１６	３２

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるところによる。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位24点、２位21点、３位18点、４位15点、５位（４チーム）各7.5点の競技得点を与える。

(2)　参加得点

大会（ブロック大会も含む。）に参加した都道府県に10点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8　表　彰

(1)　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

(2)　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3)　各種別の第１位から第８位までに賞状を授与する。

9　参加申込み方法

(1)　所定の参加申込ファイルへ必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成18年９月７日(木)までに㈶日本体育協会へ提出（アップロード）すること。

(2)　締切期限以降は参加申込ファイルの提出が受け付けられなくなるので、締切期限を厳守すること。

(3)　参加申込み締切り後の選手の変更は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、下記のア・イ・ウの事務局あてに文書で届け出なければならない。ただし、監督会議開催前までとする。

ア　〒150-8050　東京都渋谷区神南１－１－１　岸記念体育会館内
㈶日本バドミントン協会
TEL 03-3481-2382　　FAX 03-3481-2456

イ　〒650-0011　兵庫県神戸市中央区下山手通４丁目16－３　兵庫県民会館８階
のじぎく兵庫国体実行委員会事務局
TEL 078-362-4046　　FAX 078-362-3969

ウ　〒665-0031　兵庫県宝塚市末広町３－77　末広体育館内
のじぎく兵庫国体宝塚市実行委員会事務局
TEL 0797-77-2152　　FAX 0797-77-2519

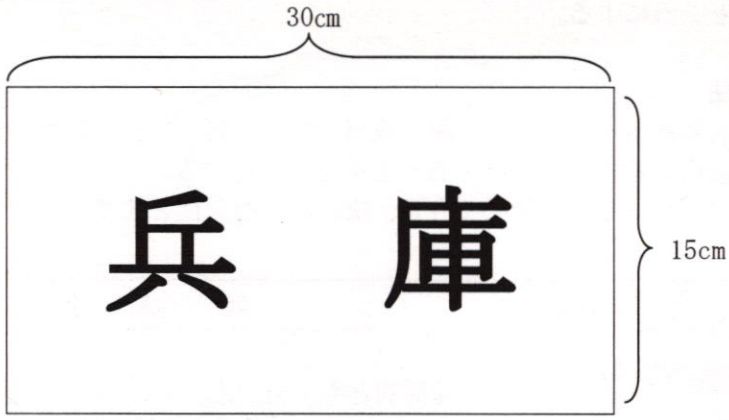
なお㈶日本体育協会に対しては、上記への提出後、別途、所定のファイルにより提出（アップロード）すること。

10　参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦15cm、横30cmの範囲内に都道府県名を明示すること。

文字は、紺または黒の漢字とする。

（例）



11　そ の 他

(1)　組合せ抽選会

日　時　　平成18年９月９日(土)　午後１時

場　所　　岸記念体育会館会議室

〒150-8050　東京都渋谷区神南１－１－１

TEL 03-3481-2382

(2)　監督会議

日　時　　平成18年９月30日(土)　午前８時30分

場　所　　宝塚ホテル

〒665-0004　宝塚市梅野町１－46

TEL 0797-87-1151

(3)　審判会議

日　時　　平成18年９月30日(土)　午後４時

場　所　　宝塚ホテル

〒665-0004　宝塚市梅野町１－46

TEL 0797-87-1151

(4)　オープニングプログラム

日　時　　平成18年10月１日(日)　午前８時30分

場　所　　宝塚市立総合体育館

〒665-0827　宝塚市小浜１丁目１－11

TEL 0797-87-5911

(5)　表 彰 式

日　時　　平成18年10月４日(水)　午後２時

場　所　　宝塚市立総合体育館

〒665-0827　宝塚市小浜１丁目１－11

TEL 0797-87-5911

オープニングプログラム

1　日　　時　平成18年10月１日(日)　午前８時30分

2　場　　所　宝塚市立総合体育館

3　式 次 第

順序	次　　第	時刻	登　壇　者	備　考
集合整列	監督・選手集合	8:00		
	役員整列	8:20		
	選手・役員等集合完了	8:25		
	開式予告	8:25		
1	開式通告	8:30		
2	選手団入場	8:31	競技会会長	
3	競技会開始宣言	8:43	競技会委員長	
4	国旗儀礼	8:44		
5	大会旗・日本バドミントン協会旗・兵庫県旗・宝塚市旗儀礼	8:46		
6	大会会長トロフィー返還	8:47	競技会会長	
7	競技会会長挨拶	8:49	競技会会長	
8	歓迎の言葉	8:53	宝塚市実行委員会会長 兵庫県バドミントン協会会長	
9	表彰・感謝状贈呈	9:00	競技会会長	
10	閉式通告	9:08		
11	選手団退場	9:09		
12	役員退場	9:10		

表　　彰　　式

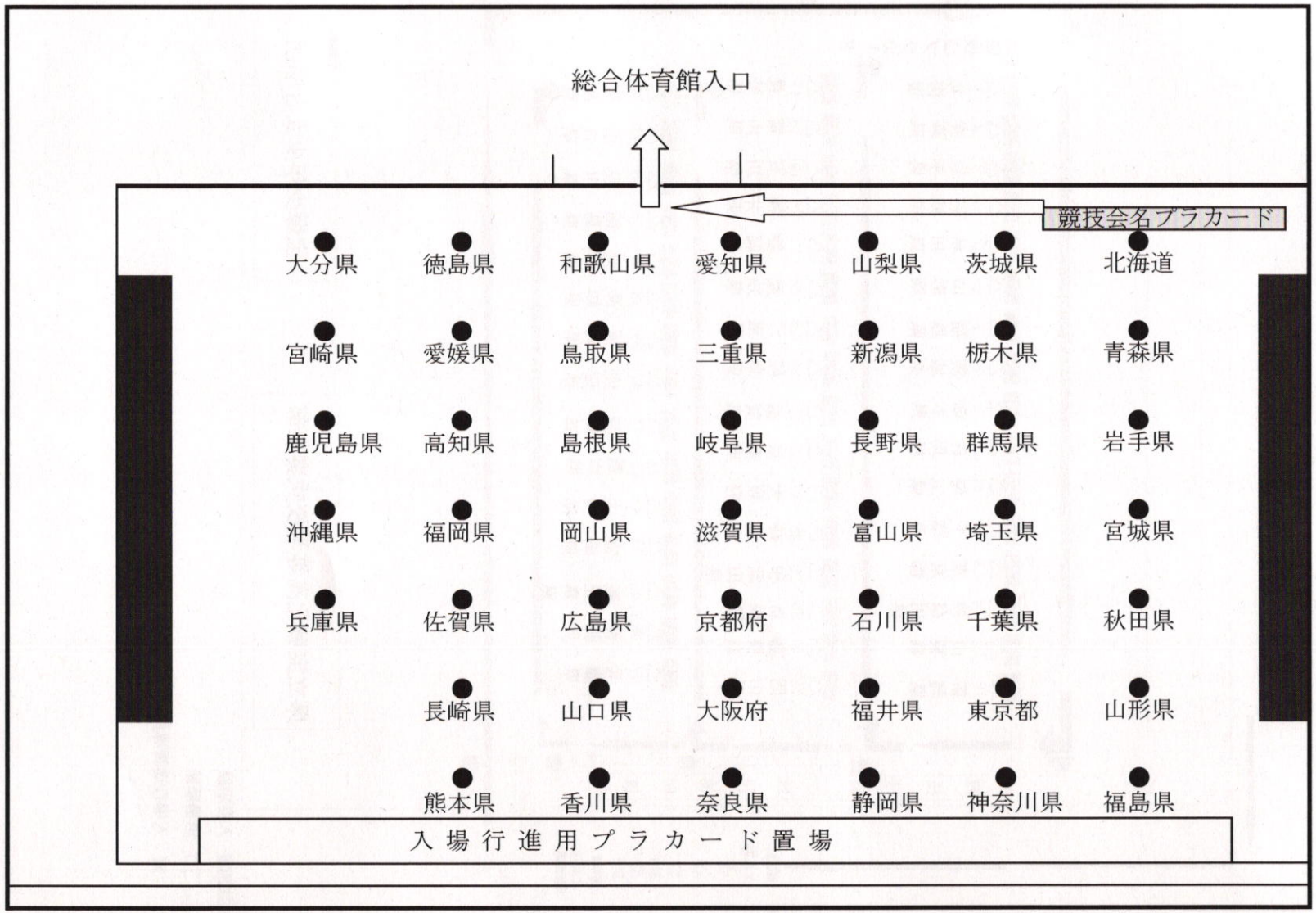
1　日　　時　平成18年10月４日(水)　午後２時

2　場　　所　宝塚市立総合体育館

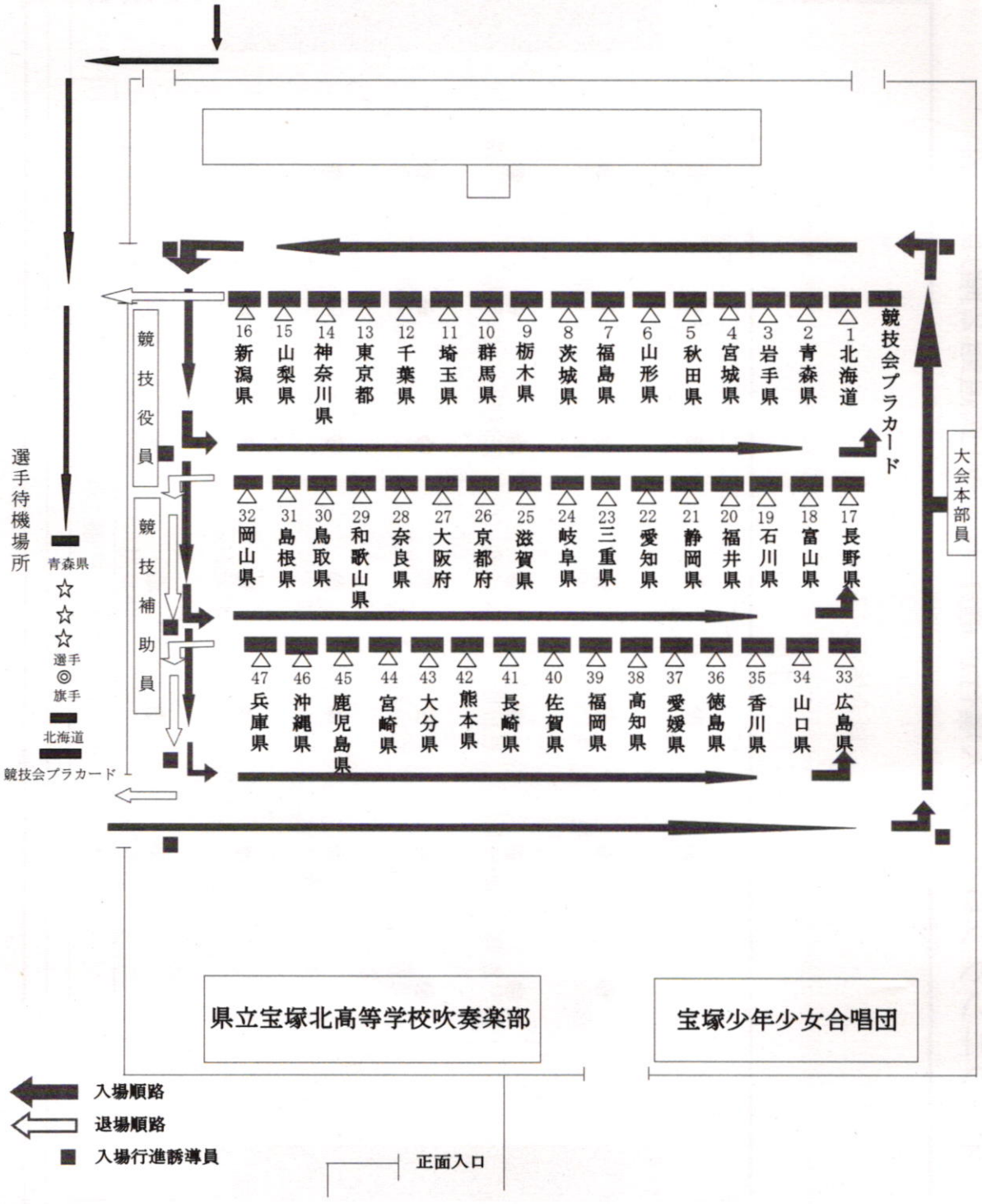
3　式 次 第

順序	次　　第	時 刻	登　　壇　　者	備　考
集合整列	監督・選手集合	13:40		
	役員整列	13:50		
	選手・役員等集合完了	13:55		
	開式予告	13:56		
1	開式通告	14:00		
2	選手団入場	14:01	競技会会長	
3	成績発表	14:05	総合成績計算委員長	
4	表彰	14:10		
5	競技会会長挨拶	14:30	競技会会長	
6	歓送の言葉	14:33	宝塚市実行委員会会長	
7	国旗儀礼	14:36		
8	大会旗・日本バドミントン協会旗・兵庫県旗・宝塚市旗儀礼	14:37		
9	競技会終了宣言	14:39	競技会委員長	
10	閉式通告	14:40		
11	選手団退場	14:41		
12	役員退場	14:42		

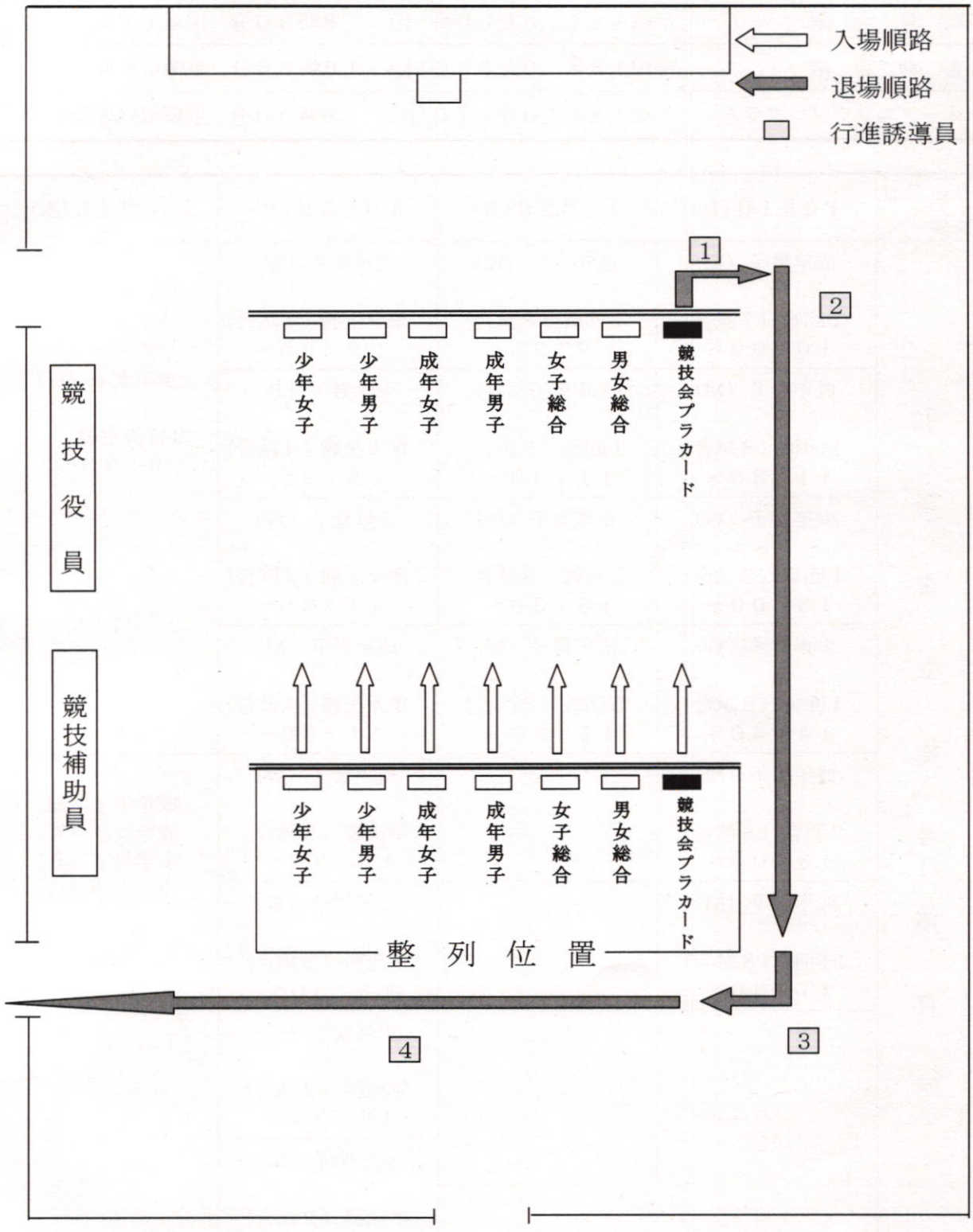
オープニングプログラム入場行進選手集合所（武道館２階）配置図



オープニングプログラム入退場行進順路図



表彰式入退場行進順路図



競　技　日　程

監　督　会　議	平成１８年　９月３０日(土)	８時３０分	宝塚ホテル
審　判　会　議	平成１８年　９月３０日(土)	１６時００分	宝塚ホテル
オープニングプログラム	平成１８年１０月　１日(日)	８時３０分	宝塚市立総合体育館

月日／会場	１０月１日(日)	１０月２日(月)	１０月３日(火)	１０月４日(水)
宝塚市立総合体育館	成年男子（M） １回戦（７試合） １０：００～	成年女子（W） １回戦（８試合） ９：３０～	成年女子（W） 準々決勝（４試合） ９：３０～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） ３位決定戦 ９：３０～
	成年男子（M） １回戦（８試合） １１：３０～	少年男子（B） １回戦（８試合） １１：３０～	少年男子（B） 準々決勝（４試合） ９：３０～	
	少年女子（G） １回戦（８試合） １３：００～	少年女子（G） ２回戦（８試合） １３：３０～	少年女子（G） 準々決勝（４試合） １１：３０～	
	少年女子（G） １回戦（８試合） １４：３０～	成年男子（M） ３回戦（８試合） １５：３０～	成年男子（M） 準々決勝（４試合） １１：３０～	
	成年男子（M） ２回戦（８試合） １６：００～		成年女子（W） 準決勝（２試合） １３：３０～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 決　勝　戦 １１：３０～
	成年男子（M） ２回戦（８試合） １７：３０～		少年男子（B） 準決勝（２試合） １３：３０～	
			少年女子（G） 準決勝（２試合） １５：３０～	
			成年男子（M） 準決勝（２試合） １５：３０～	

表　彰　式	平成１８年１０月　４日(水)	１４時００分	宝塚市立総合体育館

タイムテーブル

月　日	コート番号 / 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8
第1日目 10月1日 （日）	8：30	オープニングプログラム							
	10：00	M 1	M 2	M 3	M 4	M 5	M 6	M 7	
	11：30	M 8	M9	M10	M11	M12	M13	M14	M15
	13：00	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8
	14：30	G 9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16
	16：00	M16	M17	M18	M19	M20	M21	M22	M23
	17：30	M24	M25	M26	M27	M28	M29	M30	M31
第2日目 10月2日 （月）	9：30	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8
	11：30	B 1	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6	B 7	B 8
	13：30	G17	G18	G19	G20	G21	G22	G23	G24
	15：30	M32	M33	M34	M35	M36	M37	M38	M39
第3日目 10月3日 （火）	9：30	W 9	W10	W11	W12	B 9	B10	B11	B12
	11：30	G25	G26	G27	G28	M40	M41	M42	M43
	13：30	W13		W14		B13		B14	
	15：30		G29		G30		M44		M45
第4日目 10月4日 （水）	9：30	G31		B15		W15		M46	
	11：30		G32		B16		W16		M47
	14：00	表　彰　式							

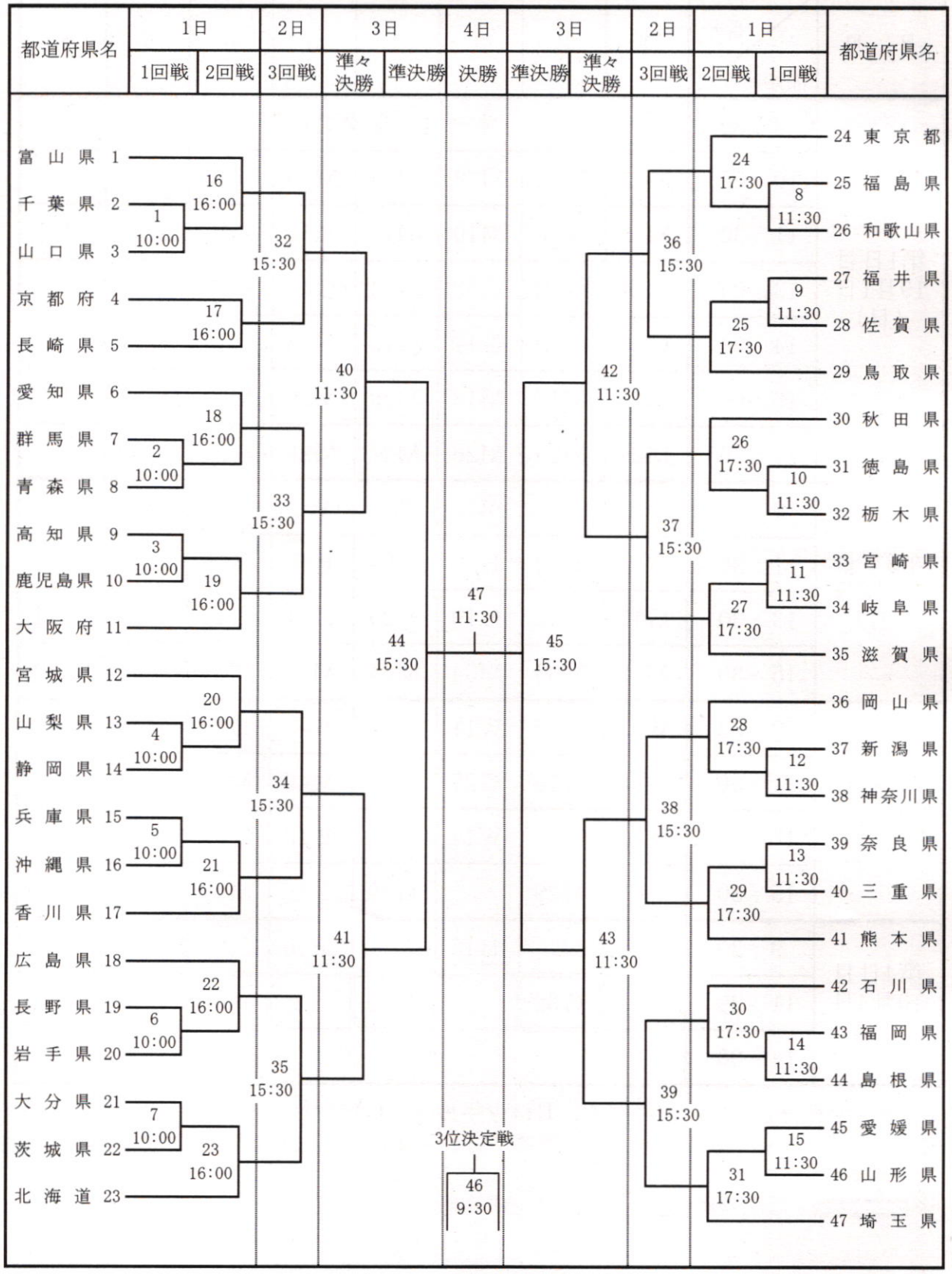
※ Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

※ 10月１日(日)の第１試合（成年男子・M１～M７）の公式練習は、若番より９時30分から10分間ずつ行う。

※ ▭ は決勝戦、＿＿ は３位決定戦

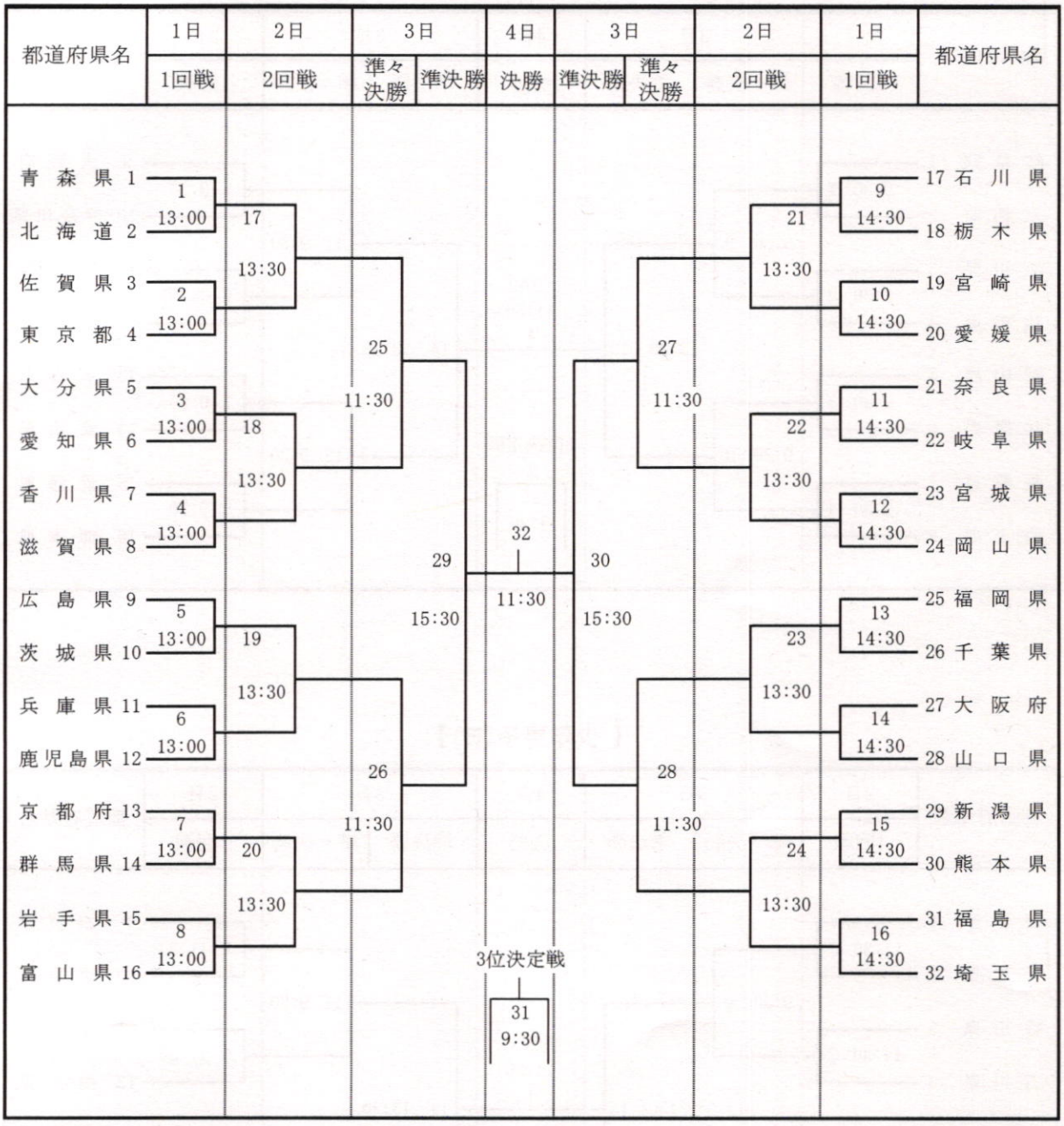
バドミントン競技組合せ表

【成年男子(M)】



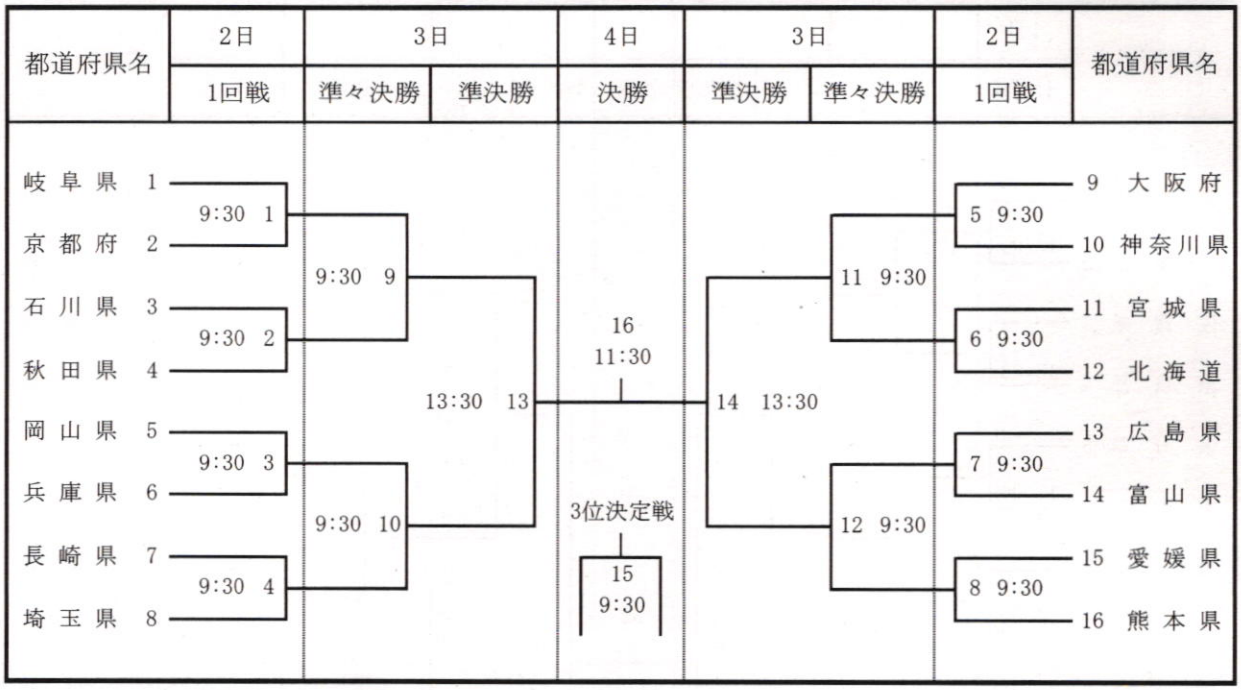
バドミントン競技組合せ表

【 少年女子(G)】

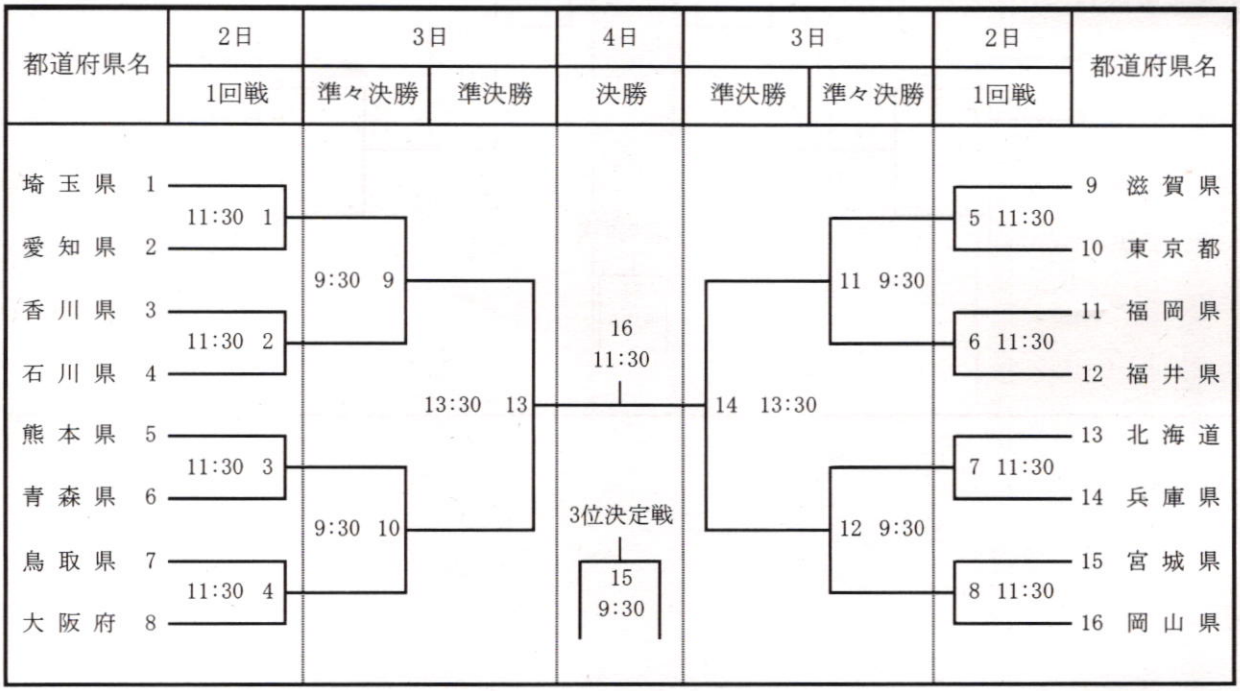


バドミントン競技組合せ表

【 成年女子(W)】



【 少年男子(B)】



平成18年10月１日付正式施行

新ルール『新スコアリングシステム』の概要

試合時間の短縮をめざし、国際バドミントン連盟（ＩＢＦ）が採用を決定した新ルールの概要を御紹介致します。

※主な内容は次の通りです。

1　スコアと方式
　○２１点×３ゲーム（２ゲーム先取）のラリーポイント（全種目）
　○２０対２０になったら先に、２点差の得点したサイドが勝ち（最長３０対２９で終了）
2　インターバル
　○一方が１１点を取ったときに１分（各ゲーム）
　○ゲーム間は２分
3　サービス
　○ラリーに勝った方が行う（単・複）
　（ダブルスのセカンドサービスはなし

※２１点×３ゲーム（ラリーポイント制）の試合形式概要

1　定義に関連したもの
(1)　ストローク：プレーヤーのラケットの前方への動き　が追加された
2　競技規則に関連したもの
(1)　21点を先取したサイドがそのゲームでの勝者となる。（第７条第２項）
　ただし、20オール、29オールの場合を除く。
(2)　ラリーに勝ったサイドが、１点ずつ得点する。（第７条第３項）
(3)　スコアが20点オールになった場合には、その後２点差の得点をしたサイドが、そのゲームでの勝者となる。（第７条第４項）→　そのとき、主審は、「20オール」とコールする。
(4)　スコアが29点オールになった場合には、30点を得点したサイドがそのゲームでの勝者となる。（第７条第５項）→　そのとき、主審は、「29ゲーム（マッチ）ポイントオール」とコールする。
(5)　エンドの交替（第８条第１項(3)）
　①　第２ゲームを終了したとき（第３ゲームを行う場合）：表現の変更
　②　第３ゲームで、どちらかのサイドが最初に11点に達したとき。
(6)　サービス（第９条第１項）
　①　サービスの「不当な遅延」の規程：サーバーのラケットヘッドの後方への動きが完了した時点がサービスの始まり（本条第２項参照）を不当に遅らせているかどうかの判断基準となる。→　この判定は、主審もサービスジャッジもできる。
　②　ウエストラインの規程：ウエストとは肋骨の一番下の部位の高さで胴体の回りの仮想の線。
　③　サーバーの持つラケットヘッドとラケットを持つ手との位置関係の記述と図が削除された：シャフトの向きのみ。
(7)　シングルスのスコアリングとサービング（第10条第３項）
　①　サーバーがラリーに勝ったとき、そのサーバーは１点を得る。（第10条第３項(1)）
　そして同じサーバーがもう一方のサービスコートから、再びサーブする。
　②　レシーバーがラリーに勝ったとき、そのレシーバーの方が１点を得る。そしてそのレシーバーが新サーバーとなる。（第10条第３項(2)）
(8)　ダブルスのスコアリングとサービング（第11条第３項）
　①　サービスは、それぞれのサイドで１回のみ、ラリーに負けるまで続ける。
　ダブルスでは、今までのようなセカンドサービスはなくなった。

② サービングサイドがラリーに勝ったとき、そのサイドは1点を得て、同一サーバーがサービスコートを替えてサービスを行う。(第11条第３項(1))

③ レシービングサイドがラリーに勝ったとき、そのサイドにサービス権が移動し、同時にそのサイドは１点を得て、新しいサービングサイドとなる。そして、次のサービスを行う。(第11条第３項(2))

そのとき、自得点が偶数なら右の、奇数なら左のサービスコートから、その該当するプレーヤーが、サービスを行う。(第11条第１項)

④ サービスの連続（順番）(第11条第４項)

ゲームの始まりのサーバー→最初のレシーバーのパートナー→最初のサーバーのパートナー→最初のレシーバーへ

(9) サービスコートの間違い（第12条第１項）：かなり省略された

① サービス又はレシーブの順番を間違えたとき

② 間違ったサービスコートからサーブしたりレシーブしたとき

③ もしサービスコートの間違いが見つかったときは、間違いは訂正し、スコアはそのままとする。(第12条第２項)

(10) インターバル（第16条第２項）：コーチ、アドバイス、コートから離れることができる。

① 各ゲーム中に、どちらかのサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバル

② 第１ゲームと第２ゲームの間と第２ゲームと第３ゲームの間に、120秒を超えないインターバル

(11) アドバイスとコートを離れること（第16条第５項）

① シャトルがインプレーでないときのみ、プレーヤーはマッチ（試合）中アドバイスを受けることができる。

② プレーヤーはインターバルを除き、マッチ（試合）が終了するまで、主審の許可なしにコートを離れてはならない。

(12) 違反に対する処置（第16条第７項）

① どちらか一つのサイドが不品行な振舞いをした場合の手続きは現行どおり。ただし、１度「フォルト」を受けた後、再び違反し、２度目の「フォルト」を受けた場合、不品行な振舞いを続けたとして、競技役員長（レフェリー）により、失格させられることがある。

(13) 主審によるオーバールールの適用（第17条第５項）

主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には線審の判定を変更する事が出来る。

3 公認審判員規程―審判員心得―に関連したもの

(1) 審判員と判定

① サービスジャッジと線審の変更

競技役員長（レフェリー）のみが判断して出来るようになった。

② 主審によるオーバールールと線審の変更

主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には、線審の判定を変更する事が

出来る。そして、もし線審の変更が必要な場合には競技役員長（レフェリー）を呼ぶ。(第２条第４項)

以上が新ルールの概要ですが、詳細については、９月10日に新競技規則書（赤本）が発行されましたのでご覧下さい。ただし、上記新ルールの正式施行日は10月１日です。

都道府県別参加人員一覧表

ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16
東北	青森	3	3		3	3	12
	岩手	2	3			3	8
	宮城	4	3	3	3	3	16
	秋田	2	3	3			8
	山形	1	3				4
	福島	2	3			3	8
関東	茨城	2	3			3	8
	栃木	2	3			3	8
	群馬	2	3			3	8
	埼玉	4	3	3	3	3	16
	千葉	2	3			3	8
	東京	3	3		3	3	12
	神奈川	2	3	3			8
	山梨	1	3				4
北信越	新潟	2	3			3	8
	長野	1	3				4
	富山	3	3	3		3	12
	石川	4	3	3	3	3	16
	福井	2	3		3		8
東海	静岡	1	3				4
	愛知	3	3		3	3	12
	三重	1	3				4
	岐阜	3	3	3		3	12
近畿	滋賀	3	3		3	3	12
	京都	3	3	3		3	12
	大阪	4	3	3	3	3	16
	兵庫	4	3	3	3	3	16
	奈良	2	3			3	8
	和歌山	1	3				4
中国	鳥取	2	3		3		8
	島根	1	3				4
	岡山	4	3	3	3	3	16
	広島	3	3	3		3	12
	山口	2	3			3	8
四国	香川	3	3		3	3	12
	徳島	1	3				4
	愛媛	3	3	3		3	12
	高知	1	3				4
九州	福岡	3	3		3	3	12
	佐賀	2	3			3	8
	長崎	2	3	3			8
	熊本	4	3	3	3	3	16
	大分	2	3			3	8
	宮崎	2	3			3	8
	鹿児島	2	3			3	8
	沖縄	1	3				4
総計		111	141	48	48	96	444

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　古川英樹	㈱ＮＴＴ東日本ー北海道	
	選手　竹村　純	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　三上裕司	ＮＴＴ北海道テレマート㈱	
	選手　米　隆夫	ＮＴＴ北海道電話帳㈱	
青森県	監督　由町弘樹	東奥学園高等学校	
	選手　中山大聡	中央大学	
	選手　福原公太	日本体育大学	
	選手　西村昭彦	中央大学	
岩手県	監督　石川　聡	ＪＲ東日本	
	選手　亀ヶ森　有	法政大学	
	選手　松浦　翔	早稲田大学	
	選手　村上竜也	中央大学	
宮城県	監督　草井　篤	ＮＴＴ東日本ー宮城	
	選手　諸多大輔	テルウェル東日本㈱東北支店	
	選手　大島一央	㈱ＮＴＴソルコ	
	選手　天野真一	㈱ＮＴＴソルコ	
秋田県	監督　鈴木理之	㈱北都銀行	
	選手　佐々木　翔	㈱北都銀行	
	選手　西浦和広	㈱北都銀行	
	選手　鈕　佳平	㈱北都銀行	
山形県	監督　青柳壮彦	㈲ラッケットショップ山形	
	選手　遠藤保樹	㈳鶴岡市シルバー人材センター	
	選手　今野隆史	鶴岡地区医師会	
	選手　奥山　昇	東海大学	
福島県	監督　渡部訓生	会津工業高等学校	
	選手　二瓶　良	帝京安積高等学校	
	選手　菅野俊助	早稲田大学	
	選手　田沼雄一	明治大学	
茨城県	監督　志子田勝敏	茨城県立石岡第一高等学校	
	選手　青山　真	青山学院大学	
	選手　黒田俊明	日本大学	
	選手　小松﨑佑也	法政大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
栃木県	監督　大島正志	県立宇都宮北高等学校	
	選手　増渕貴行	明治大学	
	選手　門谷晃貴	近畿大学	
	選手　福田春樹	中央大学	
群馬県	監督　金子隆男	前橋市立前橋高等学校	
	選手　権藤和彦	みやま養護学校	
	選手　金子翔悟	中島鍼灸接骨院	
	選手　金子陽次	淑徳大学	
埼玉県	監督　中條彪	日本ユニシス㈱	
	選手　仲尾修一	日本ユニシス㈱	
	選手　井上知也	中央大学	
	選手　山田和司	日本体育大学	
千葉県	監督　白鳥寿	京葉高等学校	
	選手　野村和弘	千葉県庁生活協同組合	
	選手　仲澤悟史	㈲ＷＥＭＢＬＥＹ	
	選手　平井孔明	千葉商科大学	
東京都	監督　柳谷辰哉	ＮＴＴ東日本	
	選手　松本徹	ＮＴＴ東日本	
	選手　新開裕介	ＮＴＴ東日本	
	選手　佐伯浩一	ＮＴＴ東日本	
神奈川県	監督　藤井圭	日立ハイブリッドネットワーク株式会社	
	選手　山下洋平	日立ハイブリッドネットワーク株式会社	
	選手　舘田真哉	日立ハイブリッドネットワーク株式会社	
	選手　銭谷公浩	日立ハイブリッドネットワーク株式会社	
山梨県	監督　児玉和也	山梨電子工業株式会社	
	選手　平田悠	代永部品	
	選手　樫山智士	山梨学院大学	
	選手　三森領太	龍谷大学	
新潟県	監督　大月実	日本パール容器	
	選手　松本武	新潟県体育協会	
	選手　堂下智寛	日本体育大学	
	選手　黒井一貴	関東学院大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
長野県	監督　阿部直樹	リード塾	
	選手　岩垂潤	朝日小学校	
	選手　瀧澤忍	ヨネックス㈱	
	選手　小町谷輝	中央大学	
富山県	監督　今泉勉	トナミ運輸株式会社	
	選手　舛田圭太	トナミ運輸株式会社	
	選手　大束忠司	トナミ運輸株式会社	
	選手　大束真也	トナミ運輸株式会社	
石川県	監督　長谷川進	㈲ハセガワスポーツ	
	選手　木下政彦	石川トヨペット㈱	
	選手　廣瀬雅士	石川トヨペット㈱	
	選手　村上亮	金沢学院大学	
福井県	監督　佐藤輝行	ミサワホーム福井	
	選手　広部好輝	日本ユニシス	
	選手　梅林慎太郎	近畿大学	
	選手　丸永幸則	日本体育大学	
静岡県	監督　吉野智昭	ジヤトコ株式会社	
	選手　佐野智久	キャノン株式会社	
	選手　山下幸司	ジヤトコ株式会社	
	選手　本田純	ジヤトコ株式会社	
愛知県	監督　吉田努	東海興業株式会社	
	選手　稲垣寿一	東海興業株式会社	
	選手　坂上裕哉	トヨタ自動車株式会社	
	選手　稲垣翔悟	名古屋経済大学市邨高等学校	
三重県	監督　橋爪淳	松阪木材㈱	
	選手　谷口斉	伊勢農業共同組合	
	選手　槙野貴行	飯南高校	
	選手　林純司	日本体育大学	
岐阜県	監督　戸﨑守雄	株式会社　丸杉	
	選手　則武達	大垣信用金庫	
	選手　平田大輔	高安　株式会社	
	選手　深田茂雄	株式会社　丸杉	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
滋賀県	監督　酒井良之	滋賀女子短期大学	
	選手　山口公洋	近畿大学	
	選手　数野健太	日本大学	
	選手　早川賢一	日本大学	
京都府	監督　平野耕司	ビーウエイ㈱	
	選手　橋本敏信	立命館大学	
	選手　大滝涼太	立命館大学	
	選手　安田敬之	立命館大学	
大阪府	監督　平井達也	西日本電信電話株式会社	
	選手　松井　充	西日本電信電話株式会社	
	選手　古川裕輔	啓光学園高等学校	
	選手　櫻井勝仁	ＮＰＯ法人大阪トリッキーパンダース	
兵庫県	監督　木田英明	大和製衡株式会社	
	選手　岡田　淳	有限会社ＲＳＬジャパン	
	選手　伊藤博哲	大和製衡株式会社	
	選手　川口佳介	神戸市立中央体育館	
奈良県	監督　村山友二	ＮＴＴマーケティングアクト関西	
	選手　伊藤雅俊	天理大学	
	選手　西山　智	同志社大学	
	選手　森田正秀	天理大学	
和歌山県	監督　武野宗睦	県立有田中央高校	
	選手　谷口宏紀	大阪体育大学	
	選手　寺西頼太	神奈川大学	
	選手　山中克真	和歌山大学	
鳥取県	監督　辻中孝彦	鳥取工業高等学校	
	選手　堂本克樹	鳥取三洋電機株式会社	
	選手　佐藤伴哉	鳥取県スポーツセンター	
	選手　清水隆志	鳥取東高等学校	
島根県	監督　稲垣慎二	ラケットショップ イナガキ	
	選手　川上大輔	まるなか建設株式会社	
	選手　黒川裕也	三菱自動車工業㈱パワートレイン京都	
	選手　今泉裕輔	国立大学法人島根大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
岡山県	監督　藤原道弘	ＪＦＥスチール㈱	
	選手　松川大記	水島工業高等学校	
	選手　田村潤	日本大学	
	選手　佐伯祐行	日本大学	
広島県	監督　尾崎清	㈶広島市産業振興センター	
	選手　時原修二	四国ガス㈱	
	選手　有田裕佑	日本大学	
	選手　酒井宏治	早稲田大学	
山口県	監督　棟居秀行	株式会社ムネスエスポーツ	
	選手　山縣圭太	宇部興産株式会社	
	選手　松尾光平	宇部興産株式会社	
	選手　山平直輝	法政大学	
香川県	監督　中村亨	㈱タダノ	
	選手　竹川慶二	㈱タダノ	
	選手　日下直人	早稲田大学	
	選手　森翔紀	近畿大学	
徳島県	監督　山田博文	阿南市役所	
	選手　眞鍋和也	徳島県漁連	
	選手　谷耕平	三菱自動車	
	選手　武田直也	京都産業大学	
愛媛県	監督　松野木聡	応用地質株式会社	
	選手　田坂厚司	ラケットショップハマナカ	
	選手　高橋徹	松山市役所	
	選手　髙岡聖	京都産業大学	
高知県	監督　小賀元裕	清和女子高校	
	選手　今橋篤彦	ウエンブレー	
	選手　吉本尚弘	農業	
	選手　松田壮平	京都産業大学	
福岡県	監督　有田仁志	北九州市役所	
	選手　山浦尚仁		
	選手　小澤薫	日本大学	
	選手　有田雄紀	九州国際大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
佐賀県	監督　田中昌樹	多久市立南部小学校	
	選手　山下大介	ＹＢＳ	
	選手　山下　豪	ジャトコ㈱	
	選手　山口博之	ＮＴＴ東日本	
長崎県	監督　渕上竹見	長崎市役所	
	選手　片岡直茂	市立東長崎中学校	
	選手　西山勝也	県立長崎東高等学校	
	選手　茂見祥平	町立鳴北中学校	
熊本県	監督　花田政文	ＹＫＫＡＰ九州事業所	
	選手　小林広季	ＹＫＫＡＰ九州事業所	
	選手　土田真義	ＹＫＫＡＰ九州事業所	
	選手　宮崎晃平	ＹＫＫＡＰ九州事業所	
大分県	監督　小俣　功	由布市役所	
	選手　宗野智志	日田市役所	
	選手　松田卓也		
	選手　立藤正晃	立命館大学	
宮崎県	監督　松岡弘高	宮崎県庁	
	選手　田中厚士郎	宮崎県警	
	選手　井手　大	天理大学	
	選手　鬼高紘一	九州国際大学	
鹿児島県	監督　古川博文	鹿児島商業高等学校	
	選手　高田英志	西部電機工業株式会社	
	選手　八重倉里史	崇城大学	
	選手　福森　裕	明治大学	
沖縄県	監督　大見謝恒章	㈲リレイション	
	選手　城野正和	恩納村役場	
	選手　源河　卓	佐川コンピュータシステム株式会社	
	選手　島袋　剛	沖縄国際大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　吉岡秀樹	㈱ＮＴＴ東日本ー北海道	
	選手　黒川真緒	ＮＴＴ北海道テレマート㈱	
	選手　後藤佳代	ＮＴＴ北海道テレマート㈱	
	選手　吉岡久美子	テルウエル東日本㈱北海道支店	
宮城県	監督　山並正人	ラケットショップ広瀬	
	選手　高橋美紀	㈱七十七銀行	
	選手　長縄美佳子	㈱七十七銀行	
	選手　徳永幸子	㈱七十七銀行	
秋田県	監督　鈴木康修	㈱北都銀行	
	選手　三好奈緒	㈱北都銀行	
	選手　金上路子	㈱北都銀行	
	選手　恵良友里亜	㈱北都銀行	
埼玉県	監督　小室恭子	尚美学園大学	
	選手　岩脇史	ＮＴＴ東日本	
	選手　大熊倫子	ヨネックス㈱	
	選手　広岡まり香	ＮＴＴ東日本	
神奈川県	監督　鶴見和彦	県立元石川高校	
	選手　藤原綾	東海大学	
	選手　伊東可奈	日本体育大学	
	選手　内藤真実	日本体育大学	
富山県	監督　荒木純	トナミ運輸株式会社	
	選手　舛田美保		
	選手　舛田恵	トナミ運輸株式会社	
	選手　大下詩織	富山トヨタ自動車㈱	
石川県	監督　羽田義仁	㈱北国銀行	
	選手　田井美幸	ＮＴＴ東日本	
	選手　青山早希	㈱北国銀行	
	選手　鍛治祐美子	㈱北国銀行	
岐阜県	監督　尾藤伸治	東海女子大学	
	選手　後藤愛	ＮＴＴ東日本	
	選手　脇田侑	筑波大学	
	選手　吉村征美	東海女子大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
京都府	監督　平井　悟	京あみ	
	選手　後藤　舞	立命館大学	
	選手　通次尚美	立命館大学	
	選手　今井杏莉	立命館大学	
大阪府	監督　谷内貴昭	三洋電機株式会社	
	選手　脇坂　郁	三洋電機株式会社	
	選手　多谷郁恵	三洋電機株式会社	
	選手　今別府香里	三洋電機株式会社	
兵庫県	監督　鈴木草麻生	三菱電機株式会社	
	選手　高野理沙	三菱電機株式会社	
	選手　中村紋子	三菱電機株式会社	
	選手　木村早紀	三菱電機株式会社	
岡山県	監督　佐藤忠裕	山陽女子中学・高等学校	
	選手　井山美里	岡山ガス㈱	
	選手　谷口貴美	岡山ガス㈱	
	選手　浅原さゆり	日本体育大学	
広島県	監督　宮崎克巳	広島ガス㈱	
	選手　日野由希江	広島ガス㈱	
	選手　寺本悦子	広島ガス㈱	
	選手　早川由希子	広島ガス㈱	
愛媛県	監督　武智英治	四国ガス株式会社	
	選手　大條亜津紗	立命館大学	
	選手　関谷真由	早稲田大学	
	選手　井上春奈	専修大学	
長崎県	監督　森辺ひかり	長崎自動車学校	
	選手　宮田美穂	バドミントンプロショップシャトルクラブ	
	選手　松尾美穂子	県立諫早高等学校	
	選手　本西千鶴	日本体育大学	
熊本県	監督　今井彰宏	ＮＥＣ九州	
	選手　幡谷好美	ＮＥＣ九州	
	選手　今井幸代	ＮＥＣ九州	
	選手　岡　ひとみ	ＮＥＣ九州	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　谷浦　隆	札幌静修高等学校	
	選手　宮下香織	札幌静修高等学校	
	選手　小久保陽香	札幌静修高等学校	
	選手　八木麻由加	とわの森三愛高等学校	
青森県	監督　藤田真人	青森山田高等学校	
	選手　藤井瑞希	青森山田高等学校	
	選手　佐々木理恵	青森山田高等学校	
	選手　垣岩令佳	青森山田高等学校	
岩手県	監督　渡辺清一	花北青雲高等学校	
	選手　阿部由香里	花北青雲高等学校	
	選手　石川温美	花北青雲高等学校	
	選手　内藤　舞	盛岡市立高等学校	
宮城県	監督　田所光男	聖ウルスラ英智高校	
	選手　伊藤小菜美	聖ウルスラ英智高校	
	選手　大阪あや	聖ウルスラ英智高校	
	選手　高橋礼華	聖ウルスラ英智高校	
福島県	監督　竹俣洋平	尚志高等学校	
	選手　山ノ内春奈	大沼高等学校	
	選手　野尻野匡世	尚志高等学校	
	選手　濱島未花	尚志高等学校	
茨城県	監督　磯部和弘	常総学院高等学校	
	選手　髙野祥代	常総学院高等学校	
	選手　菊山久美子	常総学院高等学校	
	選手　相澤理沙	常総学院高等学校	
栃木県	監督　遠藤敦史	作新学院高等学校	
	選手　石井那実	作新学院高等学校	
	選手　矢野智恵美	作新学院高等学校	
	選手　青柳芽衣	作新学院高等学校	
群馬県	監督　今井勇司	群馬県立伊勢崎清明高等学校	
	選手　石川育実	群馬県立伊勢崎清明高等学校	
	選手　中原唯衣	群馬県立伊勢崎清明高等学校	
	選手　宮　美紗貴	群馬県立伊勢崎清明高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
埼玉県	監督　田部井　秀郎	埼玉県立越谷南高等学校	
	選手　大森　舞	埼玉県立越谷南高等学校	
	選手　三木　佑里子	埼玉県立越谷南高等学校	
	選手　中森　理紗	埼玉栄高等学校	
千葉県	監督　高瀬　秀雄	西武台千葉高等学校	
	選手　鈴木　美希子	西武台千葉高等学校	
	選手　大日方　美弥子	西武台千葉高等学校	
	選手　飯泉　綾乃	西武台千葉高等学校	
東京都	監督　落合　久夫	日本橋女学館高等学校	
	選手　佐藤　亜沙	日本橋女学館高等学校	
	選手　阿蘇　愛美	日本橋女学館高等学校	
	選手　土田　茉美	関東第一高等学校	
新潟県	監督　吉田　亜土夢	新潟青陵高等学校	
	選手　池　若葉	佐渡総合高等学校	
	選手　太田　真由美	新発田商業高等学校	
	選手　音田　亜子	新発田商業高等学校	
富山県	監督　麦谷　正二	高岡西高等学校	
	選手　幡谷　若奈	高岡西高等学校	
	選手　片山　佳奈	高岡西高等学校	
	選手　奥井　智菜美	高岡西高等学校	
石川県	監督　車　浩明	金沢向陽高校	
	選手　樽野　恵	金沢向陽高校	
	選手　木村　唯菜	金沢向陽高校	
	選手　南出　さき	金沢向陽高校	
愛知県	監督　下込　貞司	岡崎城西高等学校	
	選手　阪本　優子	愛知淑徳高等学校	
	選手　打田　しずか	岡崎城西高等学校	
	選手　樋渡　仁見	名古屋経済大学市邨高等学校	
岐阜県	監督　多田隈　尚	西濃信用金庫	
	選手　奥　幸那	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　永田　知里	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　松岡　智美	岐阜県立岐阜商業高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
滋賀県	監督　濱　久美雄	滋賀女子高等学校	
	選手　土井杏奈	滋賀女子高等学校	
	選手　仲川志都香	滋賀女子高等学校	
	選手　野田郁恵	滋賀女子高等学校	
京都府	監督　山本裕幸	京都府立西乙訓高校	
	選手　北吉穂香	京都府立西乙訓高校	
	選手　岡本優里	京都府立西乙訓高校	
	選手　井上静華	京都西山高校	
大阪府	監督　西上正一	南田辺小学校	
	選手　藤村裕理	樟蔭東高等学校	
	選手　池原朋恵	樟蔭東高等学校	
	選手　東野良美	四天王寺高等学校	
兵庫県	監督　林　忠彦	日ノ本学園高等学校	
	選手　野村このみ	日ノ本学園高等学校	
	選手　水池綾加	日ノ本学園高等学校	
	選手　山本しずか	県立加古川東高等学校	
奈良県	監督　辻田泰昌	ＮＴＴファシリティーズ	
	選手　浦窪真代	添上高校	
	選手　寺本夕希子	高田商業高校	
	選手　西川真奈美	添上高校	
岡山県	監督　尾崎勝久	倉敷中央高等学校	
	選手　川田茉依	倉敷中央高等学校	
	選手　岡本真菜美	倉敷中央高等学校	
	選手　実光鮎佳	倉敷中央高等学校	
広島県	監督　高井英行	清水ヶ丘高等学校	
	選手　江角香菜子	鈴峯女子高等学校	
	選手　柳亭郁実	清水ヶ丘高等学校	
	選手　三上千明	清水ヶ丘高等学校	
山口県	監督　河本　泰	山口県立熊毛北高等学校	
	選手　藤井綾香	山口県立熊毛北高等学校	
	選手　逸見雪乗	山口県立熊毛北高等学校	
	選手　花本陽菜	山口県立熊毛北高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
香川県	監督　岡野佳浩	香川中央高等学校	
	選手　岸本可奈	香川中央高等学校	
	選手　平野加奈子	高松高等学校	
	選手　岩崎千愛	高松商業高等学校	
愛媛県	監督　出井康隆	新田高等学校	
	選手　岡田友梨	新田高等学校	
	選手　安藤真里絵	西条農業高等学校	
	選手　浦田典子	新田高等学校	
福岡県	監督　明神憲一	私立九州国際大学付属高等学校	
	選手　仲間光	私立九州国際大学付属高等学校	
	選手　栗原文音	私立九州国際大学付属高等学校	
	選手　伊藤麻亜美	私立九州国際大学付属高等学校	
佐賀県	監督　築地孝彦	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
	選手　深村扶美子	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
	選手　石橋幸枝	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
	選手　吉田琴美	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
熊本県	監督　伊東幸男	熊本信愛女学院高校	
	選手　田崎亜由美	熊本信愛女学院高校	
	選手　生田みちな	熊本信愛女学院高校	
	選手　山口美穂	八代白百合学園高校	
大分県	監督　衛藤智也	別府鶴見丘高等学校	
	選手　田村千秋	昭和学園高等学校	
	選手　宮内唯	別府鶴見丘高等学校	
	選手　加藤祥子	別府鶴見丘高等学校	
宮崎県	監督　山内勉	西都商業高校	
	選手　菊池唯	宮崎工業高校	
	選手　梶田明里	宮崎工業高校	
	選手　日高あずさ	宮崎商業高校	
鹿児島県	監督　内木場裕	財団法人かごしま産業支援センター	
	選手　川原裕美子	甲南高等学校	
	選手　米森友美	甲南高等学校	
	選手　岩永舞子	鹿児島女子高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　井口一司	札幌第一高等学校	
	選手　成田大輔	札幌第一高等学校	
	選手　田内秀幸	札幌第一高等学校	
	選手　鈴木陵麻	札幌第一高等学校	
青森県	監督　戸祭潤	青森山田高等学校	
	選手　山崎高広	青森山田高等学校	
	選手　佐々木翔太	青森山田高等学校	
	選手　工藤敏裕	東奥学園高等学校	
宮城県	監督　若生正弘	仙台商業高校	
	選手　齋藤真之介	仙台商業高校	
	選手　相原賢志朗	仙台商業高校	
	選手　佐藤尚己	仙台商業高校	
埼玉県	監督　大屋貴司	埼玉栄高等学校	
	選手　上田拓馬	埼玉栄高等学校	
	選手　田児賢一	埼玉栄高等学校	
	選手　松丸一輝	埼玉栄高等学校	
東京都	監督　渋谷実	関東第一高等学校	
	選手　武下利一	関東第一高等学校	
	選手　木戸道治	関東第一高等学校	
	選手　垰畑亮太	関東第一高等学校	
石川県	監督　水内浩	金沢市立工業高校	
	選手　坂井一将	金沢市立工業高校	
	選手　新田晃浩	金沢市立工業高校	
	選手　石立健志郎	石川県立工業高校	
福井県	監督　木戸口元	福井県立勝山高等学校	
	選手　松川直弘	福井県立勝山高等学校	
	選手　笹木里司	福井県立勝山高等学校	
	選手　川村勝平	福井県立勝山高等学校	
愛知県	監督　田中隆一	名古屋経済大学市邨高等学校	
	選手　今村昌平	岡崎城西高校	
	選手　駒田直也	名古屋経済大学市邨高等学校	
	選手　深尾淳	名古屋経済大学市邨高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
滋賀県	監督　藤上良信	比叡山高等学校	
	選手　西澤潤	比叡山高等学校	
	選手　川下剛士	比叡山高等学校	
	選手　逢澤宏亮	比叡山高等学校	
大阪府	監督　有田圭一	柏原高等学校	
	選手　銭谷翔	柏原高等学校	
	選手　川上直人	柏原高等学校	
	選手　井谷和弥	柏原高等学校	
兵庫県	監督　友金幸雄	神戸村野工業高等学校	
	選手　森本貴之	神戸村野工業高等学校	
	選手　植田敏考	神戸村野工業高等学校	
	選手　河田尚也	神戸村野工業高等学校	
鳥取県	監督　宮本義夫	明和印刷	
	選手　湯谷亮介	鳥取県立鳥取工業高等学校	
	選手　山本達矢	鳥取県立鳥取工業高等学校	
	選手　絹川亮	鳥取県立鳥取工業高等学校	
岡山県	監督　関啓之	倉敷翠松高等学校	
	選手　中野良祐	水島工業高等学校	
	選手　渡辺一磨	水島工業高等学校	
	選手　川上佑輔	水島工業高等学校	
香川県	監督　吉川大助	英明高等学校	
	選手　山下貴士	香川中央高等学校	
	選手　三好耕二	英明高等学校	
	選手　木場勇介	英明高等学校	
福岡県	監督　成富勝彦	私立自由ヶ丘高等学校	
	選手　具志堅興平	私立自由ヶ丘高等学校	
	選手　西村厚輝	私立自由ヶ丘高等学校	
	選手　日高篤俊	県立福岡高等学校	
熊本県	監督　権藤浩二	県立八代東高校	
	選手　武山修三	県立八代東高校	
	選手　嘉村健士	県立八代東高校	
	選手　園田啓悟	県立八代東高校	

競技成績採点方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

１　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位24点、２位21点、３位18点、４位15点、５位（４チーム）各7.5点、の競技得点を与える。

２　参加得点

大会（ブロック大会も含む。）に参加した都道府県に10点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后）一覧表

	都道府県名	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男子総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）				備考
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位	
1	北海道																	
2	青森																	
3	岩手																	
4	宮城																	
5	秋田																	
6	山形																	
7	福島																	
8	茨城																	
9	栃木																	
10	群馬																	
11	埼玉																	
12	千葉																	
13	東京																	
14	神奈川																	
15	山梨																	
16	新潟																	
17	長野																	
18	富山																	
19	石川																	
20	福井																	
21	静岡																	
22	愛知																	
23	三重																	
24	岐阜																	
25	滋賀																	
26	京都																	
27	大阪																	
28	兵庫																	
29	奈良																	
30	和歌山																	
31	鳥取																	
32	島根																	
33	岡山																	
34	広島																	
35	山口																	
36	香川																	
37	徳島																	
38	愛媛																	
39	高知																	
40	福岡																	
41	佐賀																	
42	長崎																	
43	熊本																	
44	大分																	
45	宮崎																	
46	鹿児島																	
47	沖縄																	

過去の成績一覧表

第４回　昭和24年　東京都ＹＭＣＡ（個人戦オープン）

種別＼順位	1　位	2　位	3　位
一般男子 単	東京 広田敏秀	北海道 佐藤保	東京 藤井光男
一般男子 複	東京 広田敏秀 藤井光男	神奈川 岡淳一 相馬万吉	北海道 佐藤保 村上三郎
一般女子 単	神奈川 吉田とよ子	愛知 吉沢千里	神奈川 遠藤文子
一般女子 複	神奈川 吉田とよ子 遠藤文子	神奈川 小林歌子 中村たき	愛知 吉沢千里 後藤範子

第５回　昭和25年　愛知県　白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1　位	2　位	3　位
一般男子	東京 広田敏秀 藤井光男 小宮淳宏 山田康久	神奈川 岡淳一 相馬万吉 小谷直次 松本武道	北海道 佐藤保 村上三郎 葛西英俊 若林守
一般女子	神奈川 吉田とよ子 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子	愛知 水谷鈴子 堀江綾子 保田久子 伊与田照子	北海道 伊藤絹代 安藤栄 佐賀信子 片岡京子
高校男子	北海道 石田裕 神山周二 大塚健一 島中貞夫	愛知 石川光男 渡辺成雄 大竹健司 野口勇	神奈川 岡道明 村松弘喬 江井実 藤井昴一

第６回　昭和26年　広島県　広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1　位	2　位	3　位
一般男子	東京 広田敏秀 岡道明 山田康久	岐阜 玉越忠治 大竹健司 大野和彦	愛知 藤井光男 渡辺成雄 蟹和男
一般女子	愛知 堀江綾子 保田久子 伊与田照子	石川 登悦子 貝原まさえ 高田八重子	北海道 伊藤絹代 片岡京子 栗原澄子
高校男子	愛知 服部興治 野口勇 立松健一	石川 東正直 西貞夫 諸江秀一	岐阜 後藤裕八郎 林金太郎 田中正則

第７回　昭和27年　宮城県　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 広田敏秀 岡道昴明一 藤井原秀雄	北海道 石田裕二 神山周英俊 葛西英豊三郎 野坂	東京 江井実 小宮章敏茂 山崎 佐藤芳朗
一般女子	石川 貝原まさえ子 登悦子 高田八重子 米倉衣絵	東京 田中知江子 中谷成子 生瀬京子 小野寺京子	愛知 堀江綾子 保田久子 伊与田照子 水野美根子
高校男子	東京 望月文雄 倉田一彦潔 力石治 鈴木隆	神奈川 新倉和男 関根英司明 内藤弾則 伏島光	石川 諸江秀一 井上本晴圭三 山田稔 上
高校女子	兵庫 広瀬延子 西尾貞子 小笠原美津子 関一	山形 佐藤照子 五十嵐弘子 斉藤久美子 佐藤明	神奈川 大川良子 竜野美代子 藤田光子 中島緑

第８回　昭和28年　香川県　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 広田敏秀 佐治豊 川崎順久 杉田博	東京 藤井光男 諸江秀一 相川十一郎 萩原誠	岐阜 大竹健司 松岡竜三 丹波哲昭 林金太郎
一般女子	神奈川 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子 小野智子	北海道 岡元弘子 梅津貴久江 阿部悦子 荒井重子	石川 貝原まさえ 登悦子 島谷須磨子 町駒ヤス子
高校男子	北海道 片石兼敏則 加藤正竜男 長谷川桁啓充 井	石川 江尻桂三而 辻直幸男 半田外健一 岡崎	神奈川 越川啓 花岡牧夫 折井利彦 内藤弘明
高校女子	宮城 西堀富美子 谷津京子 佐藤範子 松本幸子	香川 大西誉子 秋山武子 真鍋久子	神奈川 大川良子 藤田光子 竜野美代子 波多野澄子

第９回　昭和29年　北海道　札幌市（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	岐阜 玉越忠治 大竹健司 松岡竜三	愛知 野口勇 服部興治 稲熊貞夫	富山 清水正 釣谷友一 荒木亥久男
一般女子	宮城 西堀富美子 佐藤範子 谷津京子	石川 登悦子 貝原まさえ 渋谷信	愛知 保田久子 伊与田照子 堀江綾子
高校男子	愛知 豊場健 御友広正 伊藤雅昭	石川 西村嘉信 江尻桂三 島谷昇	神奈川 富沢健一 伊豆内宏 渡辺潔
高校女子	福島 武田信子 伊藤桂子 尾形亨子	岡山 大森嘉美 友野文子 三宅基子	愛知 大沢節子 大室久美子 大竹泰子

第10回　昭和30年　神奈川県　神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜 大竹健司 松岡竜三 酒井弘	富山 釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島 武田信子 伊藤桂子	神奈川 荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道 梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京 永井栄一 北島克英 小野岡順一	石川 北方匡 関功 米谷外喜彦	山形 生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山 友野文子 権田節子 三宅基子	宮城 佐々木功子 三津節 菅井静子	香川 永田豊子 藤田紙代 藤村怜子

第11回　昭和31年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ・生田中学校（総合優勝　岡山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 杉田博 佐藤芳明 佐藤昌久	大阪 上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山 毛利清志 前田俊一 石原利道
一般女子	宮城 西堀富美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山 友野文子 権田節子 光本政子	兵庫 西尾貞子 加藤洋子 金森奎子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 斉藤裕之	北海道 四ツ柳邦夫 小田桐正徳 岩本龍一	山形 板垣隆房 山岸重考 鑓水勝志
高校女子	香川 横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山 小林佳子 戸田寿子 根岸純	宮城 三浦節 沼倉英子 三浦与志子

第12回　昭和32年　静岡県　富士市体育館・富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京 望月文雄 力石潔 鈴木俊三	北海道 島中貞夫 星野嘉雄 神山周爾
一般女子	香川 横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山 権田節子 光本政子 小林桂子	神奈川 大川良子 小林歌子 石川英子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川 酒井明夫 村田和男 堀知章	島根 平野隆 森脇英祐 富田豊
高校女子	香川 田島外茂子 山下久子 宮下ツヤ子	静岡 掛橋良子 西村弘子 佐野禎子	石川 有田順子 長田悠喜子 松田富美子

第13回　昭和33年　富山県　高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京 片石兼敏 東京 越川啓 東京 花岡牧夫	神奈川 杉田博 神奈川 佐藤芳朗 神奈川 佐藤昌久	大阪 高谷芳弘 大阪 上田益弘 大阪 松王清志
一般女子	香川 横井キヌエ 香川 山下久子 香川 田島外茂子	神奈川 小林歌子 神奈川 大川良子 神奈川 二見文子	岡山 権田節子 岡山 光本政子 岡山 小林桂子
高校男子	山形 金森義弘 山形 板垣善憲 山形 小林賢	東京 鈴木幸春 東京 宮永武司 東京 貝戸肇	奈良 森晃一 奈良 榎高嗣 奈良 中川安正
高校女子	香川 藤本文子 香川 有木とみ子 香川 福本和子	富山 高島洋子 富山 中島玲子 富山 栂野尾桂子	石川 山崎紀久子 石川 川節子 石川 竹多光子

第14回　昭和34年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 佐藤芳朗 神奈川 佐藤昌久 神奈川 関口潔	石川 新田正治 石川 酒井治夫 石川 村田和男	大阪 松王清志 大阪 小松康博 大阪 小松貢
一般女子	神奈川 大川良子 神奈川 二見文子 神奈川 椎野みや子	香川 横井キヌエ 香川 山下久子 香川 宮川ツヤ子	富山 大坪あい子 富山 高島洋子 富山 中島玲子
教員男子	神奈川 杉田博 神奈川 山本剛 神奈川 石原義治	大阪 佐藤茂雄 大阪 宝来敏夫 大阪 北野敬四郎	東京 平田登志郎 東京 市川和司 東京 柳田直規
高校男子	宮城 渡部紘一 宮城 堀江保雄 宮城 甲斐昭宏	北海道 竜瀬康彦 北海道 竹中将光 北海道 梅木聡	神奈川 山本洋彦 神奈川 岡崎恵三 神奈川 小坂拓充
高校女子	香川 蔵本文子 香川 有木とみ子 香川 福本和子	静岡 伊沢利子 静岡 志村セツ子 静岡 石原待子	富山 栂野尾桂子 富山 橘美智子 富山 酒井美智子

第15回　昭和35年　熊本県　菊池市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京 永井栄一 東京 北島克英 東京 貝戸肇	神奈川 佐藤芳朗 神奈川 遠藤啓治 神奈川 砥石勤	富山 荒木亥久男 富山 扇沢三徳 富山 大野幸雄
一般女子	富山 高島洋子 富山 中島玲子 富山 栂野尾桂子	秋田 脇坂チエ 秋田 木村政子 秋田 横山満子	静岡 野村志津江 静岡 伊沢利子 静岡 志村セツ子
教員男子	石川 北方匡 石川 河原山晴夫 石川 茂藤寛	神奈川 杉田博 神奈川 山本剛 神奈川 石原義治	秋田 宮越竜三 秋田 脇坂安隆 秋田 鈴木裕司
高校男子	神奈川 岡崎恵三 神奈川 小坂拓充 神奈川 長谷川敏彦	山形 佐藤勝彦 山形 出沢勇男 山形 高橋清一	新潟 阿部孚 新潟 笠原淳 新潟 伊藤洋祐
高校女子	富山 橘美智子 富山 酒井美智子 富山 平田敦子	香川 横井文子 香川 林信子 香川 森久子	秋田 高橋奉子 秋田 石沢七子 秋田 長崎文子

第16回　昭和36年　秋田県　象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京 片石兼敏 永井栄一 星野忠男	神奈川 佐藤芳朗 岡崎恵三 遠藤啓治	山形 板垣隆房 出沢勇男 北村任
一般女子	富山 栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子	秋田 木村政子 横山満子 高橋奉子	香川 宮川ツヤ子 福井知子 横井文子
教員男子	石川 北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川 杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	秋田 脇坂安隆 鈴木裕司 高橋弘喜
高校男子	新潟 大竹紘一 安沢武司 星野義昭	北海道 中村富光 松浦潔 松本直治	山梨 平田勲 秋山真男 早川博
高校女子	山形 佐藤弘子 小笠原詔子 矢口淳子	静岡 高木紀子 天野博江 影山昭子	秋田 伊藤美津子 横山綾子 大門モモ子

第17回　昭和37年　岡山県　県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京 星野忠男 富田豊 井門鎮雄	神奈川 遠藤啓治 鈴木敏勝 岡崎恵三	愛知 北島克英 小宮好雄 長谷川陽一
一般女子	香川 福井知子 横井文子 森久子	富山 橘美智子 酒井美智子 栂野尾桂子	秋田 木村政子 横山満子 高橋奉子
教員男子	石川 北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川 杉田博 秋山捷彦 岡田敬三郎	秋田 脇坂安隆 鈴木裕司 真崎俊光
高校男子	新潟 本田務 荒川治男 阿野善紀	東京 西野一征 須田孝夫 関一誠	青森 奥谷国昭 長谷川勇 三上義明
高校女子	富山 橘妙子 室崎光子 河村和子	秋田 大塚トシ 大門サヨ子 間瀬幸子	岡山 高塚淳子 重放百枝 七村泰子

第18回　昭和38年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 稲熊文隆	東京 井門鎮雄 宮永武司 堺栄一	島根 星野忠男 富田豊 長谷川春茂
一般女子	秋田 横山満子 高橋奉子 長崎文子	香川 田島外茂子 横井文子 森久子	富山 栂野尾桂子 酒井美智子 室崎光子
教員男子	石川 北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川 杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	大阪 大世古吉弘 北野敬四郎 片岡輝明
高校男子	新潟 星野義夫 裏田光男 樋口一春	東京 関一誠 中村安 古屋和正	北海道 福島智徳 林守 久保田和男
高校女子	栃木 前沢和子 松本昭子 小出千代子	新潟 後藤和子 茂沢純子 竹内泰子	北海道 高森幸子 高田裕子 村田泰子

第19回　昭和39年　新潟県　県立三条高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京 永井栄一 宮永武司 堺栄一	石川 新田正治 村田和男 沢田力
一般女子	香川 横井文子 田島外茂子 森久子	秋田 横山満子 高橋奉子 長崎文子	岐阜 高木紀子 天野博江 岩后蛍子
教員男子	新潟 渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川 北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川 杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟 鈴木正造 神田和夫 片山毅	奈良 森芳夫 橋本修 真壁年一	富山 立野正昭 盛野博之 高林弘則
高校女子	栃木 植木タカ子 大島コヨ 武田初枝	新潟 竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田 佐々木フミ 中川美枝子 加賀谷ユミ子

第20回　昭和40年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京 堺栄一 宮永武司 田上十六	香川 東条義昭 山口立朗 牟田顕
一般女子	岐阜 高木紀子 天野博江 高田泰子	香川 横井文子 森久子 加藤和子	新潟 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川 河原山晴夫 北方匡 村西一	北海道 杉田茂良 笹森剛 中島弘志	岡山 毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山 栂野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜 堀幸矩 杉山修 尾関美智則	奈良 真壁年才 河村憲一 滝野公一
高校女子	大阪 近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜 高橋葉子 稲葉良子 川本美代子	栃木 上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第21回　昭和41年　大分県　日田林工高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 安沢武司	山梨 岡崎恵三 秋山真男 三上勇	大分 宮永武司 田中大也 春武俊一
一般女子	岐阜 高木紀子 天野博江 高田康子	新潟 後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田 横山満子 高橋奉子 加賀谷ユミ子
教員男子	北海道 杉田茂良 安達惟彦 上山功夫	石川 河原山晴夫 北方匡 原栄一	岡山 三宅勝 毛利清志 柳本堯敏
高校男子	新潟 本間順次 高橋宣 奥田良作	宮城 我妻一郎 市川清 寒河江一利	香川 西辻和一 西崎健弘 小田忠庸
高校女子	山形 小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟 本間恵美子 日下悦子 高坂薫	岡山 湯木博恵 浦口恵子 佐藤民子

第22回　昭和42年　埼玉県　越ヶ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	愛知 板垣善憲 安沢武司 小林一宏	神奈川 小島一平 山本洋彦 遠藤啓治	東京 堺栄一 田上十六 本橋平八
一般女子	香川 有木とみ子 横井文子 山本真江	新潟 五十嵐明美 後藤和子 加藤操	岐阜 高木紀子 天野博江 虫賀雅子
教員男子	富山 清水芳隆 正木史郎 松山信之	北海道 杉田茂良 安達惟彦 上山功夫	宮城 加茂和夫 渡部紘一 菊地功
高校男子	富山 米田実 松島保 谷口寛	奈良 滝野公一 小林正昭 葛輪博一	宮城 門間幹夫 山田哲夫 木戸純一
高校女子	新潟 相沢マチ子 金子美知子 高坂薫	香川 小片千恵子 竹森経子 山下清美	栃木 田中美津枝 枝加代子 印波和子

第23回　昭和43年　福井県　県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	山梨 岡崎恵三 秋山真男 田中登	神奈川 小島一平 吉良悠一 渡辺直人	東京 堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜 高木紀子 天野博江 安藤久美子	東京 高橋とも子 水野小夜子 田仲美津江	新潟 五十嵐明美 後藤和子 小林邦子
教員男子	熊本 南直治 工藤勇参 芦原健身	石川 北方匡 村西一 原栄一	岡山 毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山 二上敏博 草島正治 布目茂	山形 遠藤好男 田所光男 伊藤政臣	岐阜 岩田昇 後藤路宏 足立守男
高校女子	大阪 平山泰子 柴山きよ子 高橋弘子	香川 宮武泰子 福本幸子 赤沢ひろ子	新潟 堀川栄美子 竹仲悦子 大竹由里子

第24回　昭和44年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	山梨 窪田恵三 秋山真男 野田秀応	神奈川 小島一平 渡辺直人 坂本聖二	東京 堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜 高木紀子 天野博江 高橋千代美	東京 高橋とも子 田仲美津江 水野小夜子	京都 永井かおり 山下三枝子 岡崎繁子
教員男子	熊本 西田寿明 工藤勇参 芦原健身	岡山 毛利清志 三宅勝 柳本堯敏	石川 北方匡 原栄一 村西一
高校男子	新潟 本間亨 小泉司 九原正敏	群馬 内田通夫 桐生台次郎 渡辺稔	奈良 菅原弘貴 岡田昇久 山本繁幸
高校女子	大阪 柴山きよ子 高橋弘子 大場照美	岐阜 及川恵子 脇田和子 紅谷島子	栃木 望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子

第25回　昭和45年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	山梨 窪田恵三 秋山真男 野田秀応	東京 池田信孝 栂野尾昌一 鈴木健二	神奈川 小島一平 渡辺直人 坂本聖二
一般女子	新潟 竹中悦子 相沢マチ子 後藤和子	岐阜 高木紀子 天野博江 桑原富士子	栃木 松本昭子 石崎喜代子 望月しずか
教員男子	岩手 佐々木彦士 佐々木邦夫 永沢和彦	石川 北方匡 原栄一 松本忠之	熊本 西田寿明 工藤勇参 芦原健身
高校男子	奈良 巽康司 竹内真 西川繁美	石川 銭谷欽治 竹村勇治 青山信吾	岩手 高橋信夫 佐藤荘 佐藤吉雄
高校女子	大阪 西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	栃木 小林敏枝 藤井幸子 池田静江	香川 川東秀美 森清美 田所静子

第26回　昭和46年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨 窪田恵三 秋山真男 岩下一雄	岐阜 森芳夫 河田満 安藤義治
一般女子	新潟 鈴木明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川 杉田良子 味藁とも子 秋山陽子	北海道 田村静子 高野美千子 今川喜佐子
教員男子	滋賀 久保田良昌 藤原健二 藤上良信	和歌山 森隆 中西詳味 佐藤光伸	熊本 本郷節生 南直治 工藤勇参
高校男子	新潟 土田証雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山 山本茂樹 倉内徹 岡忠成	奈良 西川繁美 佐野弘 中井基夫
高校女子	大阪 西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島 千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山 林寿美子 平田喜久江 三宅一美

第27回　昭和47年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 小島一平 渡辺直人 宮川秀樹	東京 鈴木健二 池田信孝 栂野尾昌一	山梨 窪田恵三 秋山真男 岩下一雄
一般女子	東京 湯木博恵 竹中悦子 石崎茂子	愛知 橋本香代 池田静江 富居康子	香川 小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山 森隆 中西詳味 門間幹夫	栃木 別井晃 斉藤桔 森田昇	石川 北方匡 原栄一 長谷川進
高校男子	奈良 中井基夫 南田義正 辻敏弘	石川 原敏夫 山下敏行 谷島助男	岐阜 古西悟 角田勝 後藤純一
高校女子	大阪 秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形 矢口洋子 本間浩子 今田真知子	千葉 山田尚子 平野美千代 瀬野清美

第28回　昭和48年　若潮国体　千葉県　県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川　小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京　関一誠 栂野尾昌一 池田信孝	愛知　本間順次 松島保 谷口寛
一般女子	東京　湯木博恵 相沢マチ子 竹中悦子	香川　森清美 川東秀美 長尾弥生	岐阜　天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	滋賀　藤上良英 藤上良信 藤原健二	石川　原栄一 長谷川進 和田修	山形　永井司 高山昌三 斉藤和夫
高校男子	富山　西村正美 梶川博之 上治雄	福島　寺田繁 矢部芳光 五十嵐弘之	奈良　池田文昭 松重恵三 坪内利夫
高校女子	大阪　高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	千葉　山田尚子 平野美千代 瀬野清美	山形　堀田正子 清水礼子 福原友子

第29回　昭和49年　水と緑のまごころ国体　茨城県　石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　池田信孝 栂野尾昌一 今井茂満	神奈川　小島一平 宮川秀樹 笠井教行	愛知　松島保 本間順次 谷口寛
一般女子	東京　石崎茂子 今田真知子 柴山きよ子	香川　田所静子 山口豊子 川東秀美	北海道　田村静子 高野美千子 藤島百子
教員男子	和歌山　門間幹夫 武藤隆志 森隆	石川　原栄一 長谷川進 高来秀夫	茨城　佐藤利昭 関本昌和 大川健太郎
高校男子	山形　米山孝二 中島俊彦 加藤信之	奈良　塚本良一 小倉久和 村田信博	福井　長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	新潟　関根和子 大塚ソノエ 佐藤由喜子	香川　牛田真弓美 片山千英子 渡辺幸子	大阪　植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第30回　昭和50年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　三重県　県立松阪高校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位	2位	3位
成年男子	一般	神奈川　小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京　池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	富山　河村博之 今泉勉 米沢和男
成年男子	教員	石川　原栄一 長谷川進 和田修	群馬　今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城　渡部紘一 木戸純一 白岩良治
成年女子		東京　湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	香川　川東秀美 田所静子 山口豊子	岡山　石田雅子 三田明美 藤原敦子
少年男子		奈良　吉岡伸浩 富田章夫 田島裕司	石川　宮森庄吉 酒井直人 坂本宏志	宮城　橘川光孝 沼沢隆 宍戸隆夫
少年女子		大阪　植野恵美子 北村寿弥子 石川好子	三重　谷口元美 槇野いく子 野崎知花	香川　前川加代子 渋谷茂子 金崎美保

第31回　昭和51年　若楠国体　佐賀県　県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位	2位	3位
成年男子	一般	神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	富山 今泉勉 牧野光男 米沢和男	石川 相川進 米正隆 堂谷内均
	教員	石川 原栄一 長谷川進 和田修	群馬 関俊夫 今井勇司 桐生台次郎	和歌山 門間幹夫 武藤隆志 山本茂樹
成年女子		東京 湯木博恵 石崎茂子 今田真知子	香川 石原英子 田所静子 牛田真由美	大阪 西尾真理子 谷美津代 秋本幸子
少年男子		石川 重山成生 森田均 坂本昌嗣	滋賀 北橋進 西山博司 西堀武	香川 平野勝彦 上原明 木田敬二
少年女子		大阪 石川好子 平久美子 河村茂美	新潟 青木恵子 藤井良子 佐藤友子	東京 徳永順子 松枝睦子 永野ふみ子

第32回　昭和52年　あすなろ国体　青森県　浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		1位	2位	3位
成年男子	一般	埼玉 尾崎幹雄 飯野佳孝 土田証雄	東京 池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	神奈川 小島一平 笠井教行 辻敏弘
	教員	石川 原栄一 長谷川進 舛田吉光	群馬 今井勇司 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山 門間幹夫 山本茂樹 米山正和
成年女子		東京 湯木博恵 池田美加 池田茂子	大阪 西尾真理子 谷美津代 秋本幸子	香川 石原英子 田所静子 牛田真由美
少年男子		滋賀 西山博司 矢部忠司 山田和樹	栃木 角田光永 久郷俊明 関根忠	青森 丹藤勇一 楠美誠悦 島内俊二
少年女子		大阪 平久美子 河村茂美 原口恵子	高知 浜田由理 田村圭香 寺田史枝	青森 葛西明子 山下奈々子 柳沼端代

第33回　昭和53年　やまびこ国体　長野県　塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位	2位	3位
成年男子	一般	千葉 田所光男 大場和博 西村龍夫	新潟 棒勇 鈴木裕 丸山法男	石川 相川進 米正隆 堂谷内均
	教員	石川 長谷川進 舛田吉光 和田修	群馬 今井勇司 栗原恒夫 岩崎盛和	熊本 工藤勇参 稲津悟 田中芳文
成年女子		大阪 谷美津代 秋本幸子 東海林文子	福岡 桶本百合子 丸山富江 山口峰子	栃木 沼能久子 日山裕子 日向野藤枝
少年男子		熊本 本石俊憲 権藤浩二 井上哲章	山形 桜井雅人 五十嵐正弘 須貝英徳	滋賀 保科正浩 横田悟司 川嶋栄司
少年女子		新潟 月岡広美 中沢一枝 斉藤優子	栃木 上野加代子 高田康子 海賀里美	大阪 合川裕子 原口恵子 北田スミ子

第34回　昭和54年　日本のふるさと宮崎国体　宮崎西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位	2位	3位
成年男子	一般	千葉 田所光男 大場和博 織本富之	神奈川 小島一平 高橋清 菅敏明	北海道 遠藤好男 木村敏雄 久原正敏
	教員	石川 長谷川進 和田修 舛田吉光	群馬 今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	滋賀 藤原健二 藤上良信 脇坂重之
成年女子		栃木 日山裕子 日向野藤枝 大嶌和代	大阪 東海林文子 葛西明子 原口恵子	香川 平井佐代子 山田高子 前川加代子
少年男子		熊本 権藤浩二 村上英介 井上哲章	香川 岡野佳浩 小西太 竹田佳史	栃木 馬場良浩 小野口正 大島正志
少年女子		大阪 北田スミ子 植田日出子 冨田美千代	新潟 藤井直子 遠藤えり子 富岡栄子	熊本 川添安代 高峯和子 陣内貴美子

第35回　昭和55年　栃の葉国体　栃木県　真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉勉 米正隆 二上敏博	石川 長谷川進 舛田吉光 堂谷内均	神奈川 小島一平 池田隆治 菅敏明
成年女子	東京 端洋護 渡辺多喜子 高岸陽子	滋賀 谷美津代 若村弥生 阪口典子	愛知 小松澄子 渡辺喜美 柳田智佳子
少年男子	滋賀 山本裕幸 竹端英夫 松浦進二	栃木 大島正志 大堀円 戸村正樹	熊本 井上哲章 伊東幸男 福田和幸
少年女子	熊本 高峯和子 陣内貴美子 森山弘美	大阪 松田全代 新木千織 尾崎升美	新潟 野上満子 山内美子 山田登美子

第36回　昭和56年　びわこ国体　滋賀県　大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉勉 米正隆 林加永	青森 佐藤光伸 須藤茂 村元英美	群馬 今井勇司 秋庭克行 鏑木智博
成年女子	東京 湯木博恵 高岸陽子 月岡広美	滋賀 谷美津代 西村美千代 磯野恵理子	大阪 河村茂美 平久美子 葛西明子
少年男子	滋賀 松浦進二 片岡泰 辻田泰昌	山梨 松野修二 宮健次 宮康二	石川 羽田義仁 村松博 宮本照啓
少年女子	熊本 陣内貴美子 高峯尚子 森山弘美	香川 山内佳子 佃貴子 永井明美	新潟 山内美子 石崎咲知子 本田佳代子

第37回　昭和57年　くにびき国体　島根県　大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	群馬 今井勇司 鏑木智博 秋庭克行	富山 今泉勉 米沢和男 米正隆	北海道 遠藤好男 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	岡山 河本小織 高田幹子 小寺裕美	大阪 河村茂美 平久美子 国奥美智子	静岡 山本美津子 川島直子 原田純子
少年男子	滋賀 西川勉 辻田泰昌 杉本吉男	石川 山尾克則 岡島浩一 羽田憲治	埼玉 長内征美 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	大阪 松田太嘉子 石井香澄 鴻原春美	熊本 森山弘美 高峯尚子 青木きよみ	栃木 三沢真奈美 岡崎仁子 小貫早苗

第38回　昭和58年　あかぎ国体　群馬県　桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	群馬 今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	新潟 鈴木裕 山下圭一 飯塚芳英	静岡 後藤和之 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	岡山 河本小織 高田幹子 中原裕美	静岡 川島直子 白松千加子 原田純子	東京 枝美代子 月岡広美 高峯尚子
少年男子	熊本 川本英明 林謙一 三次英昭	兵庫 佐藤浩 松本泰典 村山喜洋	奈良 見市昌弘 小野満哲 村山友二
少年女子	大阪 鴻原春美 新木貴子 宮崎正美	熊本 上村美香 平井真由美 青木きよみ	新潟 原田真理恵 本田みどり 川野名智美

第39回　昭和59年　わかくさ国体　奈良県　田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 工士恭司 江藤正治 権藤浩二	群馬 今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	奈良 辻敏弘 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	大阪 葛西明子 星和枝 平山美恵子	石川 伊東ひとみ 小野順子 小路和代	東京 枝美代子 森山弘美 三田知佳子
少年男子	滋賀 江藤裕樹 中川健 中川康	富山 平井保光 中嶋正男 室田繁行	埼玉 松元功一 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	大阪 新木貴子 今村薫 山田陽子	新潟 若井郁子 小池由扶子 青戸香織	青森 徳光由美子 谷地春子 西田美知子

第40回　昭和60年　わかとり国体　鳥取県　県立由良育英高校体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一	群馬 今井勇司 栗原恒夫 竹内康夫	愛知 坂本宏志 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	新潟 月岡広美 野上満子 山内美子	大阪 高峯和子 星和枝 平山美恵子	山形 東海林文子 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	埼玉 生井沢勝美 菊地修 石橋隆	石川 気谷篤人 山本明彦 中川守	熊本 浜北和彦 中村徳裕 小本義久
少年女子	熊本 田島志乃 田代美智世 松尾知美	新潟 小池由扶子 青戸香織 棒匡子	青森 横手智恵美 平間由紀 乳井智秋

第41回　昭和61年　かいじ国体　山梨県　勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	山梨 山本裕幸 松野修二 宮健次	大阪 森下一夫 谷田尚嗣 保科正浩	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一
成年女子	新潟 月岡広美 野上満子 山内美子	富山 今川真理子 大谷鶴美 田向和子	山梨 高田幹子 野口英代 清藤和
少年男子	熊本 久住猛 畑野宏幸 本山秀昭	山梨 内田高志 與石努 岩佐延寿	富山 吉田直樹 越田芳成 城木夢高
少年女子	福岡 田村富士美 田島由美 間庭由美	熊本 松尾和美 毛利千秋 渡辺喜美子	埼玉 秋元美佐緒 太田悦子 清水由紀子

第42回　昭和62年　海邦国体　沖縄県　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	岐阜 蘭和真 木内広史 横尾宣幸	群馬 栗原恒夫 竹内康夫 片桐哲也	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	愛知 宮本美津子 大屋幸恵 松本清美	石川 彼島佳子 小路和代 水本幸子
少年男子	滋賀 鈴木草麻生 平井肇 小河原崇	熊本 本山秀昭 高村誠也 廣龍宗美	埼玉 関根英勝 石井隆 鈴木秀二
少年女子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	大阪 南里高子 岩田良子 水井妃佐子	新潟 棒匡子 高橋朱美 加賀ゆかり

第43回　昭和63年　京都国体　京都府　長岡京市西山公園体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男	群馬 鏑木智博 竹内康夫 片桐哲也
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	大阪 今村薫 田代美智世 磯崎照枝	愛知 大屋幸恵 丑田明子 佐々恵理
少年男子	埼玉 大谷知昌 内村剛 須賀隆弘	北海道 工藤忠和 藤本謙治 村井秀樹	滋賀 平井肇 小河原崇 中橋一晃
少年女子	大阪 岩田良子 水井妃佐子 新木美志子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	宮城 立花久枝 矢野直子 伏見亜古

第44回　平成元年　はなます国体　北海道　日本工学院北海道専門体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	北海道 伊藤雅弘 山尾克則 角谷淳一	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男
成年女子	群馬 野口英代 中島真美 藤岡美智子	大阪 今村薫 奥山保子 秋元美佐緒	東京 都木弘美 毛利千秋 星野実智代
少年男子	北海道 佐藤嘉伸 郷路一郎 古川英樹	埼玉 片山卓哉 久保田雄三 関根靖則	熊本 田上厚志 本田和裕 霜上和宏
少年女子	熊本 宮村愛子 松田治子 阪本雅子	大阪 水井妃佐子 利川三貴 坂田美佐	佐賀 庄島由美子 寺尾美紀 藤原久子

第45回　平成２年　とびうめ国体　福岡県　筑紫野市農業者トレーニングセンター（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	三重 福田実 中川健 常山兼二	大阪 辻田泰昌 奥野勉 早戸敬雄	福岡 荒木秀文 中村正巳 石井正行
成年女子	福岡 清水尚美 田村富士美 田頭美奈子	静岡 金丸陽子 横手智江美 山田美紀	大阪 今村薫 奥山保子 三ツ川貴子
少年男子	大阪 岸田明宏 上龍賢二 小河原詔市郎	熊本 本田和裕 岡部英朗 前田尚文	埼玉 関根靖則 高橋真 増田直樹
少年女子	埼玉 井田貴子 青木由美子 浜崎忍	大阪 松田洋子 杉田暢子 大田貴子	佐賀 寺尾美紀 篠原久子 鬼塚知美

第46回　平成３年　石川国体　石川県　美川町総合スポーツセンター（総合優勝　石川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	中川　健 三重　常山兼二 山内一志	辻田泰昌 大阪　奥野勉 早戸敬雄	毛利達彦 石川　羽田義仁 崎田健一
成年女子	田児よし子 東京　都木弘美 立花久枝	青戸香織 神奈川　森真由美 加賀ゆかり	小泉陽子 石川　上浜陽子 中尾仁美
少年男子	太田慎二 千葉　石橋秀法 佐藤裕二	増田直樹 埼玉　高橋真 加賀谷洋	青木康 石川　竹鼻拓也 石本明男
少年女子	橋本淳子 宮城　山田浩美 貴田泉	高野八重 群馬　丹野恭子 田部井美奈	津田藍子 石川　安田香奈 丸山実喜子

第47回　平成４年　べにばな国体　山形県　新庄市体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	辻田泰昌 大阪　今井彰宏 鈴木草麻生	西山博司 山形　渡辺清一 寺島剛志	角谷淳一 北海道　工藤忠和 古川英樹
成年女子	大堀麻紀 富山　佐々木忍 野々村美春	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	田児よし子 東京　岡山登紀子 立花久枝
少年男子	高橋幸治 群馬　横山秀之 坂入英貴	成島瑞穂 茨城　樋渡順也 矢部正博	片岡直茂 熊本　花田政文 野田良介
少年女子	大田貴子 大阪　水井泰子 川口桐香	小室恭子 埼玉　伊藤さおり 浅井康代	宮村亜貴子 熊本　村上直美 伊藤真弓

第48回　平成５年　東四国国体　香川県　坂出市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	高橋英治 東京　峯岸康史 須賀隆弘	谷田尚嗣 大阪　植村昭彦 常山兼二	中川　健 三重　磯部昌弘 吉田義利
成年女子	西田美由紀 大阪　村上直美 大田貴子	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	中尾仁美 香川　川本光佐子 磯崎照枝
少年男子	樋渡順也 茨城　矢部正博 大橋雅道	田中肇一 千葉　池田哲徳 小倉伸彦	井野嘉久 北海道　一宮孝一 馬木智一
少年女子	水井泰子 大阪　川口桐香 鬼池めぐみ	増茂孝枝 北海道　中山智香子 田村裕美	山田潤子 富山　進藤範子 山田青子

第49回　平成６年　わかしゃち国体　愛知県　大府市民体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	須賀隆弘 東京 片山卓哉 久保田雄三	辻田泰昌 大阪 今井彰宏 植村昭彦	気谷篤人 富山 岩淵公一 本山秀昭
成年女子	松尾知美 東京 道上彰子 阪本雅子	佐々木忍 富山 渡辺真由美 高野八重	竹野景子 新潟 遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	酒井将之 滋賀 諏訪良人 松本徹	一宮孝一 北海道 馬木智一 今西隆浩	津田光一郎 石川 奥森正志 舛田圭太
少年女子	福島由佳 大阪 鬼池めぐみ 市橋美紀	長谷部裕子 福岡 吉富明子 吉武由加里	中麻依子 群馬 岡田真紀 亀山貴代

第50回　平成７年　ふくしま国体　福島県　白河市中央体育館（総合優勝　福島県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	柳谷辰哉 福島 大堀均 平野泰宏	気谷篤人 富山 本山秀昭 本田和裕	常山兼二 大阪 渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	棒匡子 福島 大堀麻紀 寺尾美紀	中山智香子 大阪 増茂孝枝 田中美保	佐々木忍 富山 松田治子 高野八重
少年男子	松本徹 滋賀 向裕樹 川口馨士	渡部訓生 福島 沈逸文 竹俣洋平	徳坂渉 石川 栄代正男 舛田圭太
少年女子	中島珠美 石川 片糸由希子 堀哲子	山田青子 富山 石橋陽子 加藤真知子	吉富明子 福岡 大石瞳 稗田華子

第51回　平成８年　ひろしま国体　広島県　三原リージョンプラザ（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	今井彰宏 富山 谷内貴昭 本田和裕	霜上和宏 熊本 花田政文 福田茂	村井秀樹 北海道 佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	河口奈緒美 富山 明石由美 市橋理恵	竹野景子 新潟 斎藤かおり 住矢直美	福井奈美 広島 吉川愛 渡辺夕子
少年男子	舛田圭太 石川 車浩明 酒井忠相	小吹公彦 埼玉 中西洋介 長嶺宙	大東忠司 熊本 木下伸介 二瓶良
少年女子	井川里美 埼玉 岩脇史 李荔	杉浦美幸 熊本 永峰弘子 橋本純子	吉岡知香 大阪 鄭有琁 安城美華

第52回　平成９年　なみはや国体　大阪府　大東市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 兒嶋　昇彦 町田　文隆弘 須賀　隆雄三 久保田　雄	大阪 松井　峰生二 常山　兼昭彦 植村　昭彦宏 岸田　明宏	福岡 森　裁美武 清水　文行 棟居　秀智 五十嵐　一
成年女子	大阪 宮崎　克巳子 井田　貴香子 中山　智子枝 増茂　孝	奈良 谷口　章子 水井　妃佐子 水井　泰子 渡辺　未奈子	富山 河合　昭博重 高野　八重美 河口　奈緒美 市橋　美紀
少年男子	大阪 和田　泰寛一 仲尾　修也也 永谷　和和 福川　和	熊本 権藤　浩二良 瓶束　真也史 二大中　寿	石川 彼島　重範明 車　浩相靖 酒井　忠 茶谷　徳
少年女子	福岡 樽野　智子 森　かおり 中内　景子 三好　奈緒	石川 和田　修 田井　美幸 桝田　恵理 田村　恵	大阪 西上　正一 福永　麻美 安城　美華 速水　永子

第53回　平成10年　かながわ・ゆめ国体　神奈川県　大和市スポーツセンター体育会館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 泉　勉生 木　麻夫 井　紀司 山　宏	東京 兒嶋　昇彦 町田　文隆弘 須賀　隆一 渡辺　清	大阪 松井　峰生宏 岸田　明充 松井　士 川口　馨
成年女子	奈良 谷口　章子 水井　泰子 松田　治恵 市橋　理	茨城 磯部　和弘 米倉　加奈子 大坂　千尋 岩松　絵里子	富山 河合　昭博 高野　八重 河口　奈緒美 明石　由美
少年男子	熊本 権藤　浩二也 束村　真寿史平 中　見祥	埼玉 関根　務 橋村　竜彦宗 平山　政和 川崎　宗	石川 彼島　重範相 酒井　忠靖 茶谷　徳淳
少年女子	福岡 樽野　智子 中内　景子恵 藤本　乃 松尾　美穂子	大分 吉田　信之 末綱　聡子代 赤尾　美亜 赤尾　亜希	埼玉 加藤　勝 大熊　倫子美 山口　絵婷 謝　婷

第54回　平成11年　くまもと未来国体　熊本県　八代市総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 石黒　久 霜上　武宏 花田　之文 大東　和政忠	富山 今泉　勉 今井　紀夫 大山　宏司 吉川　大助	神奈川 石場　隆雄 舛田　圭太 清水　隆志 古川　裕輔
成年女子	大阪 宮崎　克巳 鬼池　めぐみ 森　かお 関本　祥子	茨城 大塚　三佳 米倉　加奈子 中島　暁子 大坂　千尋	富山 河合　昭博 山本　静香 山田　潤子 山田　青
少年男子	東京 渋谷　実 安村　康介 佐藤　翔治 佐々木　翔	熊本 権藤　浩二 茂見　祥平 池田　礼奈 土田　真義	香川 岡野　佳浩 二宮　和敬 前田　丈博 木場　喬
少年女子	福岡 明神　憲一 松尾　美穂子 藤本　乃恵 脇坂　郁	熊本 伊東　幸雄 田上　千晴子 松本　舞 野口　理加	埼玉 中島　正敏 陳　暁娜 大下　詩織 広岡　まり香

第55回　平成12年　2000年とやま国体　富山県　高岡市民体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉勉 今井紀夫 谷田貴昭 大山宏司	熊本 村中陽介 花田政文 古上井治 高博	神奈川 石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	茨城 下鳥樹 米倉洋子 長縄奈子 松加佳子 岩美理	大阪 喜多祥努 関本千子 田上宏春 西予	富山 河合昭博 山本静香 山田潤子 山青子
少年男子	東京 渋谷実 佐藤翔治 佐々木一翔 池田雄	富山 山形英明 川口佳介 米坂隆夫 劉志遠	北海道 井口一司 早坂幸平 石田圭大 竹村純
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄子 今別府靖代 楊藺琳	富山 麦谷正二 田村美幸 今井代 劉晶	長崎 春野良三 松田山友 西津真鯉 宇早也香

第56回　平成13年　新世界・みやぎ国体　宮城県　塩竈市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉勉 吉川助 舛田大太 大圭司	熊本 村中陽介 古井博高 花田政文 上良治	埼玉 條尚彪 村憲士 中井剛洋 福加賀谷
成年女子	千葉 中村一 寺本新子 松赤悦美 田尾友希	茨城 小島夫 松浦一子 正木裕澄 梅津知恵	富山 河合明博 山田潤子 田村美幸 佐伯知佳
少年男子	東京 谷浦実 渋田尚仁 山池雄一 新開慎士	埼玉 大屋貴司 斉藤元伸 堤上敦史 井知也	青森 戸祭潤 岩脇生 長峰博 鉦原克平 佳
少年女子	青森 髙屋仁 楊藺琳子 廣瀬栄代 今別府靖	富山 中田庄二 佐伯美都 劉今井晶 代	大分 吉田信之 服部麻衣 倉満一美 橋本麻子

第57回　平成14年　よさこい高知国体　高知県　南国市立スポーツセンター（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉勉 今井紀夫 舛田圭太 大東忠司	北海道 古川英樹 水澤直哉 三上裕司 長原正博	大阪 渡辺哲義 川口馨士 谷宮孝一 内貴昭
成年女子	千葉 中村新一 山本静香 松田友美 赤尾亜希	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳 徳永幸子	東京 落合久夫 岩田良子 米倉加奈 田井美幸
少年男子	東京 渋谷実 池田雄一 新開慎平 高木洋	埼玉 大屋貴司 井上山知 秋本駿也 新克祐巳	滋賀 藤上良信 山口野公洋 川健太 賢一
少年女子	青森 高屋仁 廣瀬栄子 今別府靖代 小柳知子	岐阜 尾藤伸治 脇田佑 後藤裕舞 林佳	宮城 常田貴裕 平嶋朝美 松山村優 咲希

第58回　平成15年　ＮＥＷ!!わかふじ国体　静岡県　富士宮市民体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京	岡山	宮城
	昇三哉裕 嶋田雄卓 兒保山水 久片清	弘記久一 藤原道大勝浩 松川崎伯 尾佐	雄篤平道 利 田井下木 洋知 原草山鈴
成年女子	千葉	宮城	熊本
	一子美希 村本田尾 新悦友亜 中寺松赤	人子子子 並川縄永 正尚美佳幸 山小長徳	宏子子代 井綱内井 彰聡景幸 今末中今
少年男子	滋賀	東京	埼玉
	信太一平 上野川崎 良健賢修 藤数早早	徳平生森 林木川 重洋善 小高堀林	司介明克 屋尾田形 貴祐俊俊 大中黒宗
少年女子	宮城	青森	熊本
	裕優希よ 田山村植 貴咲まさ 常平松麻	仁子紀里 屋柳知美佑 高小藤澤 今別府香	参美順 藤村田 勇征美 工吉前岡 ひとみ

第59回　平成16年　彩の国まごころ国体　埼玉県　久喜市総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山	埼玉	北海道
	勉太司也 泉田東東 圭忠真 今舛大大	彪孝士介 條田井西 英剛洋 中山福中	司章純博 倉本村原 隆 小松竹長 正
成年女子	熊本	宮城	東京
	宏子美順 井綱谷田 彰聡好美 今末幡前	人子子優 並川縄山 正尚美佳 山小長平	子幸里代 岩田井山 良美映靖 田媚府 今別
少年男子	東京	埼玉	滋賀
	実生生也 谷田川階 真善知 渋藤堀高	和由司輝 山藤田町 好大和谷 帰遠山小	信一平士 上川崎下 良賢修剛 藤早早川
少年女子	青森	埼玉	宮城
	仁里と希 屋府間井 香 高今本藤 さち瑞	弘織奈静 倉橋上 康沙春舒 名高井李	裕希よや 貴咲まあ 田村植阪 常松麻大 さ

第60回　平成17年　晴れの国おかやま国体　岡山県　岡山市総合文化体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山	埼玉	東京
	純太司也 木田東東 圭忠真 荒舛大大	彪孝士介 條田井西 英剛洋 中山福中	彦徹士裕 文 田本口水 町松川清 馨
成年女子	岐阜	熊本	大阪
	治愛侑美 藤藤田村 伸 尾後脇吉 征	宏子代順 井綱井田 彰聡幸美 今末今前	昭郁恵里 貴 内坂谷府 郁香 谷脇多 今別
少年男子	埼玉	岡山	滋賀
	司司希馬 屋 貴純智拓 大林三上 橋田	貴行也樹 文祐達優 崎伯宅元 西佐三米	信平太士 良修昭剛 上崎中下 藤早田川
少年女子	青森	埼玉	石川
	仁と希佳 屋間井岩 さち瑞令 高本藤垣	郎奈子美 井上永山 秀春翔智 部 田井富作	明子恵き 浩 麻亜 車浜樽南 中野出 なつ

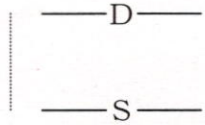
第61回　平成18年　のじぎく兵庫国体　兵庫県　宝塚市立総合体育館（総合優勝　　）

種別＼順位	1　位	2　位	3　位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			

競　技　記　録

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）



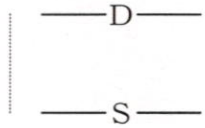
（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）		（　　）……
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）



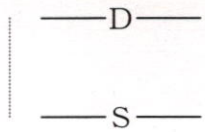
（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）		（　　）……
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

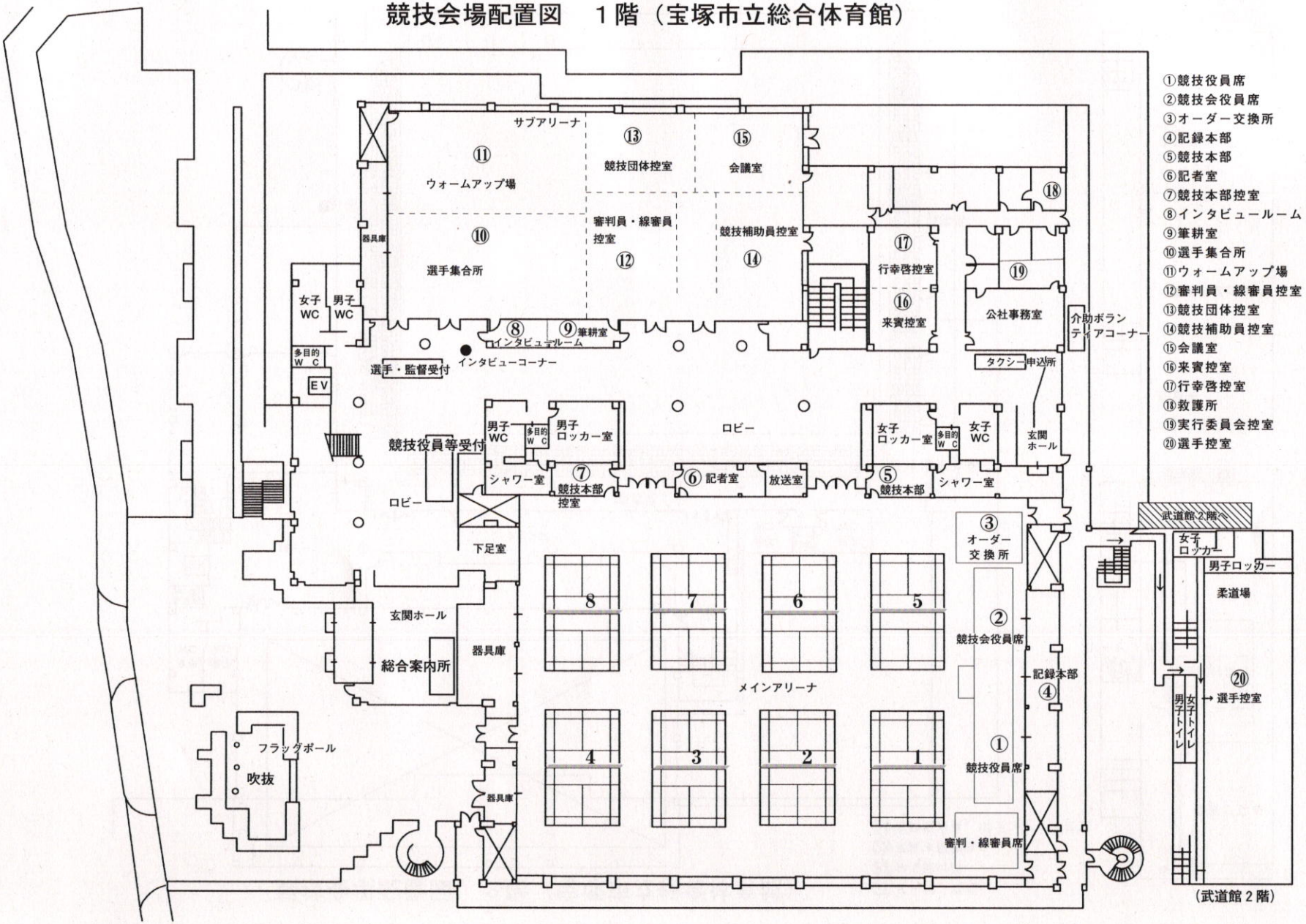


（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）		（　　）……
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

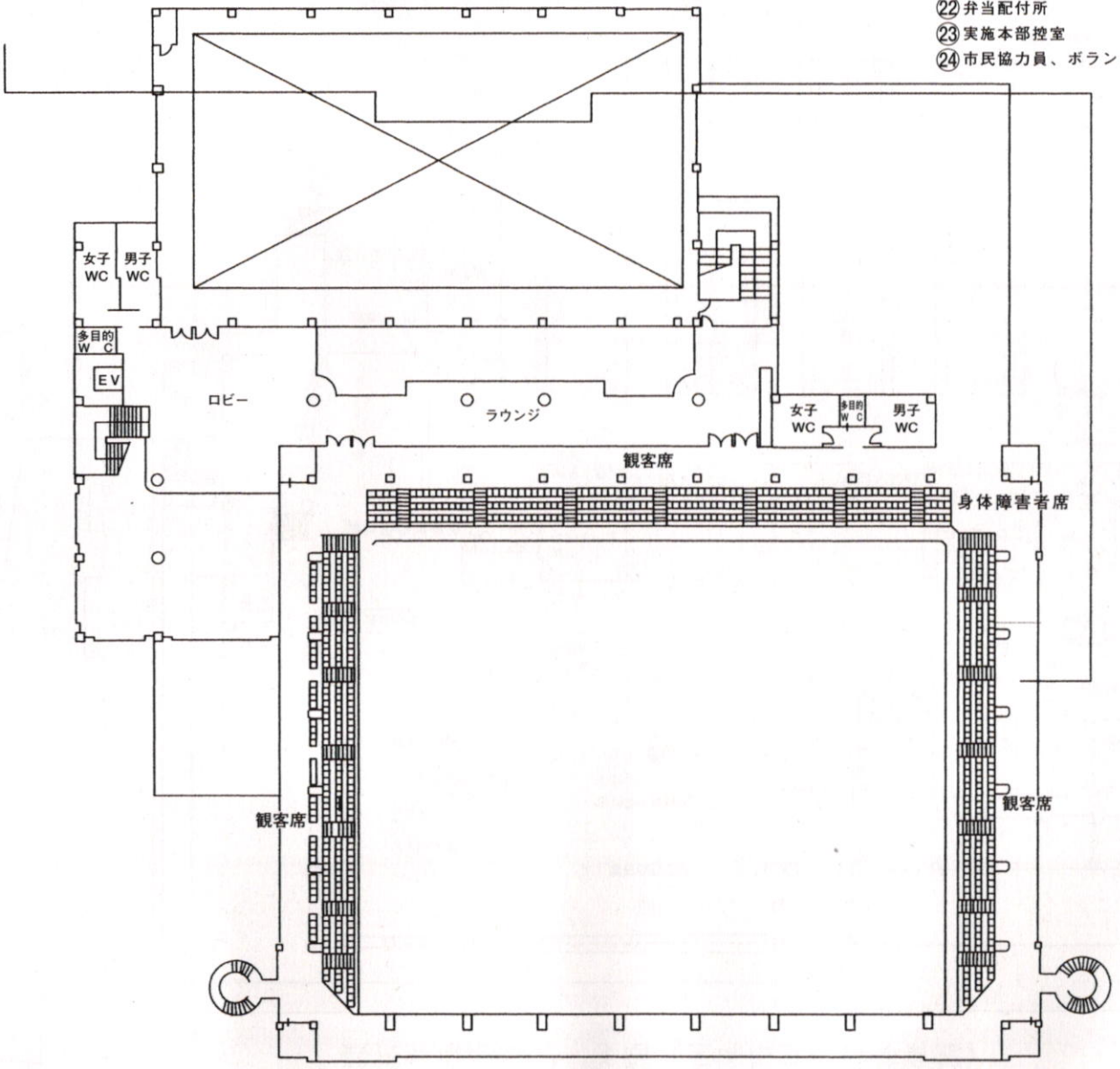
競技会場配置図　１階（宝塚市立総合体育館）

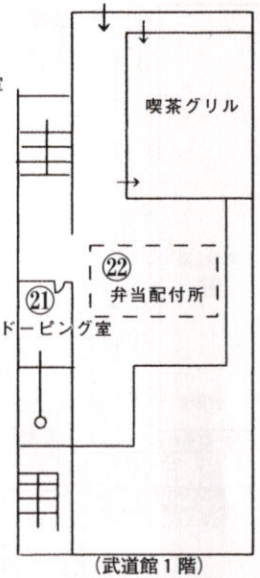


①競技役員席
②競技会役員席
③オーダー交換所
④記録本部
⑤競技本部
⑥記者室
⑦競技本部控室
⑧インタビュールーム
⑨筆耕室
⑩選手集合所
⑪ウォームアップ場
⑫審判員・線審員控室
⑬競技団体控室
⑭競技補助員控室
⑮会議室
⑯来賓控室
⑰行幸啓控室
⑱救護所
⑲実行委員会控室
⑳選手控室

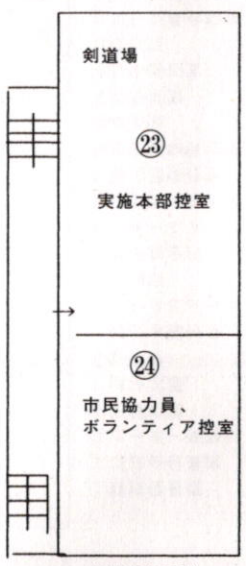
競技会場配置図　２階（宝塚市立総合体育館）

㉑ドーピング室
㉒弁当配付所
㉓実施本部控室
㉔市民協力員、ボランティア控室





（武道館１階）

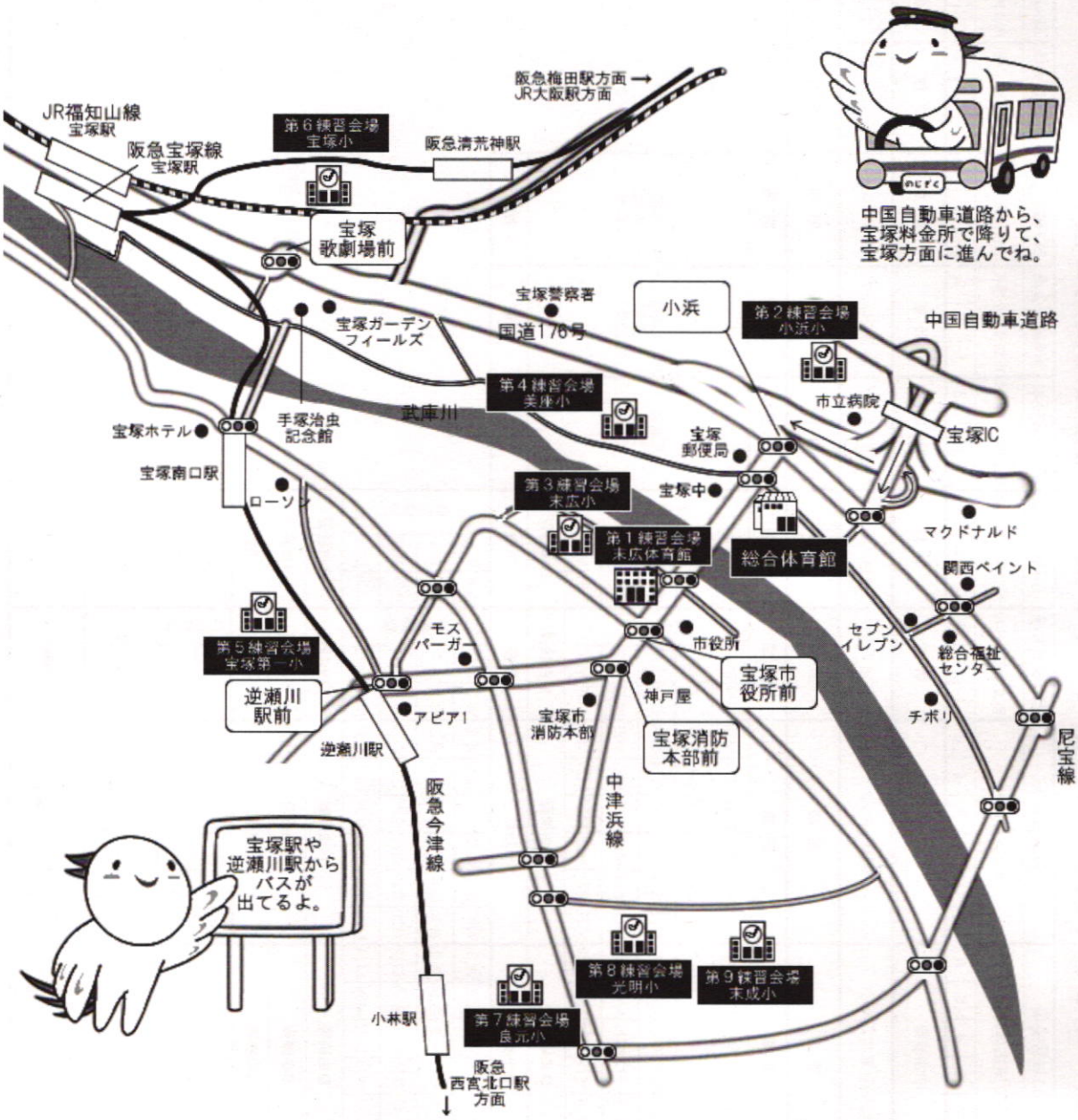


（武道館３階）

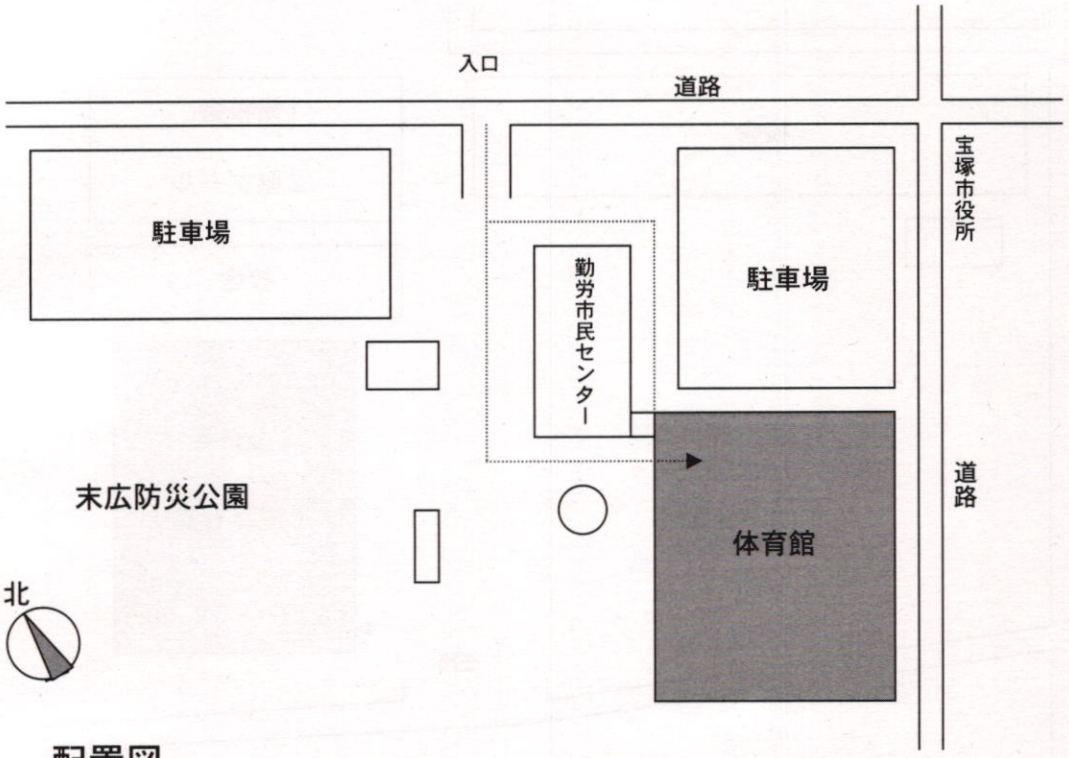
別表　のじぎく兵庫団体バドミントン競技　練習会場使用日程表

期日・時間 ＼ 会場名		第1練習会場 市立末広体育館						第2練習会場 市立小浜小学校						第3練習会場 市立末広小学校			第4練習会場 市立美座小学校			第5練習会場 市立第一小学校			第6練習会場 市立宝塚小学校			第7練習会場 市立良元小学校			第8練習会場 市立光明小学校			第9練習会場 市立末成小学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
9月28日（木）	13:00～17:00	自由練習						閉館						閉館			閉館			閉館			閉館			閉館			閉館			閉館		
9月29日（金）	10:00～17:00	北海道・東北ブロック						関東ブロック						北信越ブロック			東海ブロック			近畿ブロック			中国ブロック			四国ブロック			北九州ブロック（福・佐・長・大）			南九州ブロック（熊・宮・鹿・沖）		
9月30日（土）	総合開会式	閉館						閉館						閉館			閉館			閉館			閉館			閉館			閉館			閉館		
10月1日（日）	開始式	閉鎖						閉鎖						閉鎖			閉鎖			閉鎖			閉鎖			閉鎖								
	9:30～10:30	M8	M8	M9	M9	M10	M10	M11	M11	M12	M12	M13	M13	M14	M14	自由練習	M15	M15	自由練習	北海道 東北 関東			北信越 東海 近畿			中国 四国 九州								
	10:30～12:00	G1	G1	G2	G2	G3	G3	G4	G4	G5	G5	G6	G6	G7	G7		G8	G8																
	12:00～13:30	G9	G9	G10	G10	G11	G11	G12	G12	G13	G13	G14	G14	G15	G15		G16	G16																
	13:30～15:00	M16	M16	M17	M17	M18	M18	M19	M19	M20	M20	M21	M21	M22	M22		M23	M23																
	15:00～16:30	M24	M24	M25	M25	M26	M26	M27	M27	M28	M28	M29	M29	M30	M30		M31	M31																
	16:30～17:30	自由練習						自由練習						自由練習			自由練習																	
	17:30～18:30	自由練習						閉鎖						閉鎖			閉鎖			閉鎖			閉鎖			閉鎖								
10月2日（月）	7:00～ 8:30	W1	W1	W2	W2	W3	W3	W4	W4	W5	W5	W6	W6	W7	W7	自由練習	W8	W8	自由練習	閉館														
	8:30～10:30	B1	B1	B2	B2	B3	B3	B4	B4	B5	B5	B6	B6	B7	B7		B8	B8																
	10:30～12:00	G17	G17	G18	G18	G19	G19	G20	G20	G21	G21	G22	G22	G23	G23		G24	G24																
	12:30～14:30	M32	M32	M33	M33	M34	M34	M35	M35	M36	M36	M37	M37	M38	M38		M39	M39																
	14:30～16:00	自由練習						自由練習						自由練習			自由練習																	
	16:00～17:00	自由練習						自由練習						自由練習			自由練習																	
	17:00～18:00	自由練習						閉鎖						閉鎖			閉鎖																	
10月3日（火）	7:00～ 8:30	W9	W9	W10	W10	W11	W11	W12	W12	B9	B9	B10	B10	B11	B11	自由練習	B12	B12	自由練習															
	8:30～10:30	G25	G25	G26	G26	G27	G27	G28	G28	M40	M40	M41	M41	M42	M42		M43	M43																
	10:30～12:30	W13	W13	W14	W14	B13	B13	B14	B14	自由練習				自由練習			自由練習																	
	12:30～14:30	G29	G29	G30	G30	M44	M44	M45	M45																									
10月4日（水）	7:00～ 8:30	G31	G31	B15	B15	W15	W15	M46	M46	自由練習				閉館			閉館																	
	8:30～10:30	G32	G32	B16	B16	W16	W16	M47	M47																									

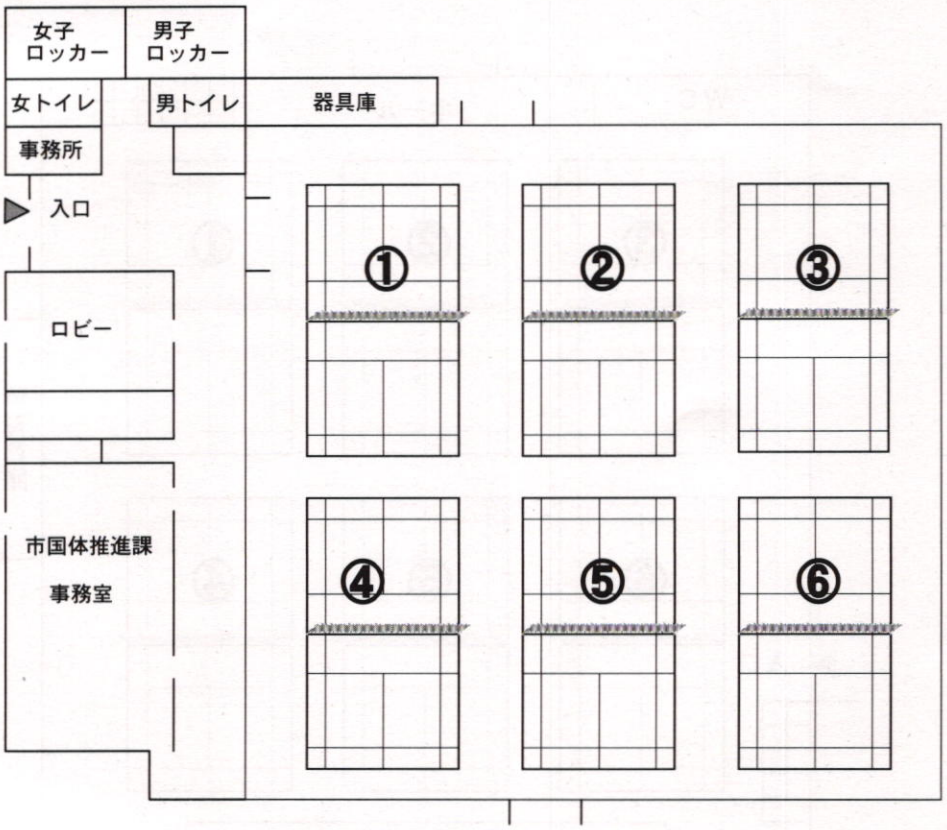
競技会場・練習会場等案内図



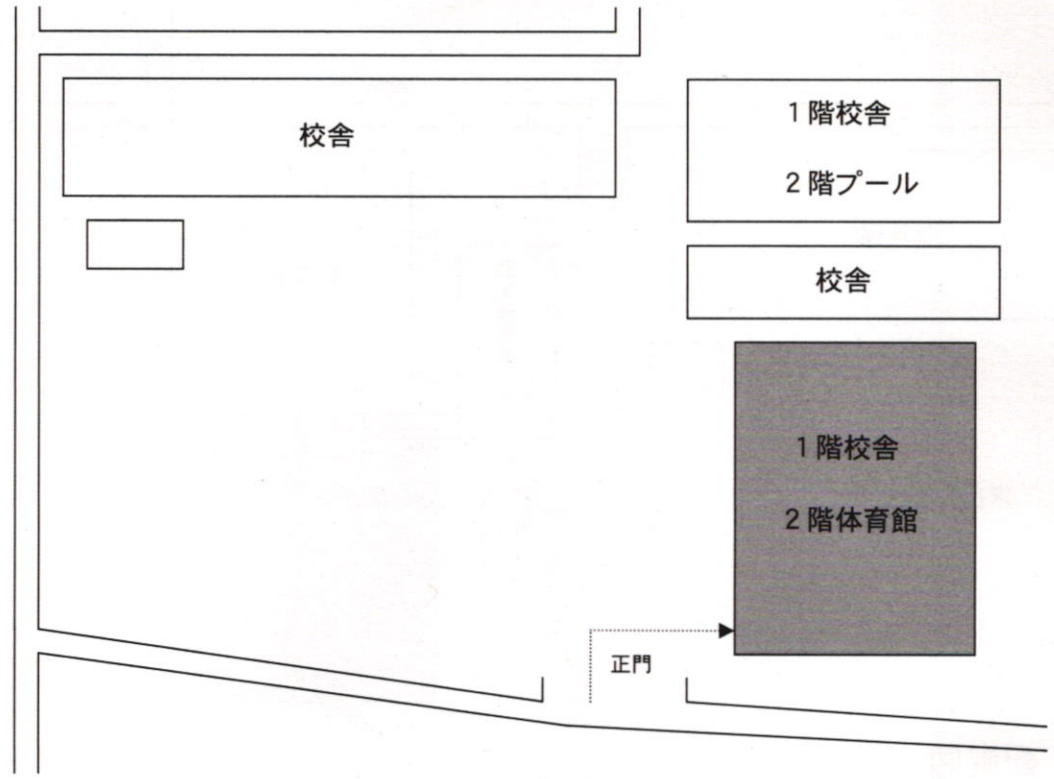
第１練習会場（宝塚市立末広体育館）



配置図

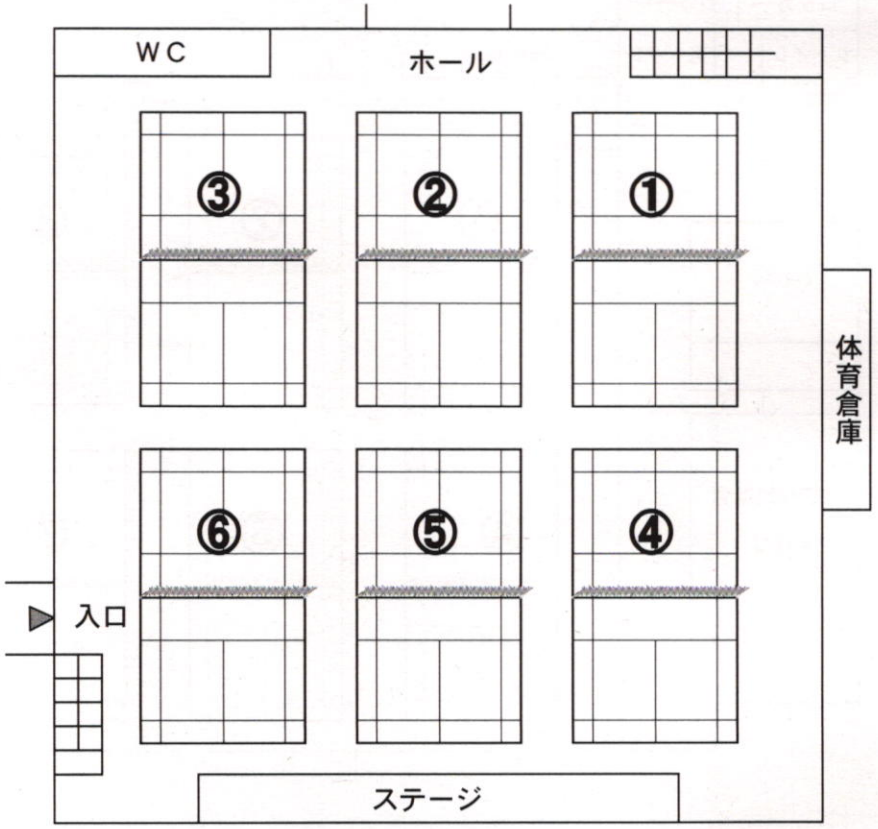


第２練習会場（宝塚市立小浜小学校）

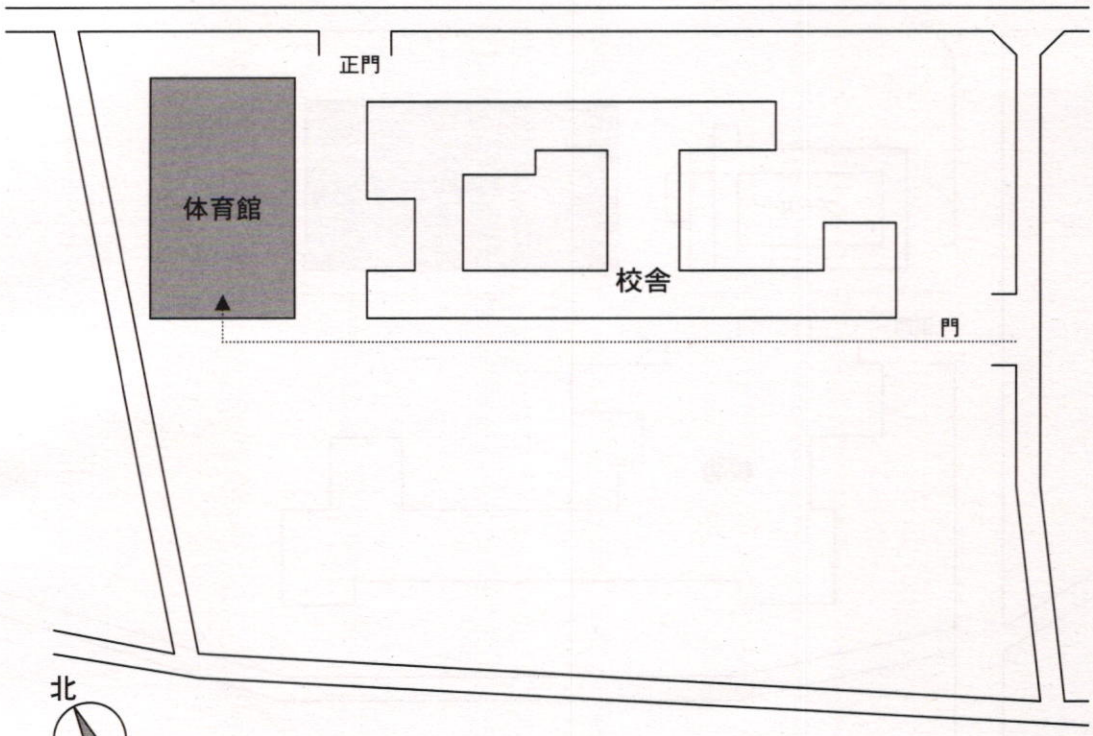




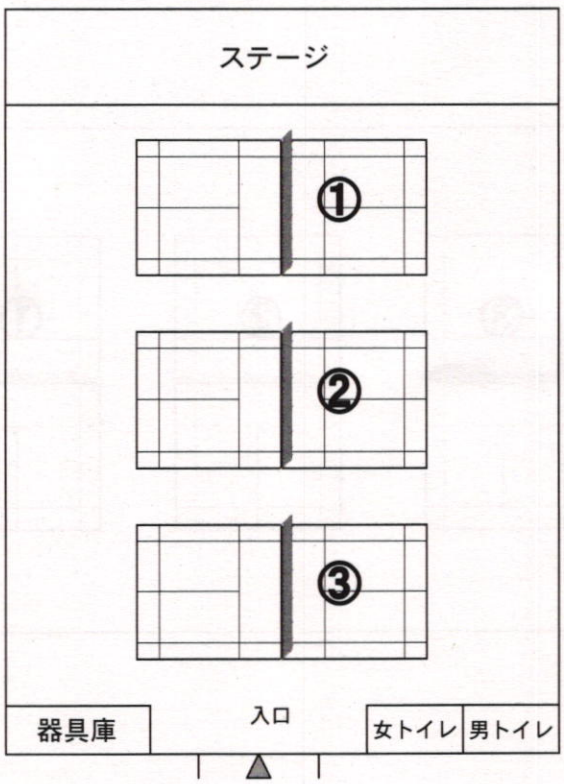
配置図



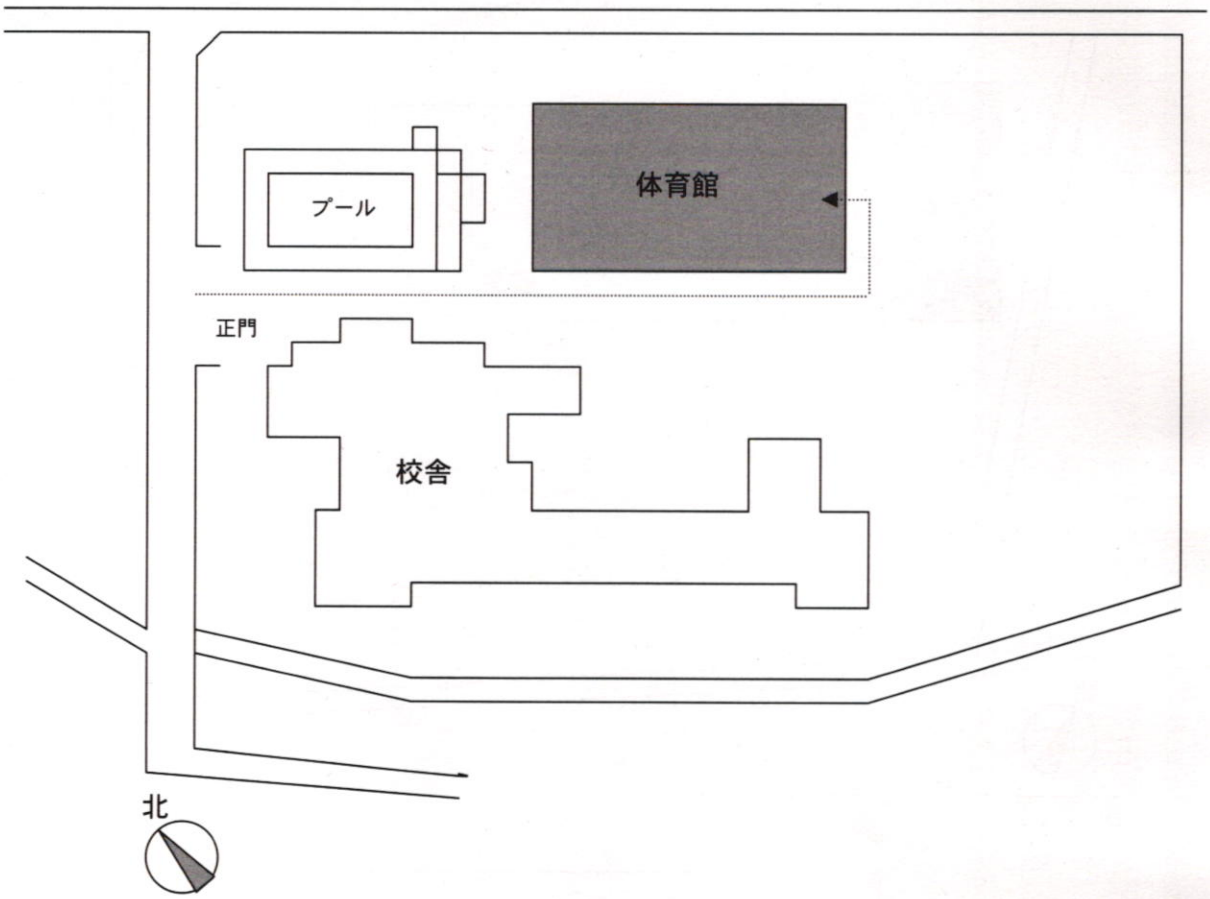
第３練習会場（宝塚市立末広小学校）



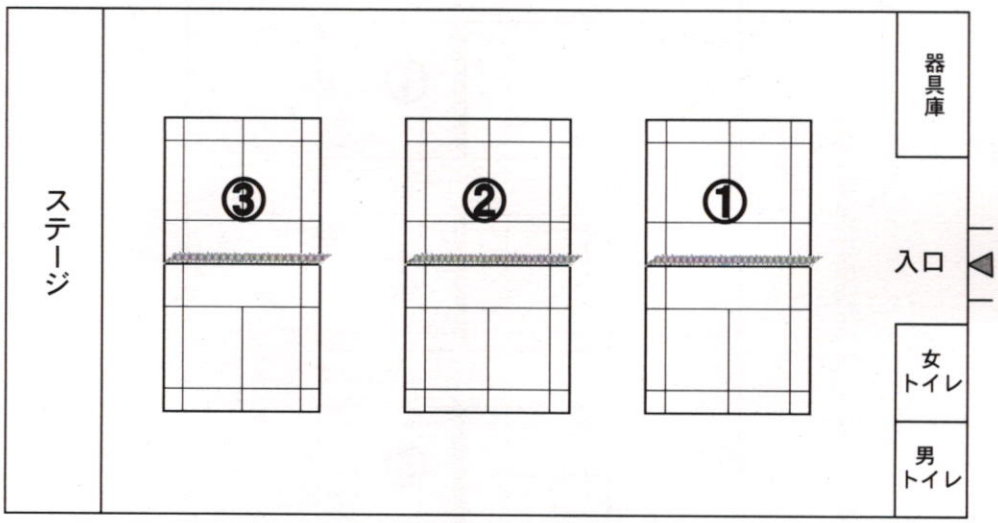
配置図



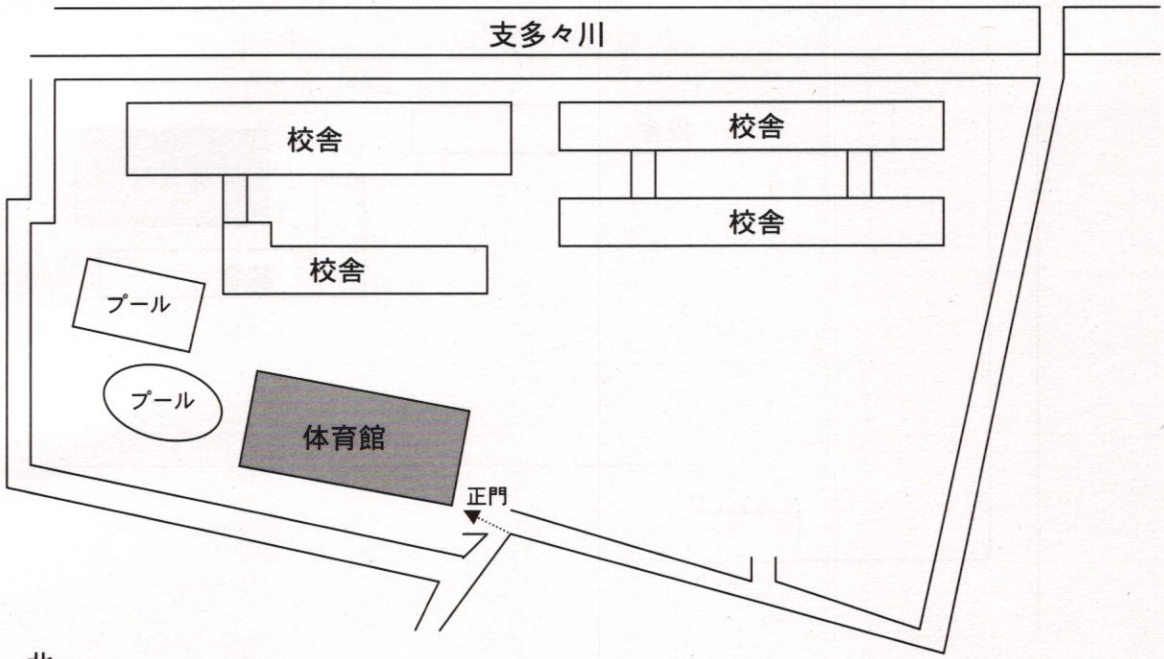
第４練習会場（美座小学校）



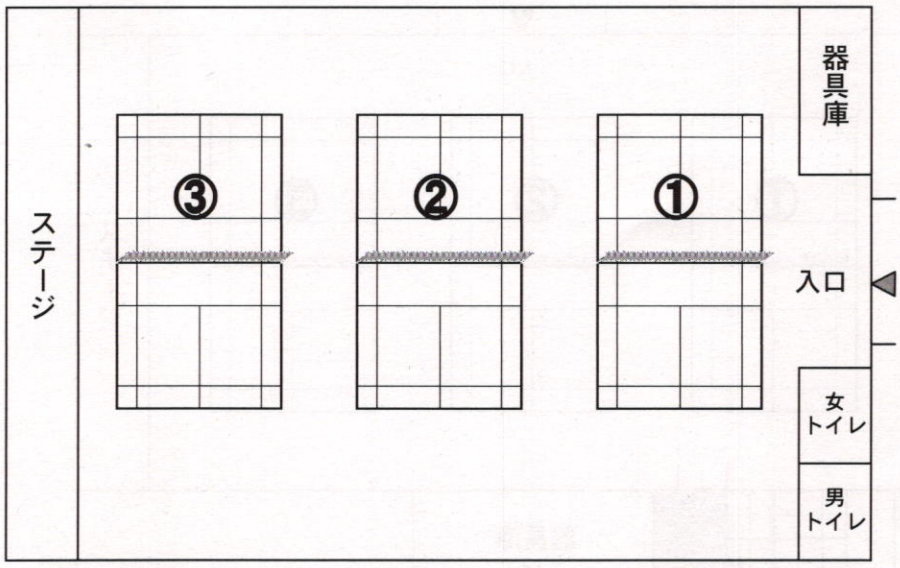
配置図



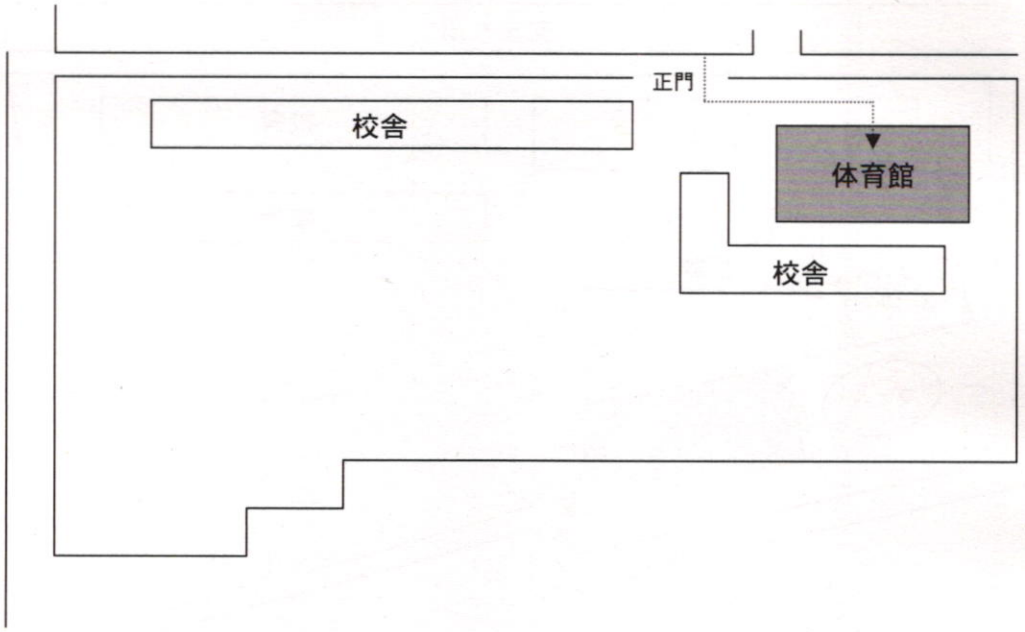
第５練習会場（宝塚市立宝塚第一小学校）



配置図

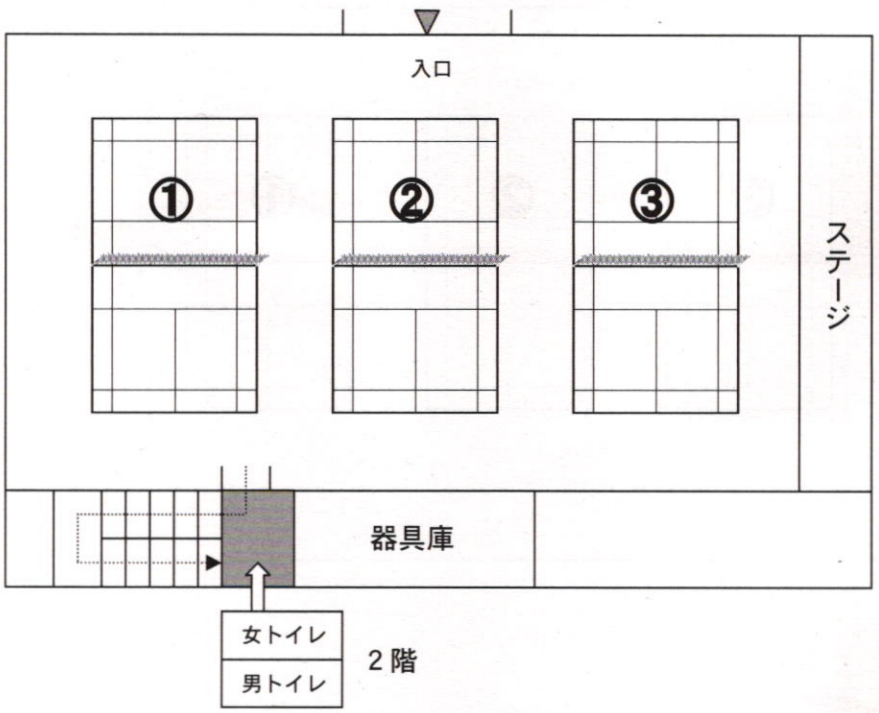


第６練習会場（宝塚市立宝塚小学校）

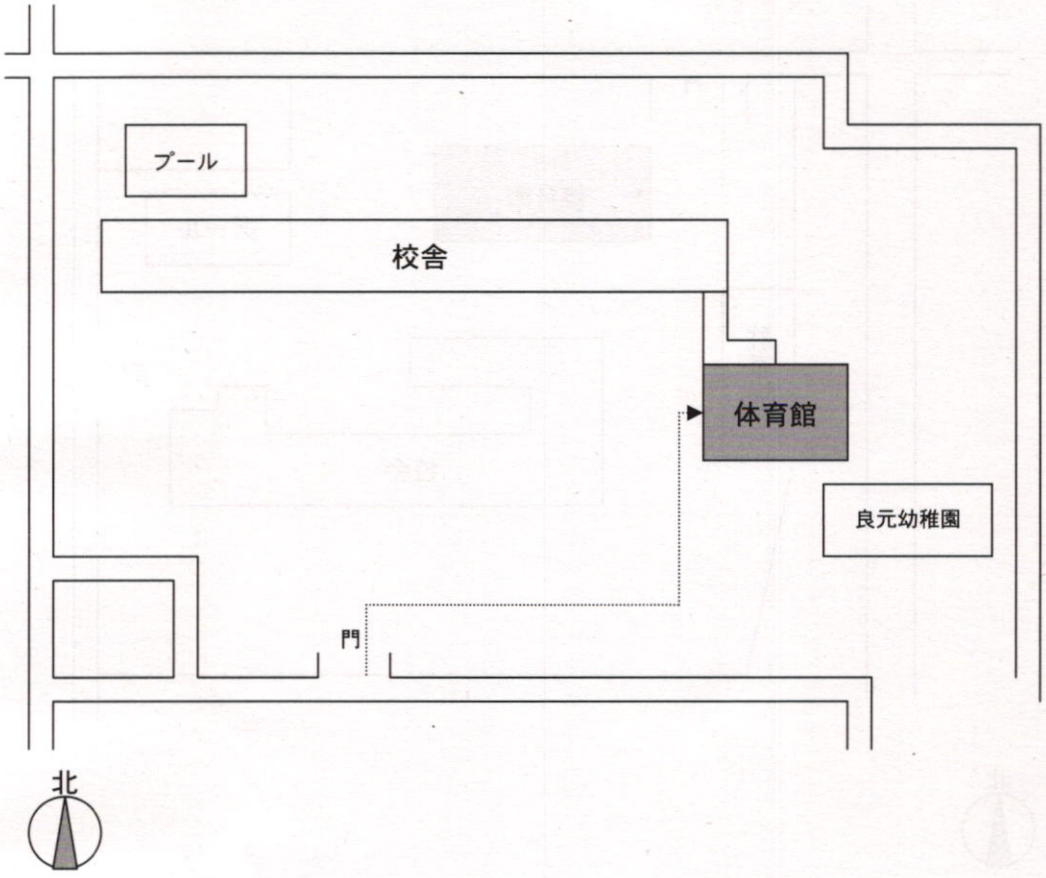




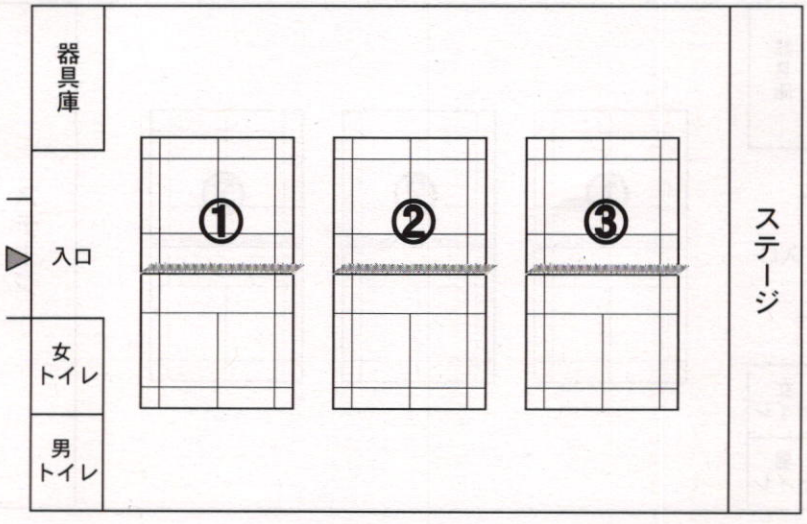
配置図



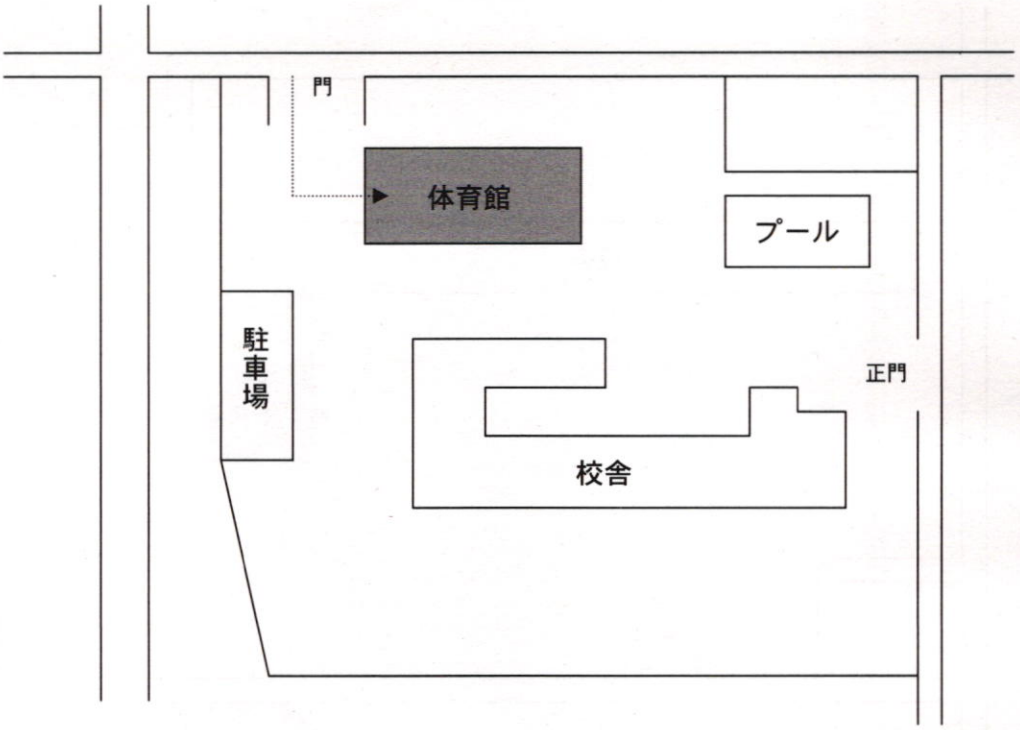
第７練習会場（宝塚市立良元小学校）



配置図

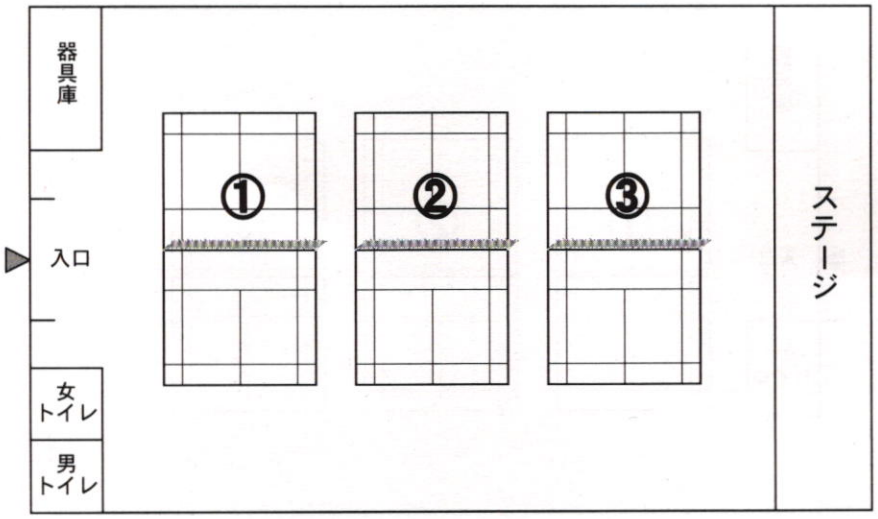


第８練習会場（宝塚市立光明小学校）

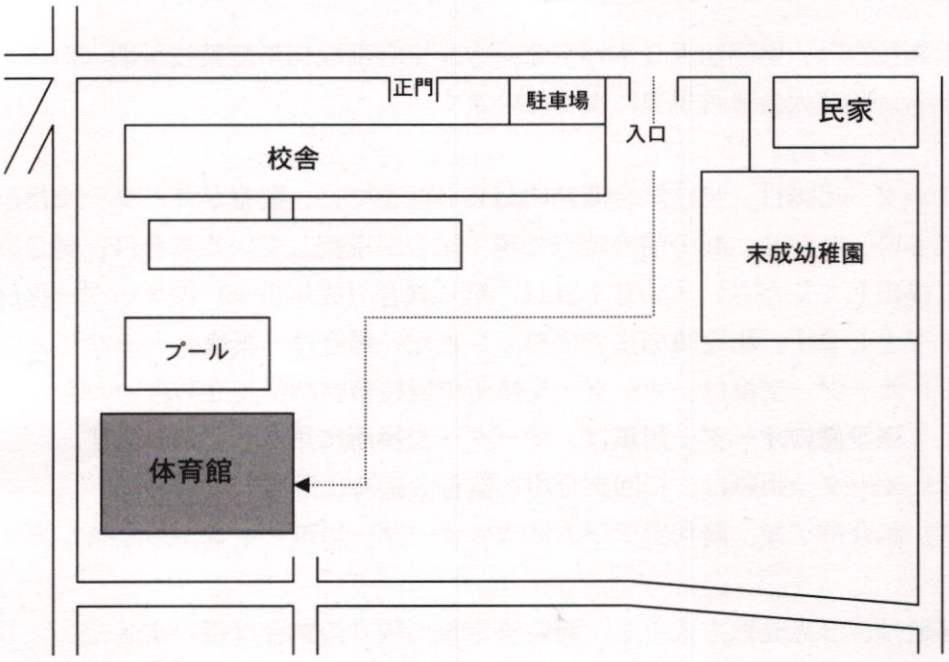




配置図

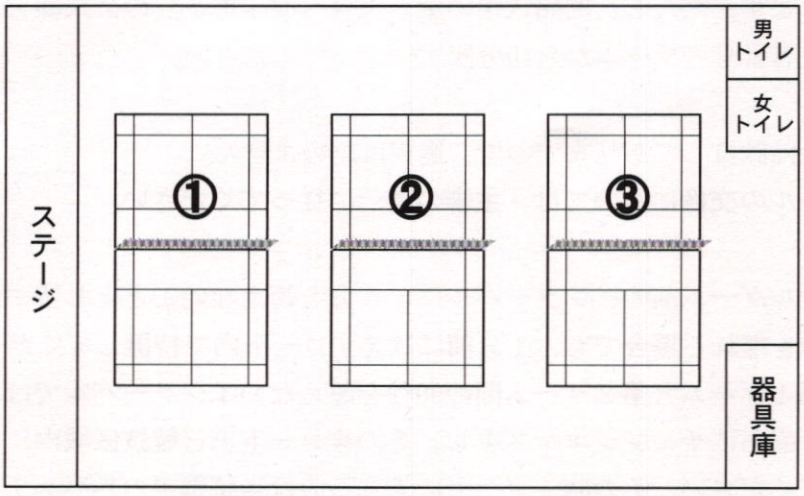


第９練習会場（宝塚市立末成小学校）





配置図



競　技　上　の　注　意

1　本競技会は、財団法人日本バドミントン協会平成18年度競技規則（旧スコアリングシステム）及び大会運営規程により行います。

2　オーダー用紙は、当該試合開始時刻45分前までに、監督がオーダー交換所へ提出してください。しかし、45分前の時点で現に試合が継続している場合は、試合終了後すみやかに提出してください。10月１日(日)第一試合（成年男子）のオーダー提出は、８時00分までとします。指定時刻までに提出されない場合は「棄権」とみなします。

（１）オーダー交換は、オーダー交換所で競技審判副部長立ち合いのもと行います。

※予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。

（２）オーダー用紙は、初回試合用を監督会議時に配布します。

（３）試合終了後、勝利者チームに次のオーダー用紙を主審から配布します。

3　勝敗は、２点先取方式とし、勝敗決定後の残りの試合は行いません。

4　監督・選手は、試合開始予定時刻20分前に選手集合所に集合して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。ただし、現に試合を継続している監督・選手は試合が終了次第選手集合所に集合して、招集委員の確認を受け指示に従ってください。この場合、前の試合が終了して15分後に次の試合を開始します。

5　コートへの入退場については、主審の指示に従ってください。

6　コート入場後の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームからとし、時間は３分間とします。ただし、開始式後の第一試合（成年男子）の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームから10分間ずつ行ってください。

7　シャトルは試打してありますので、選択は認めません。

※シャトルの交換については、主審の指示に従ってください。

8　ファイナルゲーム前のインターバルは、５分を超えないこととしますが、競技区域内及びベンチを離れる場合でも、１分前には必ずコート内で待機してください。

また、第１ゲームと第２ゲーム間の90秒を超えないインターバルでは、第１ゲームが終了したら直ちにチェンジエンズをし、その後コート上（競技区域内）にてインターバルを取ってください。その時、コートに入れるのは当該選手の外ベンチ入りしている２人までとします。「20秒」のコールがなされたら、選手以外の方は速やかにコートから離れてください。

9　同一選手による連続試合の場合は、ウエアの着替えのみ認めますが、その場合は必ず主審に申し出てください。

10　試合が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。
※第２シングルス戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了して10分後に開始します。

11　試合進行の都合により、コートを変更する場合があります。

12　試合中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、通常、医師の他、必要と認められる競技役員に限られています。

13　競技に際しては、上衣の背面中央に必ず都道府県名のみを明示（文字は、明瞭な漢字）してください。
　また、試合前の練習を含め、ベンチに控えている際にも都道府県名の分かるジャージ又は、ウエアを着用してください。

14　水分の補給については、主審の指示に従ってください。
（１）蓋付のボトルのみ使用を許可します。
（２）ボトル入れを用意しますので、給水ボトルは必ずその中に入れてください。

15　各試合（ダブルス又は、シングルス）終了時には、勝敗に関係なく、主審及びサービスジャッジと握手することを心がけてください。

16　競技場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。

17　その他、競技実施要項を遵守してください。

審　判　上　の　注　意

1　審判員は、財団法人日本バドミントン協会平成18年度の競技規則（旧スコアリングシステム）及び公認審判員規程にのっとり厳正に競技を運営する。

2　競技規則の第９条（サービス）、第13条（フォルト）、第16条（プレーの継続、不品行な振舞い、罰則）については、厳正に判定する。

3　プレーヤーは、どんな事があっても、体力や息切れを回復できるように、プレーを遅らせてはならない。〔第16条第４項〕
　ラケットの破損、ストリングスの切断等のためラケットを交換する場合、あるいは、靴の紐を締め変える場合などは、主審の許可を得て指示に従わなければならない。

4　プレーヤーは、第16条第２項のインターバル、第16条第３項のプレーの中断を除き、マッチ（試合）が終了するまで助言を受けてはならない。〔第16条第５項(1)〕
　監督・選手などから、プレー中の選手（プレーヤー）に対して、助言・指導することは認められない。

5　プレーヤーは、第16条第２項の５分を超えないインターバルを除き、マッチ（試合）が終了するまで、主審の許可なしにコートを離れてはならない。〔第16条第５項(2)〕
　試合中、プレーヤーが汗拭きやそれに伴う水分補給などのため、プレーが中断しない範囲内でコートを離れる場合でも、主審の許可を得なければならない。

6　競技の品位を保つため、色付着衣を使用する場合は、財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とする。〔大会運営規程第19条〕

7　全てのマッチ(試合)の第１ゲームと第２ゲームの間のインターバルは、90秒を超えないこととする。第１ゲーム終了後、直ちにチェンジエンズを行う。
　なお、チェンジエンズを終了後コートを離れてはならない。もし、コートを離れる場合は、主審の許可を得なければならない。

8　プレーヤーが競技規則第16条第４・５・６項に違反した場合、主審は違反したサイドのプレーヤーに警告し、さらに繰り返した場合はフォルトを宣告する。目に余る不品行な振舞いをしたり、また、それを続けた場合には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長に報告する。

9　審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することができる。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはならない。

昼食弁当の斡旋について

1　斡旋期間

平成18年10月１日(日)～10月４日(水)まで

2　弁当料金

１個　９４５円（消費税込み、お茶付き）

3　申込み方法

●競技２日目以降（10月２日～４日分）の弁当申込み方法

所定の申込書に必要事項を記入の上、代金を添え、弁当必要とする日の前日午前11時～最終試合終了後30分後もしくは午後６時のどちらか早い時間までに各競技会場弁当引換所へ申込みください。なお、競技初日(10月１日分)の弁当申込は別途斡旋済みです。

※　申込み後の変更・取消はできません。また、宿舎でのお弁当の申込みは取り扱っておりませんのでご注意ください。

4　弁当引換方法

各競技会場の弁当引換所にて、弁当引換券と引き換えに弁当を受け取ってください。なお、申込みされた引換日・引換所以外での引き換えはできません。

弁当引換時間は、午前11時～午後１時までです。

5　そ の 他

（1）食中毒防止のため、弁当はお早めにお召し上がりください。

（2）弁当ガラは割り箸、お茶容器と分別し、弁当引換所に返却ください。

（3）弁当引換券及び弁当代金領収書の再発行はいたしません。

医 療 救 護 に つ い て

1　傷病者が発生したとき

（1）競技会場で傷病又は発病したとき

ア　競技会場には、救護所を設置しています。競技会場の医事係に申し出てください。

イ　救護所は、「看板」等により、所在を示してあります。

（2）練習会場で傷病又は発病したとき

練習会場には、救護薬品を備えておりますので、傷病者が発生した場合には、練習会場係員に申し出てください。

（3）宿舎で傷病又は発病したとき

直接宿舎に申し出て、医療機関の紹介をしてもらうか、緊急な場合は、救急車の手配を依頼してください。なお、医療機関に移送する場合、チーム関係者が必ず同行してください。

2　治療の受け方

（1）救護所では、応急処置及び軽易な手当を行います。傷病者を医療機関に移送する必要がある場合、救急車等で移送します。移送の場合は、チーム関係者が必ず同行してください。

（2）救護所から移送により医療機関で治療される場合は、救護所で交付する「処置記録兼診療依頼書」及び「健康保険証」を医療機関に提示してください。なお、実際に医者の診察治療を受ける際には、必ず**「のじぎく兵庫国体出場選手です」**と告げてください。

（3）宿舎において傷病又は発病をし、医療機関で治療を受ける場合は、チーム関係者が同行のうえ「健康保険証」を提示してください。

3　医療費の負担

（1）救護所で行う応急処置及び軽易な手当並びに救急車の利用に要する費用は無料です。

（2）医療機関で治療を受けた費用は受診者の負担となりますので、「健康保険証」を必ず持参してください。「健康保険証」を提示しなかった場合は、医療費の全額が受給者の負担となります。

※　個人情報の取り扱いについて

「処置記録兼診療依頼書」（第１号様式）は人の生命、身体の保護のために必要な場合に使用します。なお、国体終了後「処置記録兼診療依頼書」（第１号様式）をもとに傷病者の統計を行い実績報告書に掲載します。ただし、個人を特定できるものではありません。

輸　送　に　つ　い　て

大会期間中の選手・監督、役員等の輸送計画については、バス・電車・タクシー・徒歩による方法となっています。なお、宿舎と競技会場・練習会場間の移動については、タクシー輸送のため、都道府県単位で「タクシー乗車券」の配布を予定しています。

競技日によって異なりますのでご注意下さい。

＜輸送方法＞

【１０／１】

○宿舎→競技会場	成年男子、成年女子、少年女子	(バス輸送)
	少年男子	(徒歩)
○競技会場→宿舎	成年男子	(タクシー・電車)
	成年女子・少年女子	(タクシー)
○競技会場→練習会場	(徒歩圏内は除く)	(タクシー)
	成年男子・成年女子・少年男子	
	少年女子	

※　スポーツセンター内にタクシー申し込み所を設置し、タクシー乗車券及び阪急電車乗車券を発券します。

【１０／２以降】

○試合があるチームに、宿舎と競技会場との往復のタクシー乗車券等を発券します。
（前日、タクシー申し込み所で発行します。）

○宿舎←→競技会場	成年男子	(タクシー・電車)
	成年女子・少年女子	(タクシー)

※　２日目以降の練習会場は、全て徒歩圏内となります。

＜タクシー配車の予約方法＞

○宿舎から申し込むとき　→　直接電話で申し込んでください。
○競技会場から申し込むとき　→　タクシー申し込み所に申し込んでください。
○練習会場から申し込むとき　→　練習会場係員に申し込んでください。

競技会関係電話番号一覧表

【宝塚市立総合体育館】

名　　称	場　　所	電　話　番　号	
実　施　本　部	宝塚市小浜１丁目１－11	ＴＥＬ	（０７９７）８７－９６７７
競技・記録本部	宝塚市小浜１丁目１－11	ＴＥＬ	（０７９７）８７－２９１３
		ＦＡＸ	（０７９７）８７－３１２８

【練習会場】

名　　称	場　　所	電　話　番　号	
第１練習会場 宝塚市立末広体育館	宝塚市末広町３－77	係員 携帯	０８０－３０５９－２４１２
第２練習会場 宝塚市立小浜小学校体育館	宝塚市小浜４丁目７－10	係員 携帯	０８０－３８８２－４８６８
第３練習会場 宝塚市立末広小学校体育館	宝塚市末広町３－１	係員 携帯	０８０－３８８５－４５６１
第４練習会場 宝塚市立美座小学校体育館	宝塚市美座２丁目６－１	係員 携帯	０８０－３８８６－２６４０
第５練習会場 宝塚市立宝塚第一小学校体育館	宝塚市野上１丁目３－35	係員 携帯	０９０－１３３１－０２６５
第６練習会場 宝塚市立宝塚小学校体育館	宝塚市川面１丁目７－34	係員 携帯	０９０－１３３３－２９０３
第７練習会場 宝塚市立良元小学校体育館	宝塚市小林５丁目２－42	係員 携帯	０９０－１３５２－０３８０
第８練習会場 宝塚市立光明小学校体育館	宝塚市光明町８－40	係員 携帯	０９０－６４０３－６４５２
第９練習会場 宝塚市立末成小学校体育館	宝塚市末成町１－１	係員 携帯	０９０－６４１５－０８７１

【タクシー】

名　　称	場　　所	電　話　・　ＦＡＸ	
阪急タクシー	宝塚市旭町３丁目23－18	電　話	０７９７－８６－４６８８
		ＦＡＸ	０７９７－８４－２５５５
全但タクシー	尼崎市東難波町５丁目６－５	電　話	０６－６４８８－８１００
		ＦＡＸ	０６－６４８８－８１５５

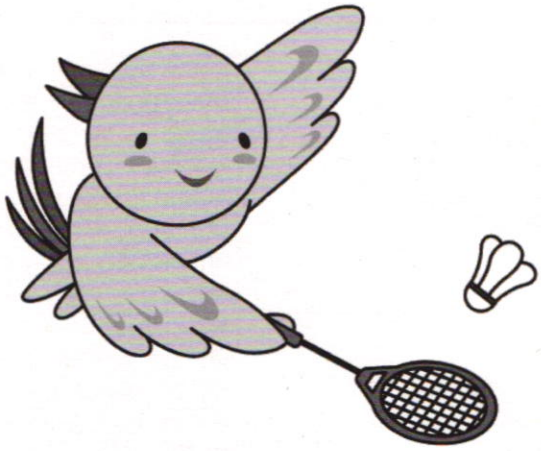
㈶日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧

㈶日本体育協会・文部科学省宿舎

団体名	宿舎名	所在地	電話番号
㈶日本体育協会	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	神戸市中央区波止場町5-6	078-325-8111
文部科学省	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	神戸市中央区波止場町5-6	078-325-8111

都道府県本部宿舎

No.	都道府県名	宿舎名	所在地	電話番号
1	北海道	ホテルモントレアマリー	神戸市中央区中山手通2-2-28	078-334-1711
2	青森県	ホテルオークラ神戸	神戸市中央区波止場町2-1	078-333-0111
3	岩手県	新神戸オリエンタルホテル	神戸市中央区北野町１丁目	078-291-1121
4	宮城県	ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド	神戸市中央区東川崎町1-3-5	078-360-1111
5	秋田県	ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド	神戸市中央区東川崎町1-3-5	078-360-1111
6	山形県	ホテルトアロード	神戸市中央区中山手通3-1-19	078-391-6691
7	福島県	神戸ポートピアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111
8	茨城県	神戸ポートピアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111
9	栃木県	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	神戸市中央区波止場町5-6	078-325-8111
10	群馬県	神戸プラザホテル	神戸市中央区元町通1-13-12	078-332-1141
11	埼玉県	新神戸オリエンタルホテル	神戸市中央区北野町１丁目	078-291-1121
12	千葉県	ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド	神戸市中央区東川崎町1-3-5	078-360-1111
13	東京都	ザ・ビー神戸	神戸市中央区下山手通2-11-5	078-333-4880
14	神奈川県	ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド	神戸市中央区東川崎町1-3-5	078-360-1111
15	山梨県	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	神戸市中央区波止場町5-6	078-325-8111
16	新潟県	三宮ターミナルホテル	神戸市中央区雲井通8-1-2	078-291-0001
17	長野県	神戸プラザホテル	神戸市中央区元町通1-13-12	078-332-1141
18	富山県	ザ・ビー神戸	神戸市中央区下山手通2-11-5	078-333-4880
19	石川県	神戸ポートピアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111
20	福井県	神戸ポートピアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111
21	静岡県	新神戸オリエンタルホテル	神戸市中央区北野町１丁目	078-291-1121
22	愛知県	ザ・ビー神戸	神戸市中央区下山手通2-11-5	078-333-4880
23	三重県	ホテルオークラ神戸	神戸市中央区波止場町2-1	078-333-0111
24	岐阜県	ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド	神戸市中央区東川崎町1-3-5	078-360-1111
25	滋賀県	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	神戸市中央区波止場町5-6	078-325-8111
26	京都府	ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド	神戸市中央区東川崎町1-3-5	078-360-1111
27	大阪府	神戸東急イン	神戸市中央区雲井通6-1-5	078-291-0109
28	兵庫県	神戸東急イン	神戸市中央区雲井通6-1-5	078-291-0109
29	奈良県	神戸プラザホテル	神戸市中央区元町通1-13-12	078-332-1141
30	和歌山県	神戸ポートピアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111
31	鳥取県	新神戸オリエンタルホテル	神戸市中央区北野町１丁目	078-291-1121
32	島根県	ホテルオークラ神戸	神戸市中央区波止場町2-1	078-333-0111
33	岡山県	ホテルオークラ神戸	神戸市中央区波止場町2-1	078-333-0111
34	広島県	新神戸オリエンタルホテル	神戸市中央区北野町１丁目	078-291-1121
35	山口県	ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド	神戸市中央区東川崎町1-3-5	078-360-1111
36	香川県	ザ・ビー神戸	神戸市中央区下山手通2-11-5	078-333-4880
37	徳島県	新神戸オリエンタルホテル	神戸市中央区北野町１丁目	078-291-1121
38	愛媛県	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	神戸市中央区波止場町5-6	078-325-8111
39	高知県	ホテルオークラ神戸	神戸市中央区波止場町2-1	078-333-0111
40	福岡県	サンメンバーズ神戸	神戸市中央区熊内町4-13-21	078-251-1381
41	佐賀県	ザ・ビー神戸	神戸市中央区下山手通2-11-5	078-333-4880
42	長崎県	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	神戸市中央区波止場町5-6	078-325-8111
43	熊本県	ホテルトアロード	神戸市中央区中山手通3-1-19	078-391-6691
44	大分県	三宮ターミナルホテル	神戸市中央区雲井通8-1-2	078-291-0001
45	宮崎県	ホテルモントレアマリー	神戸市中央区中山手通2-2-28	078-334-1711
46	鹿児島県	神戸ポートピアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111
47	沖縄県	ザ・ビー神戸	神戸市中央区下山手通2-11-5	078-333-4880



競技結果をインターネットで速報します

http://www.kirokukensaku.com/habatan2006/

携帯サイトでも競技結果を速報します

http://www.keitai.kyogikekka.com/habatan2006/

来年は

秋田わか杉国体

でお会いしましょう

祝

のじぎく兵庫国体
第６１回国民体育大会バドミントン競技

選手の皆さんの
素晴らしいプレーを期待します！

兵庫県選手団頑張れ！！

兵庫県バドミントン協会

会　長　　北　　義一

理事長　　瀬川　　欽也

祝

第61回国民体育大会
バドミントン競技

選手の皆様の
ご健闘をお祈りいたします。

『個性を尊重し、自由自立の精神を養う』



文学部／日本語日本文学科、英語英米文学科、
社会学科、人間科学科、歴史文化学科

理工学部／物理学科、生物学科、
機能分子化学科
情報システム工学科

経済学部／経済学科

法学部／法学科

経営学部／経営学科

EBA総合コース

甲南大学

〒６５８－８５０１　神戸市東灘区岡本８丁目９番１号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０７８－４３１－４３４１（代表）
ホームページ　http://www.konan-u.ac.jp/

BRIDGESTONE



ハイテンション対応競技者モデル　26ポンドまで対応

BX-1000

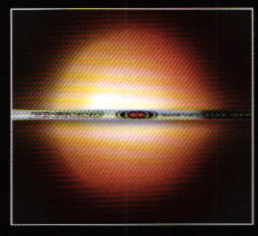
XRABX1（専用ソフトケース付）　価格/¥18,900（本体¥18,000）　中厚フレーム　*ビーエックス-1000*

ハードヒットに耐えられる面安定性を高めた攻撃型モデル。665mmのダブルスプレーヤー向け。

サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm^2）/346 ● フェース背幅（最大幅・mm）/13.0 ● ラケット長（mm）/665
適正テンション（ポンド）/19～23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・ニッケルチタン

ONE WAY FLEX SHAFT
ワンウェイフレックスシャフト

独自のシャフト製法技術で、シャフトのしなる方向とトルクをコントロール。打球方向にはしなり、打球に直角方向へのしなり・トルクは抑制することで、スウィングパワーの伝達とコントロール性を両立します。





» 26ポンドまで対応　中厚フレーム

BX-1000 LONG

ビーエックス-1000　ロング

ハードヒットに耐えられる面安定性を高めた攻撃型モデル。675mmのシングルスプレーヤー向け。

XRABX2（専用ソフトケース付）
価格/¥18,900（本体¥18,000）
サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm^2）/346 ● フェース背幅（最大幅・mm）/13.0 ● ラケット長（mm）/675 ● 適正テンション（ポンド）/19～23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・ニッケルチタン



» 26ポンドまで対応　ノーマル厚フレーム

BX-2000

ビーエックス-2000

シャープな振り抜き感で操作性・コントロール性を重視したダブルスプレーヤー向け。

XRABX3（専用ソフトケース付）
価格/¥16,800（本体¥16,000）
サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm^2）/346 ● フェース背幅（最大幅・mm）/11.0 ● ラケット長（mm）/665 ● 適正テンション（ポンド）/19～23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・チタンメッシュ



» 26ポンドまで対応　ノーマル厚フレーム

BX-2000 LONG

ビーエックス-2000　ロング

シャープな振り抜き感でコントロール性を重視したシングルスプレーヤー向け。

XRABX4（専用ソフトケース付）
価格/¥16,800（本体¥16,000）
サイズ/3U5,3U4 ● フェース面積（cm^2）/346 ● フェース背幅（最大幅・mm）/11.0 ● ラケット長（mm）/675 ● 適正テンション（ポンド）/19～23 ● 素材/ハイモジュラスカーボン・タングステンラバー・チタンメッシュ

PASSION for EXCELLENCE

お問い合わせはお客様相談室 0120-116613　ホームページのアドレスはhttp://www.bs-tennis.com

ブリヂストンスポーツ株式会社



PROFESSIONAL PERFORMANCE with MMOA

驚異の 88ホールシステム！誕生 !!



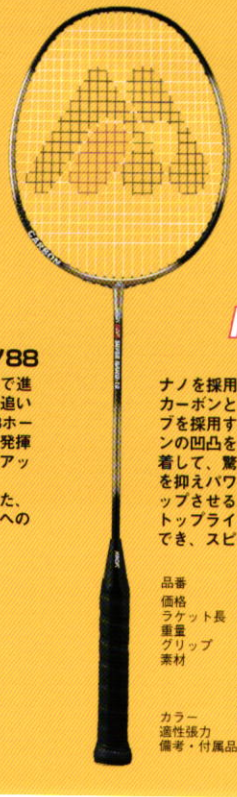
NEW

スーパーナノ88

ナノテクノロジーによりラケットがここまで進化しさらなるプレーのスピード化に対応し追い抜く為のこの1本。既存の72ホールから88ホールにすることにより、驚くほどの反発力を発揮し、すべてのショットにさらなるスピードアップが望めます。
ボディー強度も変わらずに耐久性抜群。また、ストリングが重ならない設計でストリングへのダメージを軽減！

品番	MBR-88
価格	￥27,300（本体￥26,000）
ラケット長	675mm（10mmロング）
重量	88g（±2g）
グリップ	UL-2
素材	ナノカーボンチューブ+ ハイモジュラスグラファイトフレーム ナノカーボンチューブ+ ハイモジュラスグラファイトシャフト
カラー	ホワイト x ブラック
適性張力	18〜25ポンド
備考・付属品等	ソフトケース付き

10億分の1が生み出す スピードスマッシュ !!



NEW

スーパーナノ10

ナノを採用したＮｅｗテクノロジーラケット。
カーボンとカーボンの間にナノカーボンチューブを採用することにより、目に見えないカーボンの凹凸を埋め、カーボンとカーボンがより密着して、驚くほどに剛性が高まり、ブレや振動を抑えパワーロスを軽減しラケットの性能をアップさせる。
トップライト設計でシャープな振り抜きを実感でき、スピードスマッシュを生み出す。

品番	MBR-10
価格	￥25,200（本体￥24,000）
ラケット長	675mm（10mmロング）
重量	84g（±2g）
グリップ	UL-2
素材	ナノカーボンチューブ+ ハイモジュラスグラファイトフレーム ナノカーボンチューブ+ ハイモジュラスグラファイトシャフト
カラー	ゴールド x ブラック
適性張力	18〜25ポンド
備考・付属品等	ソフトケース付き

超高弾性ウーブンカーボンで ベストショット連発 !!



NEW

ウーブンカーボン100

超高弾性のウーブンカーボンを採用し、ラケット全体の剛性を高めると共に、硬めのシャフトで高反発を生み出し、フレームはスピード＆ハードなプレーにも即座に対応できる様に、ねじれやブレにも強く高い安定性をキープし、コントロール性も抜群！強度・軽量・柔軟性の三拍子を極めたハードヒッターモデル！。

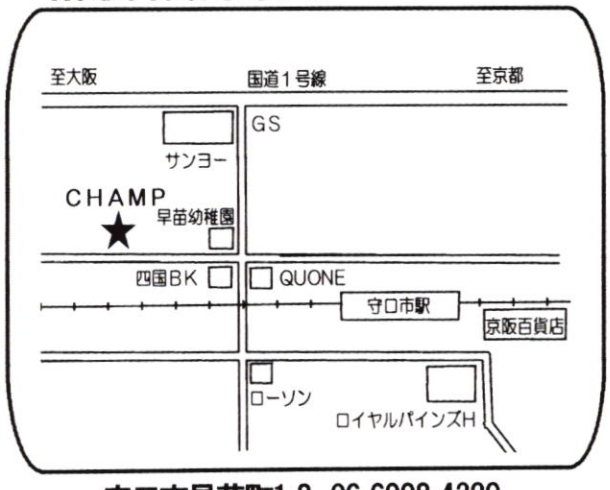
品番	MBR-100
価格	￥24,150（本体￥23,000）
ラケット長	675mm（10mmロング）
重量	83.5g（±2g）
グリップ	UL-2
素材	ウーブンカーボン+ ハイモジュラスグラファイトフレーム ウーブンカーボン+ ハイモジュラスグラファイトシャフト
カラー	ブラック
適性張力	18〜25ポンド
備考・付属品等	ソフトケース付き

MMOA JAPAN CO., LTD.
モア・ジャパン株式会社
TEL. 045-730-0495 FAX. 045-743-0392
www.badminton.co.jp



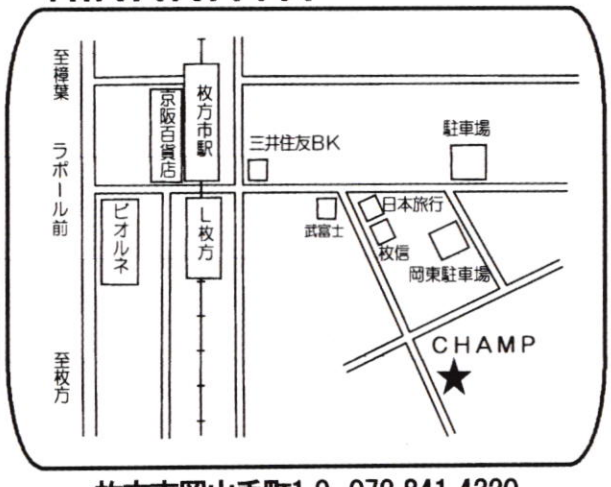
BADMINTON PRO SHOP
CHAMP

MORIGUCHI



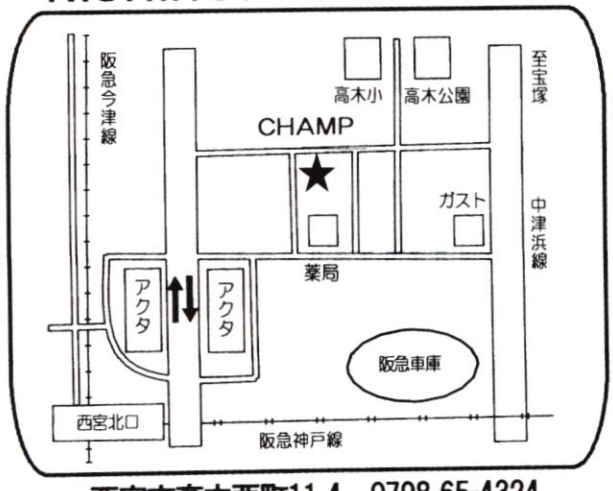
守口市早苗町1-8　06-6998-4320
（京阪守口市駅から徒歩1分）

HIRAKATA



枚方市岡山手町1-9　072-841-4320
（京阪枚方市駅から徒歩3分）

NISHINOMIYA



西宮市高木西町11-4　0798-65-4324
（阪急西宮北口駅から徒歩4分）

SANNOMIYA



神戸市中央区旭通5-1-8　078-251-4320
（ＪＲ三宮駅から徒歩3分）

祝

のじぎく兵庫国体
第６１回国民体育大会バドミントン競技

ふるさとの名誉のために
素晴らしいプレーを！！

選手諸君のご活躍を心より
お祈り申し上げます

関西学院大学体育会バドミントン部 OB・OG 会

名誉会長　大圃秀生
会　長　米倉彦次
監　督　加藤彰

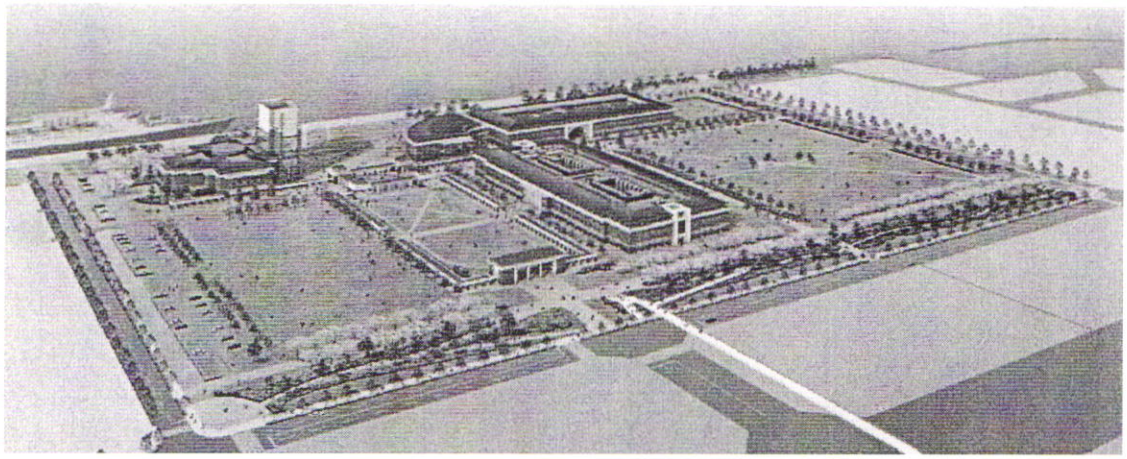
祝

第61回 国民体育大会 バドミントン競技

選手の皆様の御健闘を心より祈念いたします

神戸学院大学

2007年4月 ポートアイランド新キャンパス開設



７学部を擁する総合大学として「知の創造」「知の交流」「知の発信」を実践する本学は、２００７年４月にポートアイランド新キャンパスを開設します。敷地面積は有瀬キャンパスとほぼ同様の約14万平方メートル。郊外に立地した大学が都市部へキャンパスを移転することは画期的なことで、都市共生型キャンパスとして新たなモデル構築に内外から期待が寄せられています。
新キャンパスでは法学部、経済学部、経営学部の3、4年次生と薬学部の２年次生以上が学びます。これまで以上に教育・研究の両面において、神戸市や地域の企業との連携を推進することで実践的な学びを実現したいと考えています。

■法学部	法律学科
■経済学部	経済学科・国際経済学科
■経営学部	経営学科
■人文学部	人文学科・人間心理学科
■総合リハビリテーション学部	医療リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） 社会リハビリテーション学科
■栄養学部	栄養学科
■薬学部	薬学科〔6年制〕
●大学院	法学研究科・経済学研究科・人間文化学研究科・栄養学研究科・ 薬学研究科・食品薬品総合科学研究科
●法科大学院	

〔問い合わせ先〕神戸学院大学　入学センター
〒651-2180　神戸市西区伊川谷町有瀬518
TEL(078)974-1972(直通)　FAX(078)976-7294
e-mail　nyushi@j.kobegakuin.ac.jp
インターネットホームページ　http://www.kobegakuin.ac.jp/

観光は21世紀の基幹産業。
国際都市・神戸で「観光文化」を学ぶ。

君たちは第一期生！

平成19年4月、神戸ポートアイランドに、
神戸夙川学院大学 観光文化学部 開学。

男女共学
四年制



アクセス
JR神戸線「三ノ宮」駅、
阪急・阪神・神戸市営地下鉄「三宮」駅より
ポートライナーに乗換え、「市民病院前」駅下車、
徒歩8分。（三宮から約20分）

お問い合わせは
学校法人夙川学院 大学設置準備室 〒662-0027 兵庫県西宮市神園町2番20号 TEL.0798-75-1781 0120-007-816〈受験生専用〉
神戸夙川学院大学インフォメーションセンター（神戸国際会館13階） TEL.078-222-1182

KS GU
KOBE SHUKUGAWA GAKUIN UNIVERSITY

神戸夙川学院大学

建設予定地：神戸市中央区港島1丁目3番11 （認可申請中）
www.kobeshukugawa.ac.jp

［学校法人夙川学院］ 神戸夙川学院大学（認可申請中）／夙川学院短期大学／夙川学院高等学校／夙川学院中学校／夙川学院短期大学付属幼稚園

祝

のじぎく兵庫国体

第６１回国民体育大会バドミントン競技

選手の皆様の御健闘を祈ります！

兵庫県高等学校体育連盟バドミントン専門部

部長	増谷　和人
委員長	藤本　和幸

兵庫県中学校体育連盟バドミントン競技部

部長	井奥　惠一
委員長	栃下　勝彦

兵庫県小学生バドミントン連盟

会長	大前　繁雄
理事長	松尾　将身

兵庫県教職員バドミントン連盟

会長	平林　弘嗣
理事長	戸井　孝

兵庫県学生バドミントン連盟

会長	藤川　清史
委員長	田中　歩

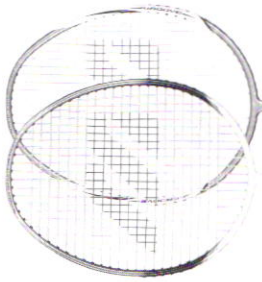


新次元プレーを実現する、カーボンナノチューブシリーズ。



コントロールの GP-7
7TB-60327 ¥18,900(本体¥18,000)

技の GP-8 NEW
7TB-60201 ¥19,950(本体¥19,000)



パワーの GP-9
7TB-50004 ¥19,950(本体¥19,000)

連続攻撃の GP-10 NEW
7TB-60109 ¥21,000(本体¥20,000)

● 記載価格は、消費税込みのメーカー希望小売価格です。( )内は消費税抜き本体価格です。● www.mizuno.co.jp ● 0120-320-799

祝

第６１回
のじぎく兵庫国体バドミントン競技会

ようこそ
のじぎく兵庫国体へ！

兵庫県実業団バドミントン連盟

会　長　北　義一
理事長　境　良治

祝

第61回
のじぎく兵庫国体バドミントン競技会

選手の皆様の
御健闘を祈ります！

兵庫県レディースバドミントン連盟

会　長　平方　昌子
理事長　宿里　和江

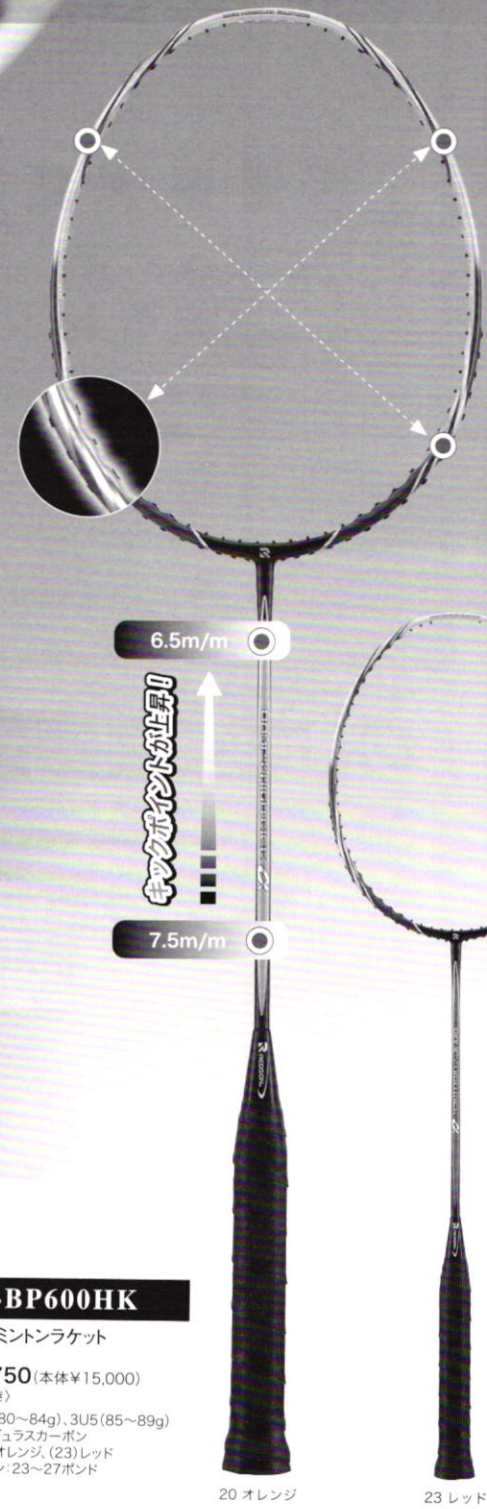
REDSON

BUMPY HIGH KICKα

レッドソンバンピーハイキックアルファ NEW

振り抜きの良さを徹底追及!

違いがわかる ハイテンション&ハイキック!



バンピーαフレーム

●四角を中心にバンピー形状にすることにより、フレーム内側のリンクルをなくし変形や破損を少なくし、高強度・高反発を生むBUMPY(凹凸)システム。PTA

ハイキックシャフト

●7.5m/m~6.5m/mのハイキックシャフト(PTA)を完成。(ジョイントに近づくにつれて1m/m細くなる。)スマッシュ時にベストのタイミングでヒッティングができる。

RB-BP600HK

バドミントンラケット

価格¥15,750(本体¥15,000)
〈ソフトケース付き〉

- サイズ:4U5(80~84g)、3U5(85~89g)
- 素材:ハイモジュラスカーボン
- カラー:(20)オレンジ、(23)レッド
- 適正テンション:23~27ポンド
- 中国製

20 オレンジ

23 レッド

スポーツ&レジャー用品総合商社

ヒロウン株式会社

本社・大阪店 PHONE(06)6945-3939(代)
東京店 PHONE(03)3632-3939(代)
広島店 PHONE(082)850-0303(代)
福岡店 PHONE(092)411-3939(代)
名古屋店 PHONE(052)563-3939(代)
仙台営業所 PHONE(022)238-3939(代)

祝

のじぎく兵庫国体
第６１回国民体育大会バドミントン競技

選手の皆さん
すばらしいプレーを期待します！

西宮市バドミントン協会

会　長　　中川　經夫
理事長　　服部　清彦

川西市バドミントン協会

会長兼
理事長　　的場　隆夫

尼崎バドミントン協会

会　長　　粟　　守
理事長　　高橋　　巖

芦屋バドミントン協会

会　長　　牧野　君代
理事長　　國廣　正則

伊丹バドミントン協会

会　長　　戸田　龍馬
理事長　　萬谷　吉男

「わたし」がはずむ 2つのコース

夢を広げる、個性を伸ばす。CAN DO SONODAの2つのコース。

特別進学コース

ハイレベルな教育ときめ細かな進路指導で、学力・応用力・未来力を着実に身につけます。

- 毎週月～金曜日は7時間、土曜日は3時間のカリキュラム。
- 夏期・春期の講習期間中には、2泊3日のレベルアップ合宿を実施。
- 全国模試等には積極的に挑戦、目先の順位よりも各自の「突破口探し」に活かす。
- 2年次秋に、カナダのバンクーバーで海外研修を実施。

→ 1・2年で基本は完了、3年の選択学習で国公立 難関私立大学にチャレンジ。

総合進学コース

多彩な進路に対応した柔軟なカリキュラムが特徴。自分の興味・関心を生かしつつ、それぞれの進路実現に向けて学習します。

1年 全員が同じカリキュラムで学習。7時間目は「特別講座」

2年・3年 文系 / 理系

- 国公立・私立大学
- 園田学園女子大学
  - ・未来デザイン学部
  - ・人間健康学部
  - ・短期大学部
- 各種専門学校
- 就 職

2007年度 入試説明会・オープンキャンパス　いずれも10：00~15：00

第1回目	第2回目	第3回目	第4回目
10月21日(土)	11月11日(土)	12月 2日(土)	12月16日(土)

園田学園高等学校

《併 設》
園田学園中学校
園田学園女子大学
未来デザイン学部/人間健康学部/短期大学部

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町1丁目24番16号
TEL 06-6428-2242 FAX 06-6428-0201 URL http://www.sonodagakuen.ed.jp
交通：阪急神戸線「塚口駅」から南へ徒歩5分・JR宝塚線「塚口駅」から西へ徒歩15分

創立１８９３年

日ノ本学園高等学校

夢を実現しませんか！

【普通科】
特進コース（文理系列・スポーツ系列）
クリエイトコース（教養・芸術・情報系）
健康体育コース（アスリートコース・エクスプローラーコース）
福祉コース
幼児教育進学コース

【音楽科】
声楽・器楽（ピアノ・管弦打楽器・電子楽器）

オープンキャンパス日程
・11/23(木・祝) オープンキャンパス 9:30~12:30
・12/ 9(土) オープンキャンパス 9:30~12:30
・12/16(土) 学校見学・説明会 9:30~11:30
・12/23(土・祝) オープンキャンパス 13:30~16:00

〒679-2151 姫路市香寺町香呂890
TEL 079−232−5578
HP http://www.hinomoto.ac.jp
（JR播但線香呂駅下車徒歩10分）

第61回のじぎく兵庫国体
バドミントン競技会を応援します。

WADA SPORTS

We present you something to enjoy sports
ワダスポーツ
TEL 079(274)3202 FAX 079(274)1264
E-mail wada-sp@mtb.biglobe.ne.jp
http://www.sports-nakama.com/pro-wada-sp/

時間（タイム）と（イズ）創造（マネー）
クオリティ時代の
プリンティング・メディア
を創造する。



有限会社望月印刷 〒652-0822 神戸市兵庫区西出町2丁目3-7 ☎（078）652-9001

Yamato

世界最高水準というプライド。

あらゆるニーズに対応できるのがYamatoです。



信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

本社／明石市茶園場町5番22号 〒673-8688 TEL 078-918-5511
支店／東京・名古屋　営業所／札幌・千葉・福岡
海外／アメリカ・カナダ・ドイツ・イギリス・韓国・中国

祝

のじぎく兵庫国体

第６１回国民体育大会バドミントン競技

がんばれ！兵庫県選手団

神戸村野工業高等学校

〒653-0003　兵庫県神戸市長田区五番町 8-5

TEL 078(575)0230　FAX 078(578)4402　(http://www.kobemurano-th.ed.jp/)

バドミントンショップ

K-five

（場所）　〒670-0804　姫路市保城176-3
（TEL&FAX）079-222-7364
（携帯電話）090-1133-9070
（Eメール）kei5.n@ezweb.ne.jp
（HP）http://www.kfive.jp
（定休日）　月曜日（営業時間）12：30～19：30
（最寄り駅）JR播但線野里駅（北東に徒歩5分

祝

第６１回国体『のじぎく兵庫国体』バドミントン競技

築野食品工業株式会社　宝塚工場

宝塚市末成町３８－３

TEL 0797-72-6524　Fax 0797-72-6549

コーチ・先生・指導者の皆さま必見！

世界最大級シャトル工場 RSLからの緊急のお知らせ！

RSL since 1928 ENGLAND THE WORLD'S FINEST SHUTTLECOCKS SINCE 1928

「シャトルよりも大切なものがある。」

よく笑い、よく泣き、よく食べ、よく眠り、よく走り、よくミスをし、よく空振りをし、よく転び、よく怒り、よく注意され、よく叱られ、よく遊び、よくアドバイスしあい、よく合宿をし、よくサボり、よく声を出し、よくくよくよし、よく食べ、よく食べ、よく食べ、いつも食べてばっかりだけど、よくバドミントンをし、よく顧問である私に一生懸命ついてきてくれる、素敵な仲間たちです。**いつもありがとう。そして、頑張れ!**

愛知県 O様

私は3年前から高校でバドミントンを教えています。
初めは指導者として全く自信が無く、「向いていないなぁ」と思っていました。しかし、2年間勤めた高校を転勤で去ることになったとき、生徒たちは涙を流しながら「先生にバドミントンを教えてもらってよかった」と言ってくれました。
でも、**本当は私のほうこそみんなに出会えてよかった。感謝しています。**

『ありがとう』

鳥取県 Y様

K先生へ
あんなに下手くそだった私たちを県の3位にまでもっていってくれて…。。。
本当にありがとうございました☆
たったの2年間で、中学最後の大会、ノーシードから県の3位にまで勝ち上げさせてくれて。
関東に行けなくて申し訳ないと思う程、私たちはK先生にとても感謝しています♪♪
先生は**『俺のお陰じゃなくて、お前らが頑張ったからだ』**と言ってくれました。けれどそれは、先生が私たちの学校に来てくれなきゃ、ここまで頑張れませんでした。。。(笑)
高校に行っても、バドミントンを続けたいと思います☆

神奈川県 H様

中学時代バドミントン顧問・H先生へ
6時過ぎまでかかった県新人戦・・・バドミントンを始めて2年目にして優勝できました。
その時の先生の涙、**試合後の先生の涙と「ありがとう」の言葉・・・今でも忘れません。**
大学に入学し、活躍しようと思います。
3年間ありがとうございました。

長崎県 M様

バドミントンにはドラマがある。

小学、中学と通ったクラブの監督は父です。あの頃がんばったおかげで、今の自分がいます。
だから「ありがとう」。

面と向かっては言ったことはありません、でも心の中は感謝でいっぱいです。

いまでは、私もクラブに手伝いにいってます。少しでも父の役にたてればと思っています。

宮城県 I様

主将Hへ
いつも主将を頑張ってくれてありがとう☆俺そして俺らが満足いく部活、バドミントンを出来てるのも君が頑張ってくれてるからだと思う。確かに問題は起こることもあるしこれからも起こると思う、でもそれを俺等で頑張って乗り越えていこうぜ!!!
まぁ、お前しか主将はできない、そうそしてお前は主将しか出来ない…**今まで本当にありがとう。そして、これからもありがとう♪**
主務と会計しかできないKより

東京都 K様

いつもお客様にRSLシャトルを特にオススメいただき、本当にありがとうございます。
今後も自社工場による世界最大のガチョウ原毛調達と生産で、世界レベルの品質安定に努めます!

RSL JAPAN LTD. 代表取締役 永吉泰典

ショップへ行こう!

RSLシャトルは、全国各地のバドミントン用品取扱店でお買い求めいただけます。

でも、世界レベルのシャトルで、あなたのチームの『ココロとカラダ』を確実に上のレベルに引き上げたくないですか？



クラシックターニー	¥4,410（本体価格¥4,200）	●日本バドミントン協会第1種検定合格球
NO.1ターニー	¥3,885（本体価格¥3,700）	●日本バドミントン協会第1種検定合格球
シルバーフェザー	¥3,150（本体価格¥3,000）	●日本バドミントン協会第2種検定合格球
パワー	¥2,625（本体価格¥2,500）	●競技練習球
エース	¥2,257（本体価格¥2,150）	●一般練習球
ファーストステップ プラス(+)	¥1,942（本体価格¥1,850）	●中高生以上練習球
ファーストステップ	¥1,680（本体価格¥1,600）	●ジュニア・クラブスクール練習球

RSL JAPAN LTD.（アール・エス・エル ジャパン） 〒542-0066 大阪市中央区瓦屋町2-3-1 tel.06-6765-9888 fax.06-6765-9910 URL.http://www.rsljapan.com

祝

のじぎく兵庫国体
第６１回国民体育大会バドミントン競技

選手のみなさまの御活躍を
心から応援いたします。

頑張れ！　兵庫県！！

兵庫県社会人クラブバドミントン連盟

会　長　　岸本　孝雄
副会長　　坂田　正美
副会長　　土井　彌一

事務局
〒651－1212　神戸市北区筑紫が丘6丁目3－21
TEL．FAX　（078）582－1224

理事長　　神谷　晴美

祝

第６１回国体『のじぎく兵庫国体』バドミントン競技

明石市バドミントン協会

会　長　　塚原　政義
理事長　　小川　雄一

祝

第６１回国民体育大会バドミントン競技

姫路バドミントン協会

会　長　　蔭山　敏明
理事長　　山口　善宣

祝

第61回
のじぎく兵庫国体バドミントン競技会

神戸市バドミントン協会

会　長　　吉田　昇
理事長　　藤江　久善

神戸市婦人バドミントン連盟

会　長　　原岡　かずえ

第６１回国民体育大会バドミントン競技の開催
おめでとうございます

宝塚

宝塚市国際観光協会

Takarazuka International
Tourism Association

会長　松　本　孝　一

〒665-8665　宝塚市東洋町１番１号
電話番号　　0797-77-2012(直通)

【観光案内所】

〒665-0845　宝塚市栄町２丁目３番１号　阪急宝塚駅２階
電 話 番 号　0797-81-5344
ホームページ　http://www.kanko-takarazuka.jp/
E－mail　info@kanko-takarazuka.jp

祝

第61回のじぎく兵庫国体　バドミントン競技会

SORIO
TAKARAZUKA

お買物、ご飲食は阪急宝塚駅前ソリオへ！！

ソリオ宝塚都市開発株式会社

TEL(0797)81－2812

祝
第61回『のじぎく兵庫国体』バドミントン競技

宝塚ホテル

〒665－0004　宝塚市梅野町1－46
TEL　0797－87－1151（代表）

宝塚温泉

ホテル若水

〒665-0003　兵庫県宝塚市湯本町9番25号
TEL（0797）86-0151　FAX（0797）86-2846
http://www.h-wakamizu.com/

宝塚チボリ

クアゾーン（3F/男女別お風呂）
●サウナ/ミストサウナ、ドライサウナ（低温、高温）
●冷水浴●飲泉●ローマ風呂（全身浴）
●かぶり湯●泡風呂●子供風呂
●天然ラドン風呂（源泉）●打たせ湯●交互湯
●うずまき風呂●すやすや風呂●圧注浴
●すわり風呂●露天風呂●薬師湯（源泉）●サンターン

グルメゾーン（4F）
●カラカラ大広間（和食、洋食、中華）●（グルメ街）
●寿司●おでん、天ぷら●喫茶●バーラウンジ
●炉ばた●焼肉●大・中・小宴会場

バーデンゾーン（1F/男女共用温水プール）
●バーデンプール（温泉多機能プール）
●スカイプール（屋外温泉多機能プール）、薬師湯（源泉）
●テルメプール（天然温泉、源泉）
●ピュアプール（白湯）●クールプール（冷水）
●ウォーターフォールプール（滝浴）
●サウナ/ドライサウナ（低温・高温）
ミストサウナ●箱蒸し
●サンターン●飲泉

アミューズメントゾーン（B1F）
娯楽室（ゲームコーナー）・休憩室・ショップ・自販機コーナー

美容と健康に……。
宝塚温泉・天然元湯
チボリ 天然温泉・クアリゾート カラカラテルメ
ホテルチボリ
☎0797-86-1111
〒665-0826 宝塚市弥生町358番地



祝

第61回 のじぎく兵庫国体
バドミントン競技会

選手の皆様の健闘をお祈りいたします。

仲間はいろいろ集います！　そんな生活(とき)に…

■お弁当　■お寿司　■サンドイッチ
■オードブル　■デザート　を　お届けします

お申込みは フリーダイヤル **0120-124377**

コッコロ　わらべの里　岡本食品(株)
宝塚市安倉南4-11-3　TEL 0797(86)2928　FAX 0797(87)0131

祝61回のじぎく兵庫国体

中央フードサービス(株)は、
のじぎく兵庫国体に
お弁当で応援しています！

Delivery Service

あったか～い配食サービス

宝塚市指定

おいしさと安心の③つのポイント

1 素材を生かした手づくりメニュー
2 低カロリー(糖尿病)食・減塩食・きざみ食・おかゆ食も個別に対応
3 昼食、夕食を通じて日々の食生活はおまかせ

・要介護・要支援の認定者の方
一食
540円 税込

介護食の他にも
行楽弁当など、
各種承ります。



お問合せ・お申し込み
セントラルグループ 中央フードサービス株式会社
宝塚配食センター
兵庫県宝塚市高松町16-7

フリーダイヤル〈AM9:00～PM7:00〉
0120-732-740
FAX0797-76-4402

私達は「のじぎく兵庫国体」を応援します！

（第61回兵庫国体プログラム広告協賛名）

ヨネックス株式会社
株式会社ゴーセン
有限会社アール・エス・エル ジャパン
ミズノ株式会社
モア・ジャパン株式会社
ヒロウン株式会社
ブリヂストンスポーツ株式会社
有限会社望月印刷
株式会社チボリ
岡本食品株式会社
ソリオ宝塚都市開発株式会社
宝塚市国際観光協会
チャンプ
築野（ツノ）食品工業株式会社 宝塚工場
神戸学院大学
甲南大学
関西学院大学体育会バドミントン部 OB・OG会
神戸夙川学院大学
日ノ本学園高等学校
園田学園高等学校
神戸村野工業高等学校
ホテル若水
宝塚ホテル
大和製衡株式会社
中央フードサービス（株）宝塚配食センター
ワダスポーツ
バドミントンショップ K−five
姫路バドミントン協会
神戸市バドミントン協会
神戸市婦人バドミントン連盟
明石市バドミントン協会
芦屋バドミントン協会
尼崎バドミントン協会
西宮市バドミントン協会
川西市バドミントン協会
伊丹バドミントン協会
兵庫県バドミントン協会
兵庫県社会人クラブバドミントン連盟
兵庫県レディースバドミントン連盟
兵庫県実業団バドミントン連盟
兵庫県高体連バドミントン部
兵庫県中体連バドミントン部
兵庫県小学生バドミントン連盟
兵庫県学生バドミントン連盟
兵庫県教職員バドミントン連盟

R2X

耐久25ポンド

その秘密はパワーレール



強靭ラケット R2X 登場!

新機能「パワーレール」を搭載したニューラケット「R2X」。
この新機能により、フレームの強度が大幅にアップ、高耐久ラケットの未来を切り拓くニューモデルの登場です。

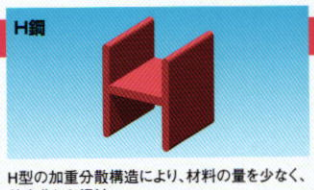


ホワイト(WH)　グレー(GR)

新機能「パワーレール」とは?

建築鋼材「H鋼」のように、フレーム内側に2本のレール状の突起構造を採用。そのためあらゆる角度からの負担に対し、フレームの強度が格段にアップしました。バドミントンラケットにおいては、電動マシーンでの25ポンド対応を初めて実現しました。高テンションを好む上級者待望のラケットです。

H鋼



H型の加重分散構造により、材料の量を少なく、効率化した鋼材。

パワーレール



H型構造に倣い、2本のレール状の凸構造にしたことにより、つぶれ、ねじれのない高耐久を実現。

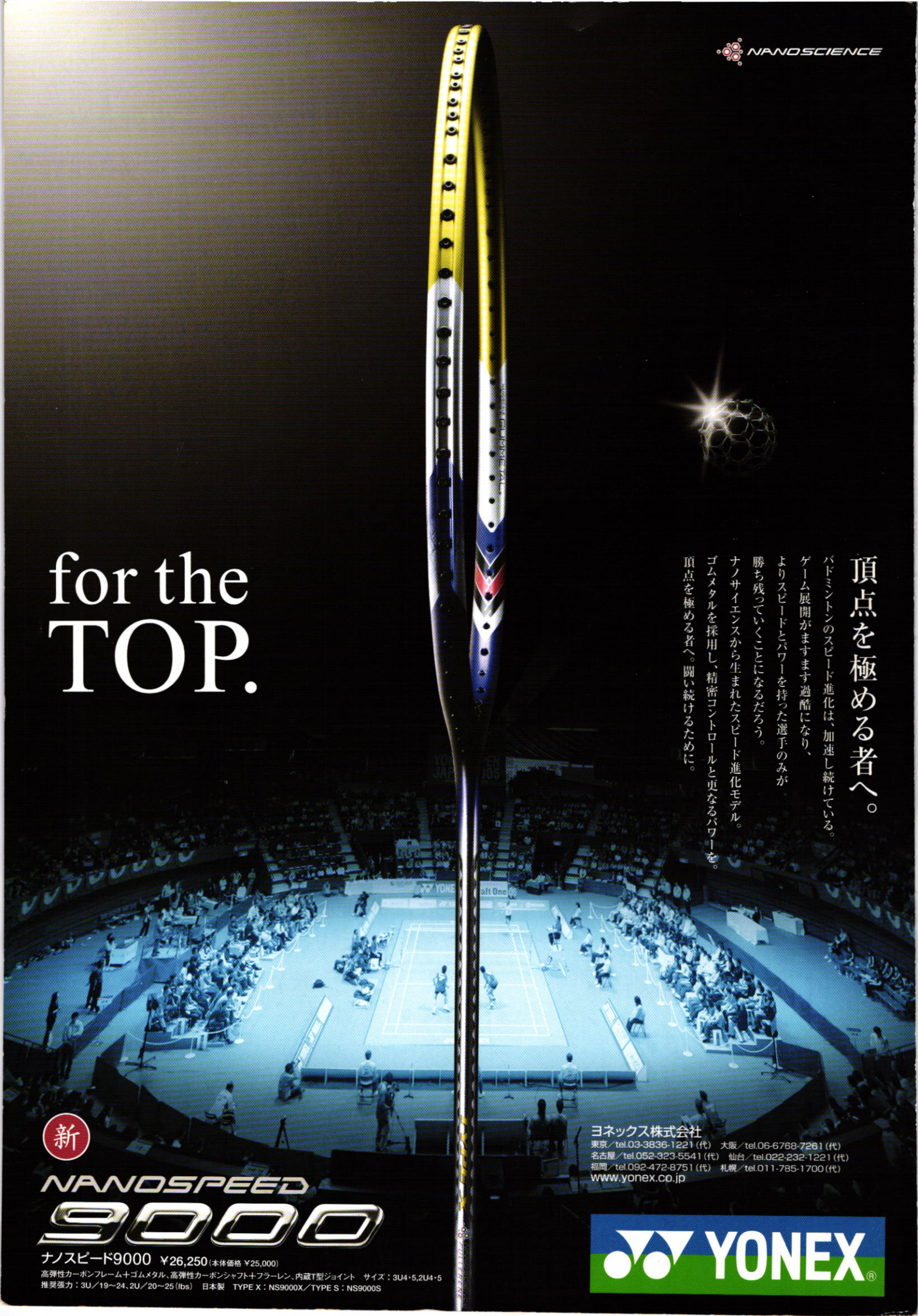
BRX10 | R2X　¥18,900　■本体価格 ¥18,000　フレーム価格(フルケース付)　■カラー/ホワイト(WH)、グレー(GR)　■素材/ハイモジュラスカーボン、アーメット　■フレーム厚/12~11mm　■全長/675mm　■グリップサイズ/3U4、3U5、3U6　■推奨テンション/16~25ポンド(GM1500使用)

張人 HARIBITO

ガットやプレイに関することなら何でも「張人(はりびと)」にご相談ください。
詳しくはホームページをご覧ください。 www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社
〒540-0038 大阪市中央区内淡路町3-1-17
TEL.06-6942-5871 FAX.06-6942-0773

GOSEN


NANOSCIENCE
for the
TOP.
頂点を極める者へ。
バドミントンのスピード進化は、加速し続けている。
ゲーム展開がますます過酷になり、
よりスピードとパワーを持った選手のみが
勝ち残っていくことになるだろう。
ナノサイエンスから生まれたスピード進化モデル。
ゴムメタルを採用し、精密コントロールと更なるパワーを。
頂点を極める者へ。闘い続けるために。
新
NANOSPEED
9000
ナノスピード9000 ¥26,250(本体価格 ¥25,000)
高弾性カーボンフレーム十ゴムメタル、高弾性カーボンシャフト十フラーレン、内蔵T型ジョイント サイズ：3U4・5,2U4・5
推奨張力：3U／19～24、2U／20～25(lbs) 日本製 TYPE X：NS9000X／TYPE S：NS9000S
ヨネックス株式会社
東京／tel.03-3836-1221(代) 大阪／tel.06-6768-7261(代)
名古屋／tel.052-323-5541(代) 仙台／tel.022-232-1221(代)
福岡／tel.092-472-8751(代) 札幌／tel.011-785-1700(代)
www.yonex.co.jp
YONEX®